USA's primary source for projector lamps

myprojectorlamps

プロジェクター所有者の取扱説明書

BenQ

PX9710

このプロジェクターの交換用ランプが必要ですか？

www.mplamps.co.jp

メーカーオリジナル取扱説明書。MyProjectorLamps.comの厚意として、修正せずに提供しています。
すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

PU9730 / PW9620 / PX9710
デジタル プロジェクタ
取扱説明書

目次

安全上のご注意 4

概要 7

パッケージ内容 7
プロジェクタ外観ビュー 8
前面 / 上面 8
背面 / 上面 8
IO パネル 9
コントロール パネルと機能 10
リモコンおよび機能 11
リモコン操作に関するご注意 12
リモコン操作 12

設定と操作 13

リモコンの電池を入れる 13
プロジェクタに繋ぐ 13
投映レンズの選択と取り付け 14
光学レンズの取り付けまたは取り外し 14
新しいレンズの取り付け 14
既存のレンズを取り外す 15
設置場所の選択 16
投映距離とスクリーン サイズ 17
レンズシフトの調整範囲 20
接続する 21
準備 21
PC に接続 21
ビデオ装置への接続 22
コントロールポートへの接続 22
スクリーン トリガーへの接続 23
外部デジタル トランスミッターへの接続 24

プロジェクタの使用方法 25

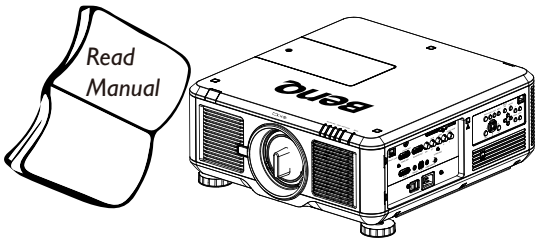
準備 25
装置の電源をオン / オフにする 26
入力ソースの選択 27
メニューの使用方法 28
投映画像の調整 28
画像の位置調整 28
画像サイズと明瞭さの微調整 29
投映角度の調整 29
画像の歪みの補正する 30
イメージの自動調整 30
プロジェクタをオフにする 31

OSD の使用方法 32
メニューの使用方法 32
OSD をナビゲートする 32
オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニュー 33
OSD メニュー - 表示 37
OSD メニュー - 映像調整 39
OSD メニュー - ランプ 41
OSD メニュー - 調整 43
OSD メニュー - 外部制御 46
OSD メニュー - サービス 50
追加情報 51
レンズのクリーニング 51
プロジェクタのお手入れ 51
プロジェクタ ケースのお手入れ 51
プロジェクタの保管 52
プロジェクタの移動 52
ランプの交換 52
カラーホイール（別売り）のインストール 55
フィルターの交換 56
仕様 57
外形寸法 58
タイミング表 59
PC タイミング 59
3D 対応タイミング 60
RS232 コマンド コントロール 62
ネットワークを介してプロジェクタを操作する 65
ネットワーキングに向けてプロジェクタを設定する 65
ウェブブラウザでプロジェクタを操作する 66
Projector Status（プロジェクタの状態） 66
Alert mail setup（通知メールの設定） 67
Crestron コントロールページ 68
トラブルシューティング 70
インジケータのメッセージ 70
よくある問題とその対処法 71
トラブルシューティングのためのヒント 71
画像の問題 71
ランプの問題 72
リモコンの問題 73
BenQ ecoFACTS 74
著作権 74
おことわり 74
ハイパーリンクおよびサードパーティのウェブサイトに関する宣言 75

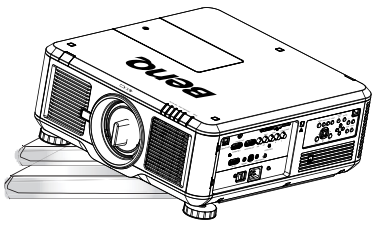
高性能 BenQ プロジェクタをお買い上げいただきありがとうございます。最高の状態でお使いいただくために、コントロールメニューや操作方法については本書をよくお読みください。

安全上のご注意

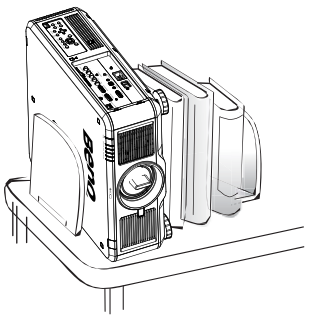
1. プロジェクタを操作する前に、この取扱説明書をお読みください。本書は必要なときにいつでも参照できるように、安全な場所に保管しておいてください。



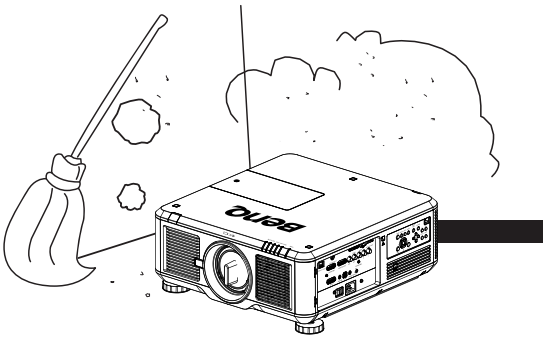
2. 使用時は必ず装置を水平な平面上に置いてください。
   - 本製品を不安定なカート、スタンド、テーブルに置かないでください。製品が落ちてケガをしたり、製品が故障したりする場合があります。
   - プロジェクタの近くに可燃物を置かないでください。
   - 左右の傾きが 10 度、または前後の傾きが 15 度を超える状態で使用しないでください。



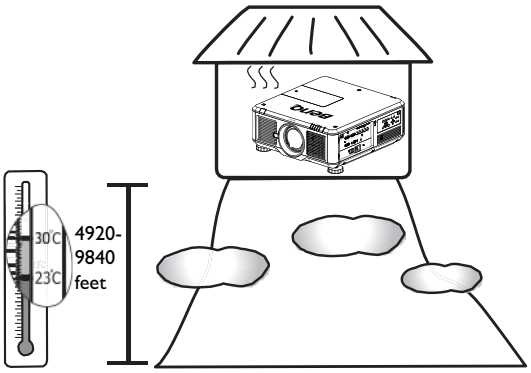
3. 本製品を縦向きにしないでください。縦向きにすると、プロジェクタが倒れ、けがをしたり損傷する恐れがあります。



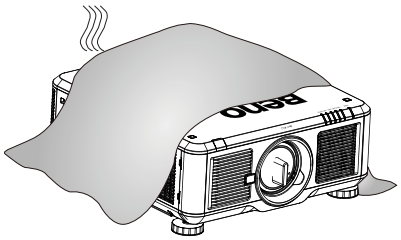
4. 次の場所に装置を置かないでください。
   - 通気が不十分な場所または密閉されている場所。壁との間隔を 50 cm 以上空けて、プロジェクタの周辺の風通しをよくしてください。
   - 窓を締め切った車内など、非常に高温になる場所。
   - 非常に湿度が高い場所、ほこりの多い場所、タバコの煙にさらされる場所。このような場所に置くと、光学部品が汚れ、プロジェクタの寿命が短くなり、画像が暗くなります。



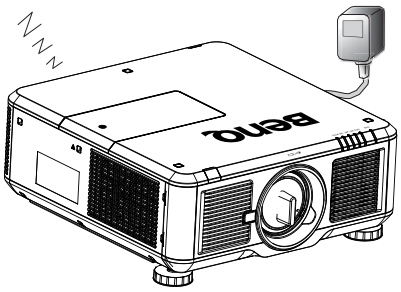
   - 火災報知器に近い場所。
   - 周辺温度が 35°C/95°F を超える場所。
   - 高度が海抜 1500 メートル / 4920 フィートを超える場所。



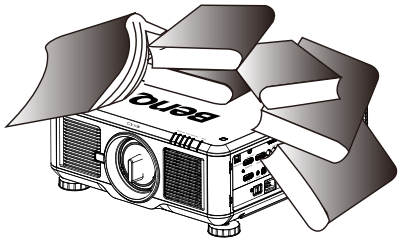
5. プロジェクタ動作中に通気孔をふさがないでください（スタンバイモードでも同様）：
   - 本製品の上に布などをかぶせないでください。
   - 本製品をブランケットなどの寝具類、または他の柔らかい物の上に置かないでください。



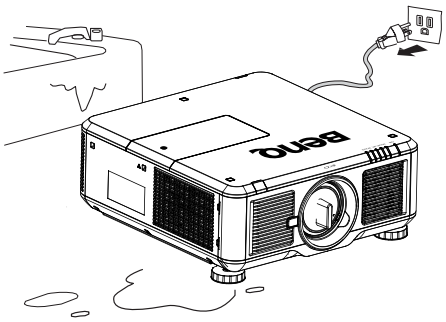
6. メインの電源電圧が ± 10 ボルト程度の変動がある場所では、プロジェクタを電源安定化装置、サージプロテクタ、あるいは UPS のいずれかに接続されるようお薦めします。



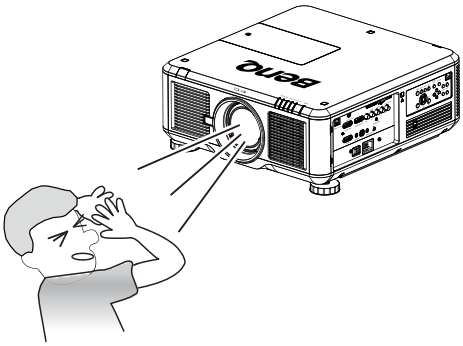
7. 装置の上に乗ったり、物を置いたりしないでください。



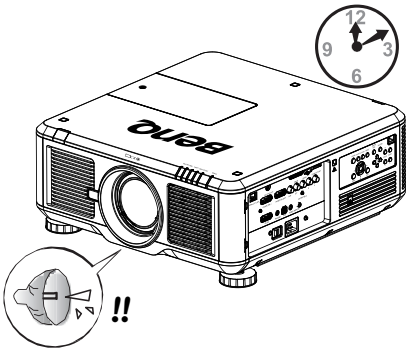
8. プロジェクタの上または近くに液体を置かないでください。プロジェクタに液体が入った場合は、保証は適用されません。プロジェクタを濡らした場合は、電源コンセントからプロジェクタを抜いて、BenQ にご連絡の上プロジェクタの点検をご依頼ください。



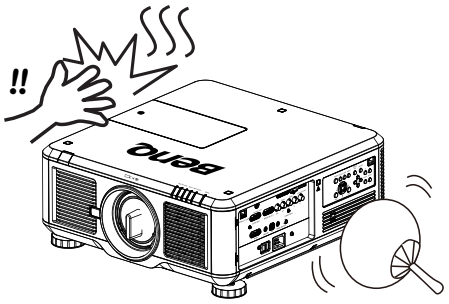
9. 動作中は、プロジェクタのレンズを覗き込まないでください。目を傷つける場合があります。



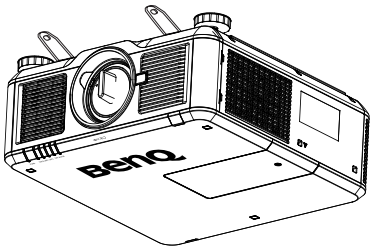
10. ランプは定格寿命より長く使用しないでください。ごくまれですが、定格寿命より長く使用すると、ランプが破裂することがあります。



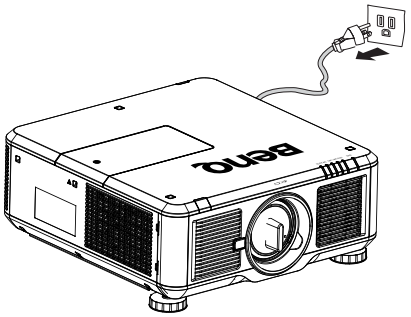
11.ランプは、動作中に非常に高温になります。ランプ部を取り外して交換する場合は、プロジェクタの電源を切ってから 45 分間ほど放置して、プロジェクタを常温に戻してください。



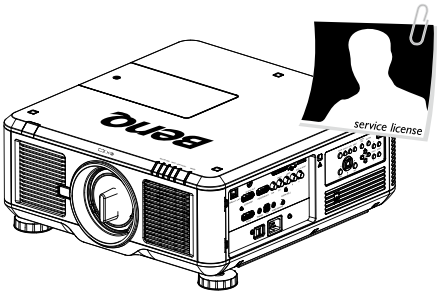
12.本製品を天井に取り付けて、イメージを反転投写することができます。BenQ の天井取り付けキットを使用してください。



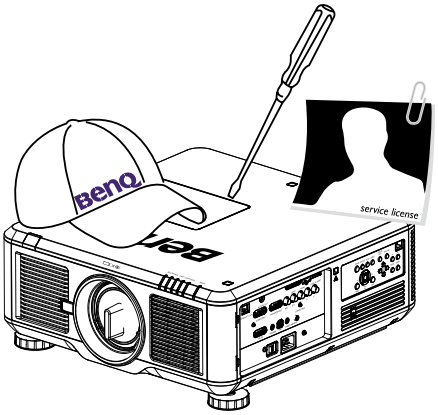
13.プロジェクタが完全に冷却され、電源からコードを外すまでは、絶対にランプ部品を交換しないでください。



14.点検修理については、認定技術者にお問い合わせください。



15.本装置のキャビネットは開けないでください。内部には危険な電圧が流れており、触れると死に至る場合もあります。お客様ご自身で補修できるパーツは、専用の取り外し可能なカバーが付いたランプ部分だけです。いかなる状況においても、これ以外のカバーをご自身で取り外そうとしないでください。修理は認定サービス担当者にお問い合わせください。



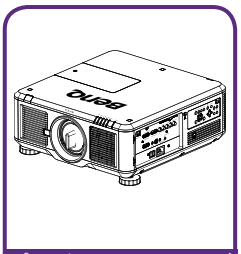
将来搬送が必要な場合に備えて、元の梱包材料は捨てずに保管しておいてください。

概要

パッケージ内容

丁寧に開梱し、次に示すものがすべて揃っていることを確認してください。本製品を購入された地域によっては、同梱されていないアイテムもあります。ご購入場所をご確認ください。

一部のアクセサリは、国によって異なる場合があります。
保証書は特定地域でしか提供しておりません。詳細は、本製品を購入された販売店へお問い合わせください。

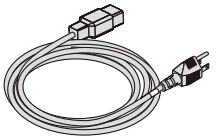

プロジェクタ（レンズを入れない状態）

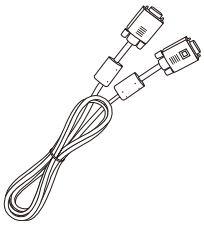

リモコン（AA/ 単 3 電池を入れない状態）

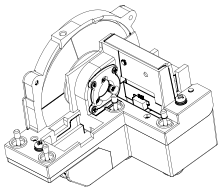

保証書

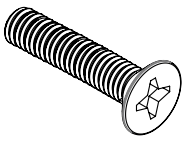

取扱説明書 CD

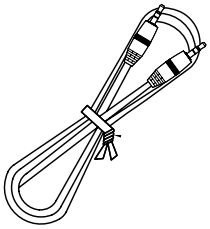

クイックスタートガイド

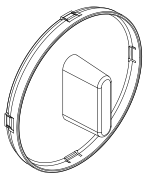

電源ケーブル


VGA ケーブル


カラーホイール

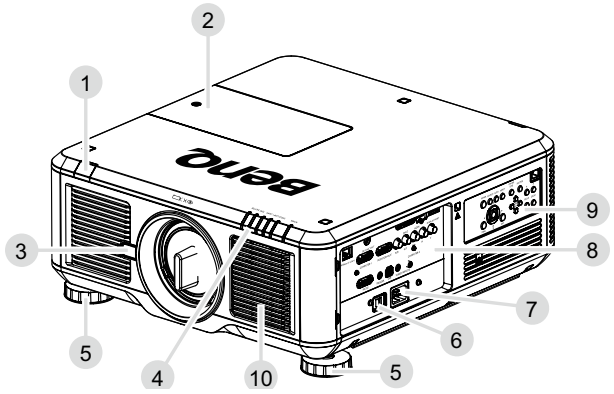

盗難防止用ネジ


有線リモートケーブル


レンズホールキャップ

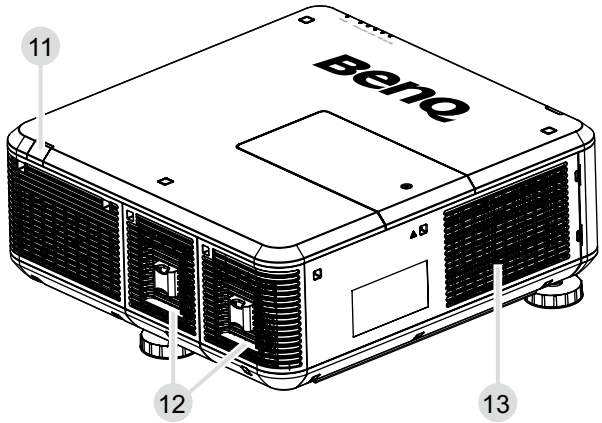
プロジェクタ外観ビュー

前面 / 上面



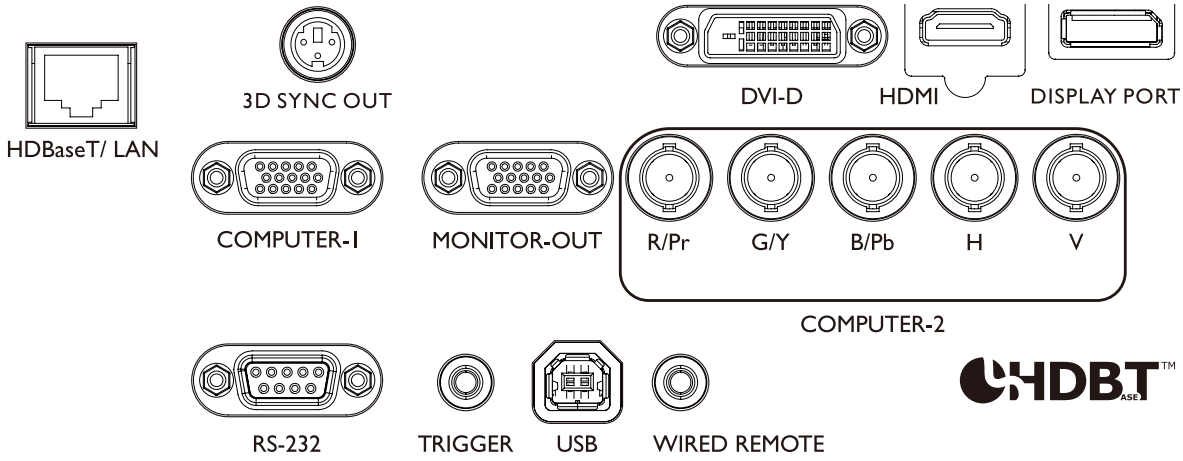
1. 前面 IR センサー
2. カラーホイール ドア
3. レンズ取り外しボタン
4. LED インジケータ
5. レベル調整用脚
6. 電源スイッチ
7. AC 差し込み口
8. IO パネル
9. コントロール パネル
10. 通気口およびフィルター

背面 / 上面



11. 背面 IR センサー
12. 排気口およびランプドア
13. 通気口およびフィルター

IO パネル

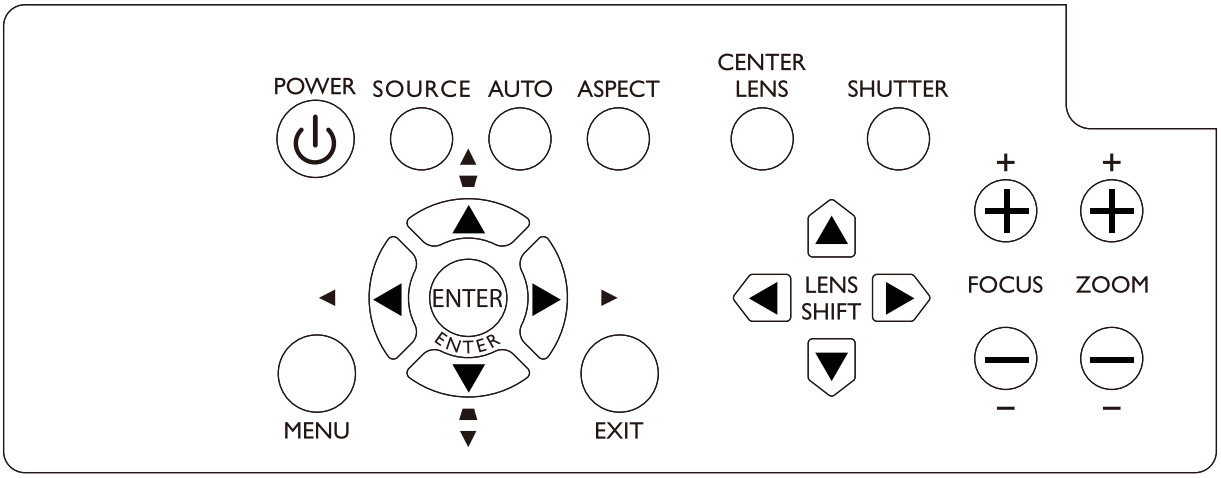


- **HDBaseT/LAN**
  RJ45 Cat5/Cat6 Enthernet ケーブルに繋いで未圧縮高精細ビデオ (HD) を入力するためのものです。信号を操作します。
- **3D Sync Out**
  3D IR 同期信号トランスミッタに接続します。
- **DVI-D**
  DVI ソースに繋ぎます。
- **HDMI**
  HDMI ソースに繋ぎます。
- **DisplayPort**
  DisplyPort に対応するデバイスまたは PC に繋ぎます。
- **Copmuter-1**
  RGB、コンポーネント HD ソース、PC などを繋ぐための 15-pin VGA ポートです。
- **Monitor Out**
  同時再生を行うために別のディスプレイ装置を繋ぎます。
- **Computer-2（R/Pr、G/Y、B/Pb、H、V）**
  BNC タイプの入力端子で RGB または YPbPr/YCbCr 出力信号に繋ぎます。
- **RS-232**
  PC コントロール システムを繋ぐための標準の 9-pin D-sub インターフェイスです。プロジェクタのメンテナンスにも使います。
- **TRIGGER**
  3.5 mm mini イヤフォン ジャックです。350 mA ディスプレイリレーを採用しており、12 (+/-1.5) V 出力とショート防止機能が付いています。
- **USB**
  専門の補修担当者専用のメンテナンス用ポートです。
- **Wired Remote**
  Niles または Xantech 対応 IR リピーター システムに繋ぎます。

注意：

使用できるポートがあることを確認してから、有線リモコンを挿入してください。例えば、有線リモコンを繋いで出力したりすると、不適切なポートを使用した場合、リモコンが壊れる場合があります。

コントロール パネルと機能



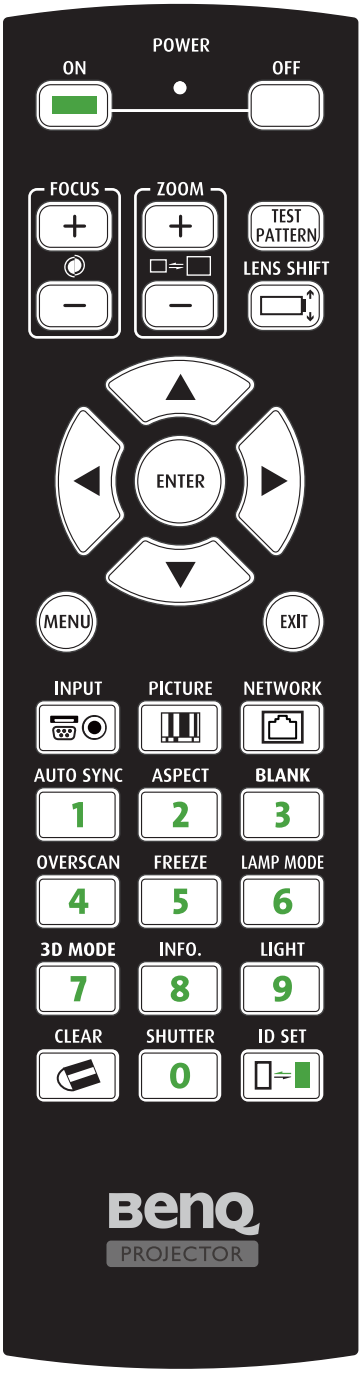
- **POWER**
  プロジェクタのオン / オフを切り替えます。
- **SOURCE**
  HDMI、DVI-D、Computer 1、Computer 2、DisplayPort、HDBaseT 等を含め、ビデオソースを選択することができます。
- **AUTO**
  信号が自動同期されます。
- **ASPECT**
  このボタンを押したままにすると、現在の画像の縦横比が切り換わります。
- **MENU**
  OSD メニューが表示 / 非表示になります。
- **ENTER**
  設定を選択、決定、または変更します。
- **EXIT**
  最後のメニューに戻ります。または、OSD メニューを終了します。
- **CENTER LENS**
  レンズを中央に配置し、シフト、フォーカス、ズームのパラメータをリセットします。

注記：

レンズメモリは、正確にパラメータを調整する必要があります。レンズを取り付けたら、センター レンズ機能を再起動してください。

- **SHUTTER**
  シャッターを開く / 閉じます。
- **LENS SHIFT**
  レンズを上下左右に動かします。
- **FOCUS**
  投写画像の焦点を調整します。
- **ZOOM**
  投写画像をズームインまたはズームアウトします。

リモコンおよび機能



- **ON**
  プロジェクタに電源が入ります。
- **オフ**
  プロジェクタの電源が切れます。
- **FOCUS +/-**
  投写画像の焦点を調整します。
- **ZOOM +/-**
  投写画像をズームインまたはズームアウトします。
- **TEST PATTERN**
  テスト画像を表示します。続けて押すと、使用可能なテスト画像が切り替わります。MENU キーを押すと、投写画像に戻ります。
- **LENS SHIFT**
  レンズを上下左右に動かします。
- **ENTER**
  設定を選択または決定します。
- **MENU**
  OSD メニューが表示 / 非表示になります。
- **EXIT**
  最後のメニューに戻ります。または、OSD メニューを終了します。
- **INPUT**
  入力ソースを選択します。
- **PICTURE**
  映像調整メニューを表示します。
- **NETWORK**
  ネットワークメニューを表示します。
- **AUTO SYNC**
  信号が自動同期されます。
- **ASPECT**
  続けて押すと、個々の縦横比が切り替わります。
- **BLANK**
  投写が一時的に停止されます。
- **OVERSCAN**
  オーバースキャンモードが選択されます。
- **FREEZE**
  一時停止と解除が切り替わります。
- **LAMP MODE**
  任意のランプモードを選択できるように、OSD メニューが表示されます。
- **3D MODE**
  3D 設定メニューが表示されます。
- **INFO.**
  サービスメニューが表示されます。
- **LIGHT**
  リモコンのバックライトがオンになります。
- **CLEAR：このモデルではご使用いただけません。**

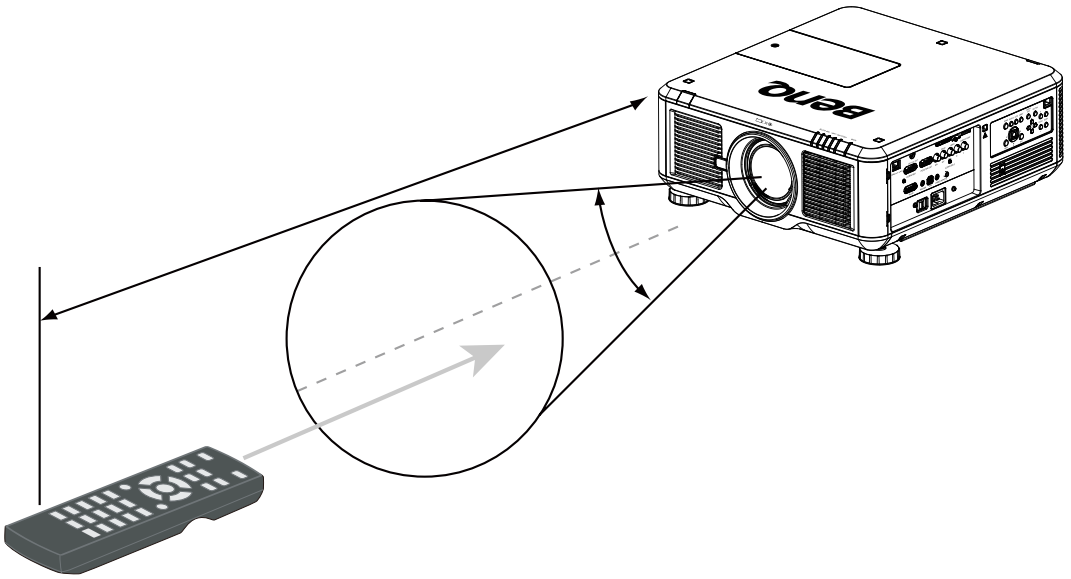
- **SHUTTER**
  シャッターを開く / 閉じます。
- **ID SET：このモデルではご使用いただけます。**

リモコン操作に関するご注意

- 環境によっては、リモコン操作が妨害される場合があります。その場合は、リモコンをプロジェクタに向けて操作を繰り返してください。
- リモコンの有効範囲が狭くなったり、リモコンが反応しなくなったりした場合には、電池を新しいものに交換してください。
- リモコンのケーブル端末をプロジェクタの有線操作ポートに挿入すると、プロジェクタが自動的に有線操作モードに入ってしまい、リモコンの IR 信号に反応しなくなる場合があります。リモコンの IR 信号でプロジェクタを操作できるように戻すには、プロジェクタから有線操作端末を外してください。
- リモコンを直射日光や蛍光灯に長時間晒すと、IR 信号が中断される、または使えなくなってしまいます。操作環境が IR リモコンに適しているか確認してください。

リモコン操作

- リモコンとプロジェクタの赤外線 (IR) センサーの間には、IR 光線の障害となるような物を置かないでください。
- リモコンの有効範囲は最高 7 メートル、角度にして 30 度以内です。赤外線光線はスクリーンにも反射しますが、常にプロジェクタに向けて当てるようにしてください。



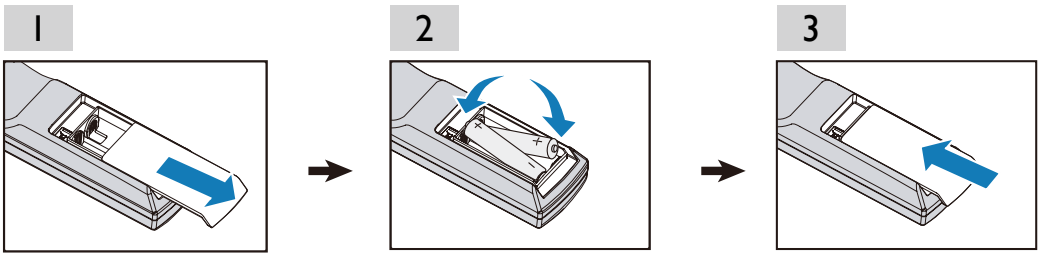
注意：

リモコンを高温または高湿度になる場所に置かないでください。正しく作動しなくなります。

設定と操作

リモコンの電池を入れる

1. バッテリーカバーを開くには、リモコンを裏返してカバーのグリップを押し、図に示す方向にスライドさせてください。するとカバーが外れます。
2. 挿入されている電池を外し（必要な場合）、AA/ 単 3 電池 2 個を極性に注意しながら挿入してください。プラス極 (+) はプラスに、マイナス極 (-) はマイナスの方向に挿入してください。
3. 再びカバーを元に戻してください。カチッという音がしたらカバーが閉まったことを意味しています。

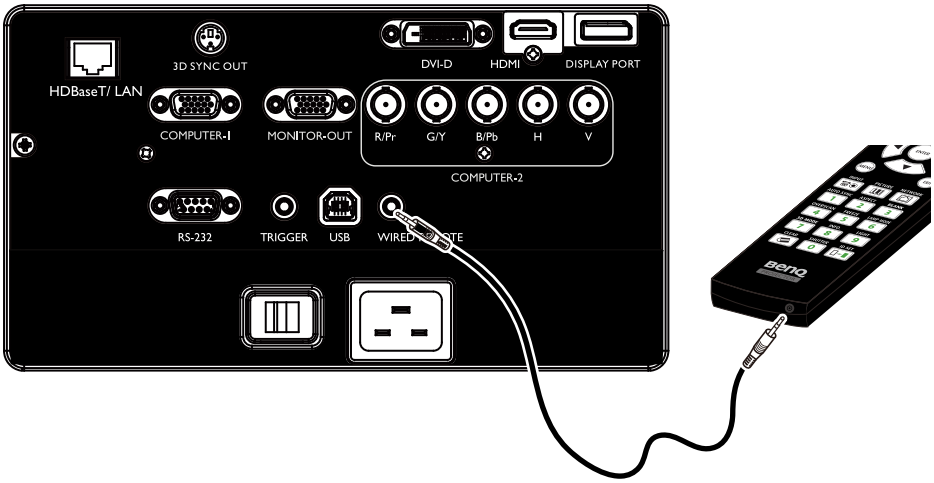


バッテリーに関するご注意

- 古いバッテリーと新しいバッテリーを混ぜて使用したり、異なるタイプのバッテリーを混ぜて使用したりしないでください。
- リモコンや電池は台所、浴室、サウナ、サンルーム、車内など高温多湿の場所に放置しないでください。
- また、使用済みの電池はメーカーの指示および地域の環境規定にしたがって処分してください。
- リモコンを長期間使用しないときには、漏電によりリモコンのコントロール部分が破損しないように電池は外しておいてください。

プロジェクタに繋ぐ

リモコンとプロジェクタの間に物が置いてあったり、高周波の蛍光灯があったりするなどしてリモコンを使用できない場合は、M3 ステレオ ミニ ジャック ケーブルでプロジェクタに繋ぎ操作することができます。



投映レンズの選択と取り付け

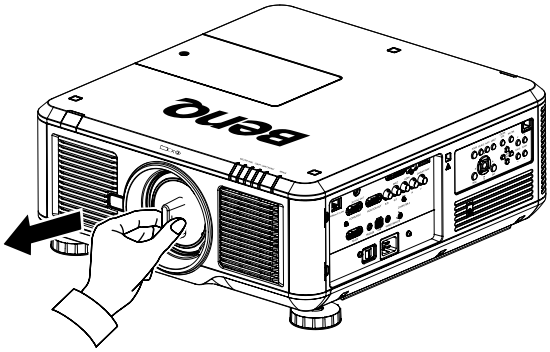
注記：

装置にレンズを取り付ける際は、光学レンズを取り付ける前に光学レンズの後ろにあるレンズキャップを外してください。レンズキャップを着けたままにしておくと、故障の原因となります。

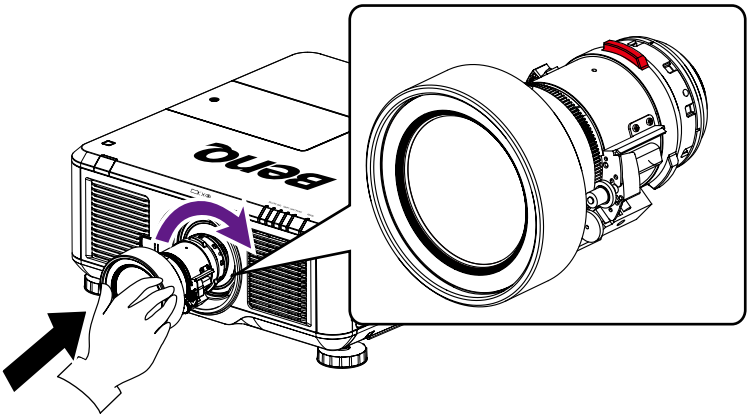
光学レンズの取り付けまたは取り外し

新しいレンズの取り付け

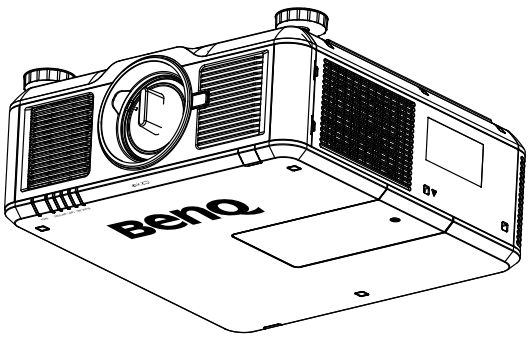
1. レンズキャップを外します。



2. 矢印の方向にレンズを挿入し、レンズが 2 回カチッと鳴るまで右方向に回してください。

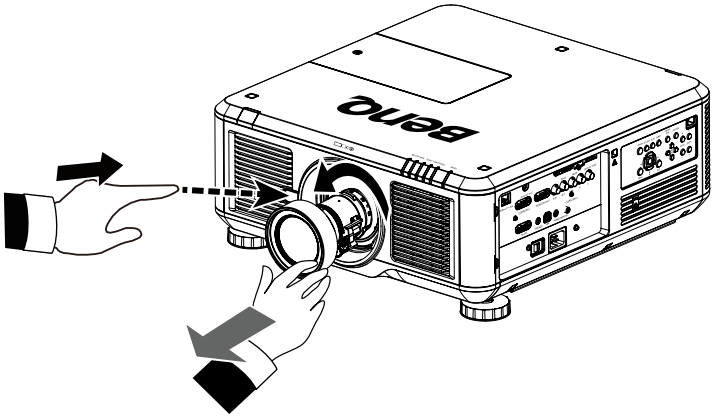


3. 盗難防止用のネジを使用することで、レンズの盗難を防止できます。正面下にある付属の盗難防止用ネジを締めてください。

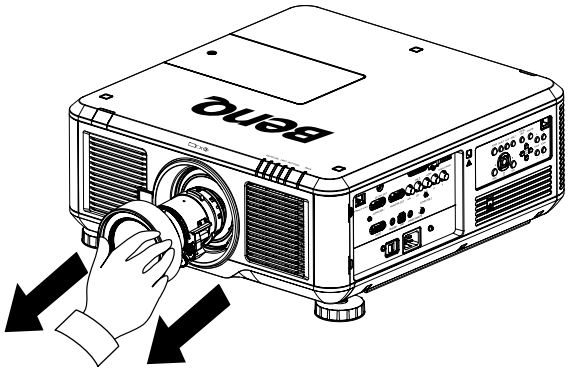


既存のレンズを取り外す

1. レンズ取り外しボタンをしっかりと押して、レンズを左側に回します。すると、既存のレンズが外れます。



2. 既存のレンズをゆっくりと外します。



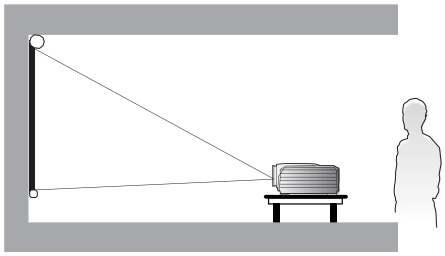
注記：

- プロジェクタやレンズには精密部品が使用されていますので、強く揺さぶったり、押したりしないでください。
- レンズを外したり、取り付けたりする前にプロジェクタの電源を切り、冷却ファンが停止するまで待ってから主要電源を切ってください。
- レンズを外したり、取り付けたりする際は、レンズの表面に手を触れないでください。
- レンズの表面に指紋、ホコリ、手垢などが付着しないようにしてください。レンズの表面に傷をつけないでください。
- レンズを取り外して保管する時には、プロジェクタにレンズキャップを付けてホコリやゴミが入らないようにしてください。

設置場所の選択

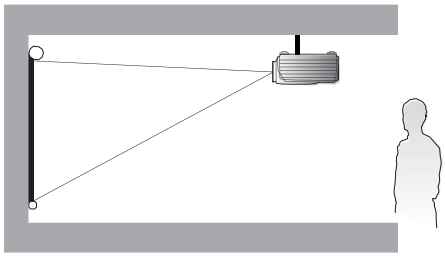
本機は次の 4 通りの設置状態で使うことができます。部屋のレイアウトやお好みで、どの設定で設置するか決めてください。設置する際は、スクリーンのサイズや位置、電源コンセントがある場所、プロジェクタとその他の装置の距離や位置などを考慮してください。

1. 前面投写：
   プロジェクタをスクリーンの正面に床面近くに設置します。これが最も一般的な設定です。



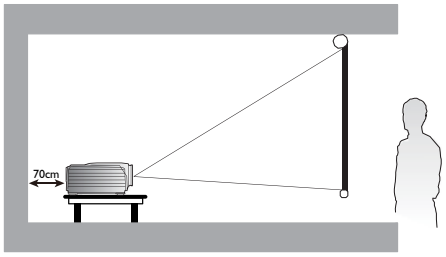
2. 天井前面投写：
   プロジェクタをスクリーン正面の天井に取り付けます。この方法で設置する場合は、BenQ プロジェクタ天井取り付けキットをご購入ください。

* プロジェクタの電源を入れた後で、「天井前面投写」に設定してください。



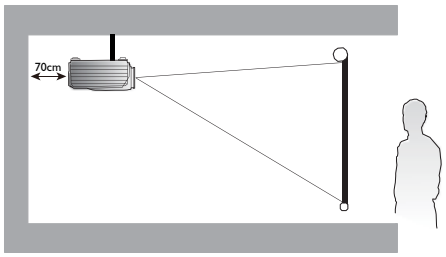
3. 背面投写：
   プロジェクタをスクリーン背面、床面近くに設置します。
   専用の背面スクリーン投写が必要です。

* プロジェクタの電源を入れてから、「背面投写」に設定してください。



4. 天井背面投写：
   プロジェクタをスクリーン背面の天井に取り付けます。
   専用の背面投写スクリーンと BenQ プロジェクタ天井取り付けキットが必要です。

* プロジェクタの電源を入れた後で、「天井背面投写」に設定してください。



* プロジェクタの位置を設定するには：
MENU を押して、◄/► を押しながら「調整」メニューを選択します。
▲/▼ を押して「プロジェクタの設置」を選択し、◄/► を押しながら位置を選択します。

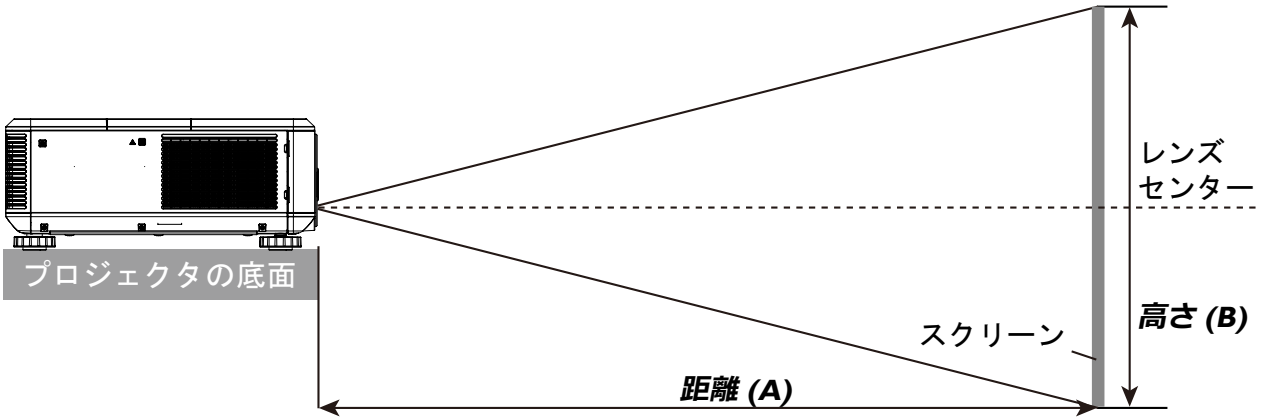
注記：

- 天井取り付けは、必ず資格のある技術者が行ってください。詳しくは、販売店にお問い合わせください。お客様ご自身でプロジェクタを取り付けることは、お勧めしません。
- プロジェクタは安定した、平坦な場所に設置してください。プロジェクタが落下すると、ケガや故障の原因となります。
- 温度が高温になりすぎたり、低温になりすぎたりする場所では、プロジェクタをご使用にならないでください。このプロジェクタは、気温が華氏 41 度（摂氏 5 度）から華氏 104 度（摂氏 40 度）の環境でご使用ください。

- プロジェクタを濡らしたり、ゴミや煙が立ちやすい場所でご使用になると、スクリーンの故障の原因となります。
- プロジェクタの通気口を塞がないでください。熱を適切に排気するには、適度な通気を確保することが大切です。通気口を塞ぐと、プロジェクタの故障の原因となります。

投映距離とスクリーン サイズ

標準レンズ使用の PW9620 の例：
プロジェクタをスクリーンまたは壁から遠ざけるほど、画像は大きくなります。プロジェクタを壁またはスクリーンから 40 インチ（1 メール）離したときの画像の最小サイズは、対角で約 79.8 インチ（2.03 メール）となります。また、プロジェクタを壁またはスクリーンから 1028 インチ（26.11 メール）離したときの画像の最大サイズは、対角で 500 インチ（12.7 メール）となります。



PU9730

スクリーンサイズ						5J.JAM37.011		5J.JAM37.021				5J.JAM37.001				5J.JAM37.051			
						ワイド固定レンズ		ワイド ズームレンズ				STD レンズ				セミロング ズーム 1			
対角		幅		高さ (B)		距離 (A)													
						使用できません		ワイド		望遠		ワイド		望遠		ワイド		望遠	
（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）
40	1.02	34	0.86	21	0.54	25.1	0.64	41.4	1.05	59.9	1.52	57.2	1.45	75.8	1.93	73.6	1.87	124.1	3.15
50	1.27	42	1.08	26	0.67	31.8	0.81	52.3	1.33	75.4	1.92	72.1	1.83	95.5	2.42	92.9	2.36	155.9	3.96
60	1.52	51	1.29	32	0.81	38.5	0.98	63.1	1.60	90.9	2.31	87.1	2.21	115.1	2.92	112.1	2.85	187.8	4.77
80	2.03	68	1.72	42	1.08	52.0	1.32	84.9	2.16	121.8	3.09	117.0	2.97	154.3	3.92	150.5	3.82	251.4	6.39
100	2.54	85	2.15	53	1.35	65.5	1.66	106.6	2.71	152.7	3.88	147.0	3.73	193.5	4.92	188.9	4.80	315.0	8.00
120	3.05	102	2.58	64	1.62	78.9	2.01	128.4	3.26	183.6	4.66	176.9	4.49	232.8	5.91	227.6	5.78	378.6	9.62
150	3.81	127	3.23	79	2.02	99.1	2.52	161.0	4.09	230.0	5.84	221.8	5.63	291.6	7.41	285.0	7.24	474.1	12.04
180	4.57	153	3.88	95	2.42	119.3	3.03	193.6	4.92	276.4	7.02	266.7	6.77	350.5	8.90	342.6	8.70	569.5	14.47
200	5.08	170	4.31	106	2.69	132.8	3.37	215.3	5.47	307.3	7.81	296.6	7.53	389.7	9.90	381.0	9.68	633.1	16.08
300	7.62	254	6.46	159	4.04	200.1	5.08	324.0	8.23	461.9	11.73	446.3	11.34	585.9	14.9	573.2	14.56	951.2	24.16
400	10.16	339	8.62	212	5.38	267.4	6.79	432.7	10.99	616.6	15.66	595.9	15.14	782.3	19.87	765.3	19.44	1269.7	32.25
500	12.70	424	10.77	265	6.73	334.8	8.50	541.5	13.75	771.2	19.59	745.6	18.94	978.3	24.85	957.4	24.32	1587.8	40.33

スクリーンサイズ						5J.JAM37.031				5J.JAM37.041				5J.JAM37.061			
						ロングズーム 1 レンズ				ロングズーム 2 レンズ				ウルトラワイド ズームレンズ			
対角		幅 (C)		高さ (B)		距離 (A)											
						ワイド		望遠		ワイド		望遠		ワイド		望遠	
（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）
40	1.02	34	0.86	21	0.54	118.7	3.01	181.0	4.60	173.9	4.42	277.7	7.05	24.5	0.62	31.1	0.79
50	1.27	42	1.08	26	0.67	149.7	3.80	227.6	5.78	220.2	5.59	350.0	8.89	31.1	0.79	39.2	1.00
60	1.52	51	1.29	32	0.81	180.7	4.59	274.1	6.96	266.6	6.77	422.3	10.73	37.6	0.96	47.4	1.20
80	2.03	68	1.72	42	1.08	242.7	6.16	367.3	9.33	359.4	9.13	567.0	14.40	50.8	1.29	63.8	1.62
100	2.54	85	2.15	53	1.35	304.3	7.73	460.4	11.70	452.1	11.48	711.6	18.07	63.9	1.62	80.2	2.04
120	3.05	102	2.58	64	1.62	366.7	9.31	553.6	14.06	544.9	13.84	856.2	21.75	77.1	1.96	96.6	2.45
150	3.81	127	3.23	79	2.02	459.4	11.67	693.3	17.61	684.0	17.37	1073.1	27.26	96.8	2.46	121.1	3.08
180	4.57	153	3.88	95	2.42	552.4	14.03	833.0	21.16	823.1	20.91	1290.1	32.77	116.5	2.96	145.7	3.70
200	5.08	170	4.31	106	2.69	614.7	15.6	926.4	23.53	915.9	23.26	1434.7	36.44	129.7	3.29	162.1	4.12
300	7.62	254	6.46	159	4.04	924.0	23.47	1392.1	35.36	1379.6	35.04	2157.8	54.81	195.4	4.96	244.0	6.20
400	10.16	339	8.62	212	5.38	1233.9	31.34	1857.9	47.19	1843.3	46.82	2880.9	73.18	261.2	6.63	325.9	8.28
500	12.70	424	10.77	265	6.73	1543.7	39.21	2323.6	59.02	2307.1	58.60	3604.0	91.54	326.9	8.30	407.7	10.36

PW9620

スクリーンサイズ						5J.JAM37.011		5J.JAM37.021				5J.JAM37.001				5J.JAM37.051			
						ワイド固定レンズ		ワイド ズームレンズ				STD レンズ				セミロング ズーム 1			
対角		幅		高さ (B)		距離 (A)													
						使用できません		ワイド		望遠		ワイド		望遠		ワイド		望遠	
（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）
40	1.02	34	0.86	21	0.54	26.4	0.67	43.6	1.11	63.1	1.60	60.2	1.53	79.8	2.03	77.6	1.97	130.5	3.31
50	1.27	42	1.08	26	0.67	33.5	0.85	55.0	1.40	79.3	2.01	75.9	1.93	100.4	2.55	97.8	2.48	163.9	4.16
60	1.52	51	1.29	32	0.81	40.5	1.03	66.4	1.69	95.5	2.43	91.7	2.33	121.0	3.07	117.9	3.00	197.3	5.01
80	2.03	68	1.72	42	1.08	54.7	1.39	89.3	2.27	128.0	3.25	123.1	3.13	162.3	4.12	158.3	4.02	264.1	6.71
100	2.54	85	2.15	53	1.35	68.8	1.75	112.1	2.85	160.5	4.08	154.5	3.93	203.5	5.17	198.7	5.05	330.9	8.41
120	3.05	102	2.58	64	1.62	82.9	2.11	135.0	3.43	193.0	4.90	186.0	4.72	244.7	6.22	239.0	6.07	397.7	10.10
150	3.81	127	3.23	79	2.02	104.1	2.64	169.2	4.30	241.7	6.14	233.1	5.92	306.5	7.79	299.6	7.61	498.0	12.65
180	4.57	153	3.88	95	2.42	125.3	3.18	203.5	5.17	290.4	7.38	280.3	7.12	368.4	9.36	360.1	9.15	598.2	15.19
200	5.08	170	4.31	106	2.69	139.4	3.54	226.4	5.75	322.9	8.20	311.7	7.92	409.6	10.40	400.5	10.17	665.0	16.89
300	7.62	254	6.46	159	4.04	210.0	5.33	340.6	8.65	485.3	12.33	468.9	11.91	615.7	15.64	602.3	15.30	999.0	25.38
400	10.16	339	8.62	212	5.38	280.6	7.13	454.8	11.55	647.7	16.45	626.1	15.90	821.9	20.88	804.1	20.42	1333.1	33.86
500	12.70	424	10.77	265	6.73	351.2	8.92	569.0	14.45	810.1	20.58	783.3	19.90	1028.0	26.11	1005.9	25.55	1667.1	42.35

スクリーンサイズ						5J.JAM37.031				5J.JAM37.041				5J.JAM37.061			
						ロングズーム 1 レンズ				ロングズーム 2 レンズ				ウルトラワイド ズームレンズ			
対角		幅		高さ (B)		距離 (A)											
						ワイド		望遠		ワイド		望遠		ワイド		望遠	
（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）
40	1.02	34	0.86	21	0.54	124.9	3.17	190.3	4.83	183.3	4.65	292.2	7.42	25.8	0.65	32.8	0.83
50	1.27	42	1.08	26	0.67	157.5	4.00	239.2	6.08	232.0	5.89	368.1	9.35	32.7	0.83	41.4	1.05
60	1.52	51	1.29	32	0.81	190.1	4.83	288.1	7.32	280.7	7.13	444.0	11.28	39.6	1.00	50.0	1.27
80	2.03	68	1.72	42	1.08	255.2	6.48	385.9	9.80	378.1	9.60	595.9	15.13	53.3	1.35	67.3	1.71
100	2.54	85	2.15	53	1.35	320.3	8.14	483.7	12.29	475.6	12.08	747.7	18.99	67.1	1.70	84.5	2.15
120	3.05	102	2.58	64	1.62	385.5	9.79	581.5	14.77	573.0	14.55	899.6	22.85	80.9	2.05	101.8	2.59
150	3.81	127	3.23	79	2.02	483.2	12.27	728.2	18.50	719.1	18.27	1127.3	28.63	101.6	2.58	127.6	3.24
180	4.57	153	3.88	95	2.42	580.9	14.75	874.9	22.22	865.3	21.98	1355.1	34.42	122.2	3.10	153.5	3.90
200	5.08	170	4.31	106	2.69	646.0	16.41	972.7	24.71	962.7	24.45	1506.9	38.28	136.0	3.45	170.8	4.34
300	7.62	254	6.46	159	4.04	971.7	24.68	1461.8	37.13	1449.9	36.83	2266.2	57.56	204.9	5.20	257.0	6.53
400	10.16	339	8.62	212	5.38	1297.3	32.95	1950.8	49.55	1937.1	49.20	3025.4	76.85	273.8	6.95	343.2	8.72
500	12.70	424	10.77	265	6.73	1623.0	41.22	2439.8	61.97	2424.2	61.58	3784.7	96.13	342.7	8.70	429.4	10.91

PX9710

スクリーンサイズ						5J.JAM37.011		5J.JAM37.021		5J.JAM37.001		5J.JAM37.001		5J.JAM37.051			
						ワイド固定レンズ		ワイド ズームレンズ		STD レンズ		STD レンズ		セミロング ズーム 1			
対角		幅		高さ (B)		距離 (A)											
						使用できません		ワイド		望遠		ワイド		望遠		ワイド		望遠	
（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）
40	1.02	32	0.81	24	0.61	24.5	0.62	40.4	1.03	58.5	1.49	55.8	1.42	74.1	1.88	71.9	1.83	121.3	3.08
50	1.27	40	1.02	30	0.76	31.0	0.79	51.0	1.30	73.6	1.87	70.4	1.79	93.2	2.37	90.7	2.30	152.4	3.87
60	1.52	48	1.22	36	0.91	37.6	0.96	61.6	1.57	88.8	2.25	85.1	2.16	112.4	2.86	109.5	2.78	183.5	4.66
80	2.03	64	1.63	48	1.22	50.8	1.29	82.9	2.11	119.0	3.02	114.3	2.90	150.8	3.83	147.0	3.73	245.7	6.24
100	2.54	80	2.03	60	1.52	63.9	1.62	104.1	2.65	149.2	3.79	143.5	3.65	189.1	4.80	184.6	4.69	307.9	7.82
120	3.05	96	2.44	72	1.83	77.1	1.96	125.4	3.18	179.4	4.56	172.8	4.39	227.4	5.78	222.1	5.64	370.1	9.40
150	3.81	120	3.05	90	2.29	96.8	2.46	157.3	3.99	224.8	5.71	216.7	5.50	285.0	7.24	278.4	7.07	463.4	11.77
180	4.57	144	3.66	108	2.74	116.6	2.96	189.1	4.80	270.1	6.86	260.5	6.62	342.5	8.70	334.8	8.50	556.7	14.14
200	5.08	160	4.06	120	3.05	129.7	3.30	210.4	5.34	300.3	7.63	289.8	7.36	380.8	9.67	372.3	9.46	618.9	15.72
300	7.62	240	6.1	180	4.57	195.5	4.97	316.6	8.04	451.5	11.47	436.0	11.07	572.6	14.54	560.0	14.23	930.0	23.62
400	10.16	320	8.13	240	6.1	261.3	6.64	422.9	10.74	602.6	15.31	582.2	14.79	764.3	19.41	747.8	18.99	1241.0	31.52
500	12.70	400	10.16	300	7.62	327.1	8.31	529.1	13.44	753.7	19.14	728.5	18.50	956.1	24.28	935.5	23.76	1552.0	39.42

スクリーンサイズ						5J.JAM37.031				5J.JAM37.041				5J.JAM37.061			
						ロングズーム 1 レンズ				ロングズーム 2 レンズ				ウルトラワイド ズームレンズ			
対角		幅		高さ (B)		距離 (A)											
						ワイド		望遠		ワイド		望遠		ワイド		望遠	
（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）
40	1.02	32	0.81	24	0.61	115.9	2.94	176.8	4.49	169.6	4.31	271.2	6.89	23.9	0.61	30.4	0.77
50	1.27	40	1.02	30	0.76	146.2	3.71	222.3	5.65	215.0	5.46	341.9	8.68	30.3	0.77	38.4	0.98
60	1.52	48	1.22	36	0.91	176.5	4.48	267.9	6.80	260.3	6.61	412.6	10.48	36.7	0.93	46.5	1.18
80	2.03	64	1.63	48	1.22	237.1	6.02	358.9	9.12	350.9	8.91	554.0	14.07	49.5	1.26	62.5	1.59
100	2.54	80	2.03	60	1.52	297.7	7.56	450.0	11.43	441.6	11.22	695.3	17.66	62.4	1.58	78.6	2.00
120	3.05	96	2.44	72	1.83	358.2	9.10	541.0	13.74	532.2	13.52	836.7	21.25	75.2	1.91	94.7	2.40
150	3.81	120	3.05	90	2.29	449.1	11.41	677.6	17.21	668.2	16.97	1048.8	26.64	94.4	2.40	118.8	3.02
180	4.57	144	3.66	108	2.74	540.0	13.72	814.2	20.68	804.1	20.42	1260.9	32.03	113.7	2.89	142.9	3.63
200	5.08	160	4.06	120	3.05	600.6	15.26	905.3	22.99	894.8	22.73	1402.2	35.62	126.5	3.21	158.9	4.04
300	7.62	240	6.1	180	4.57	903.6	22.95	1360.5	34.56	1348.0	34.24	2109.1	53.57	190.7	4.84	239.2	6.08
400	10.16	320	8.13	240	6.1	1206.6	30.65	1815.8	46.12	1801.2	45.75	2816.0	71.53	254.9	6.47	319.5	8.12
500	12.70	400	10.16	300	7.62	1509.5	38.34	2271.1	57.69	2254.3	57.26	3522.9	89.48	319.1	8.10	399.9	10.16

注記：

- 天井取り付けは、必ず資格のある技術者が行ってください。詳しくは、販売店にお問い合わせください。お客様ご自身でプロジェクタを取り付けることは、お勧めしません。
- プロジェクタは安定した、平坦な場所に設置してください。プロジェクタが落下すると、ケガや故障の原因となります。
- 温度が高温になりすぎたり、低温になりすぎたりする場所では、プロジェクタをご使用にならないでください。このプロジェクタは、気温が華氏 41 度（摂氏 5 度）から華氏 104 度（摂氏 40 度）の環境でご使用ください。
- プロジェクタを濡らしたり、ゴミや煙が立ちやすい場所でご使用になると、スクリーンの故障の原因となります。
- プロジェクタの通気口を塞がないでください。熱を適切に排気するには、適度な通気を確保することが大切です。通気口を塞ぐと、プロジェクタの故障の原因となります。

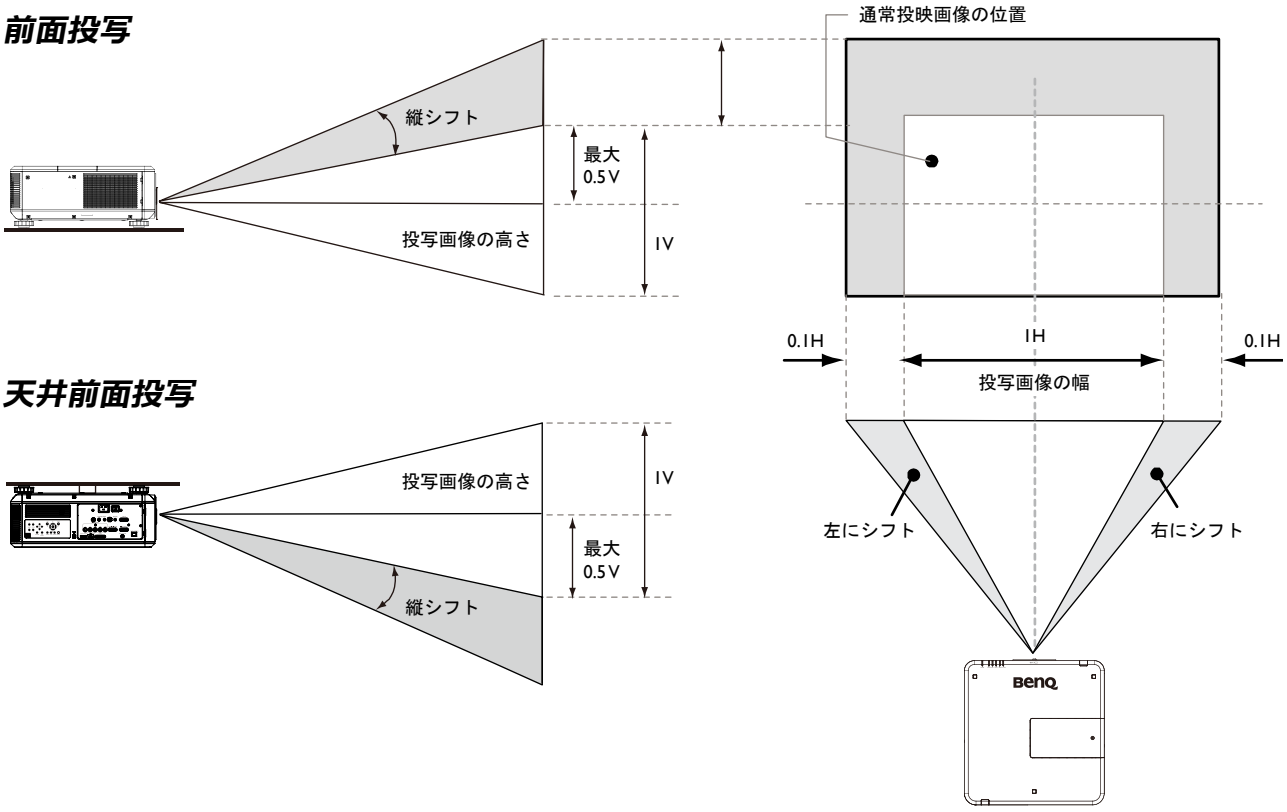
レンズシフトの調整範囲

レンズシフトの調整範囲は下記の表のとおりですが、条件により異なります。

注記：

下記の図は標準レンズで使用した場合です。

前面投写



天井前面投写

接続する

準備

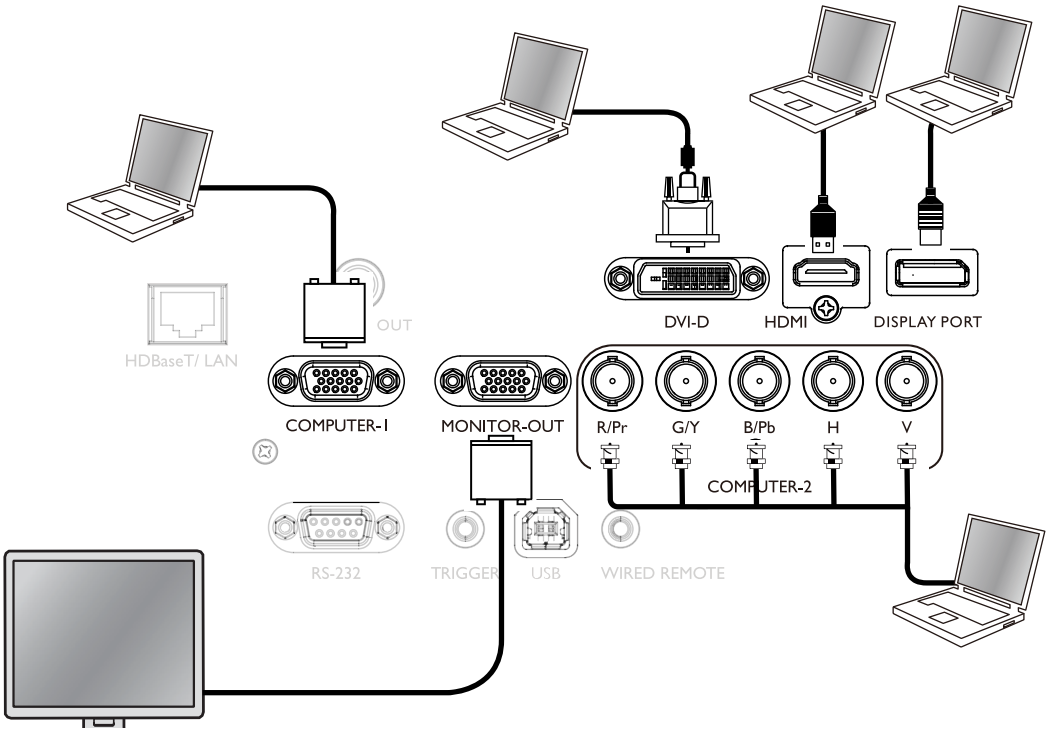
信号ソースをプロジェクタに接続する際には、次の点を確認してください。

1. 接続を行う前にすべての機器の電源をオフにします。
2. 各ソースに合った、正しい種類のプラグが付いたケーブルのみご使用ください。
3. ケーブルのプラグがすべて装置のジャックにしっかりと接続されていることを確認してください。

プロジェクタによっては、次の接続図に示すすべてのケーブルが同梱されていない場合があります（7 ページの「パッケージ内容」を参照してください）。ほとんどのケーブルは電気店でお買い求めいただけます。

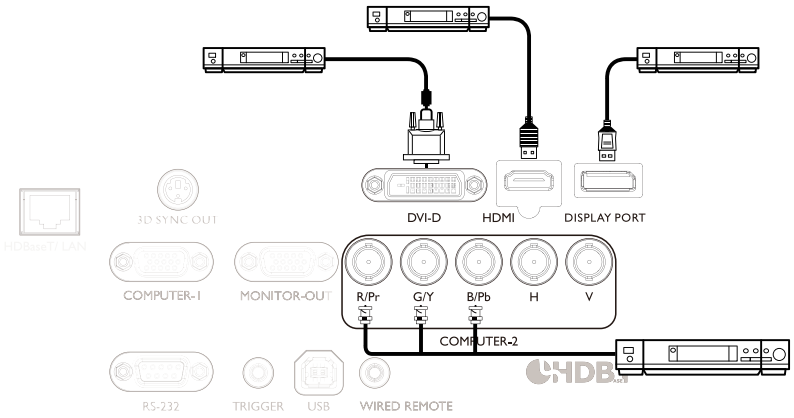
PC に接続

DVI-D、HDMI、RGB、RGBHV (BNC) ケーブルで PC とプロジェクタを接続できます。その後で、外部ディスプレイをプロジェクタに繋ぐと、入力が RGB 信号であれば同時表示が可能になります。



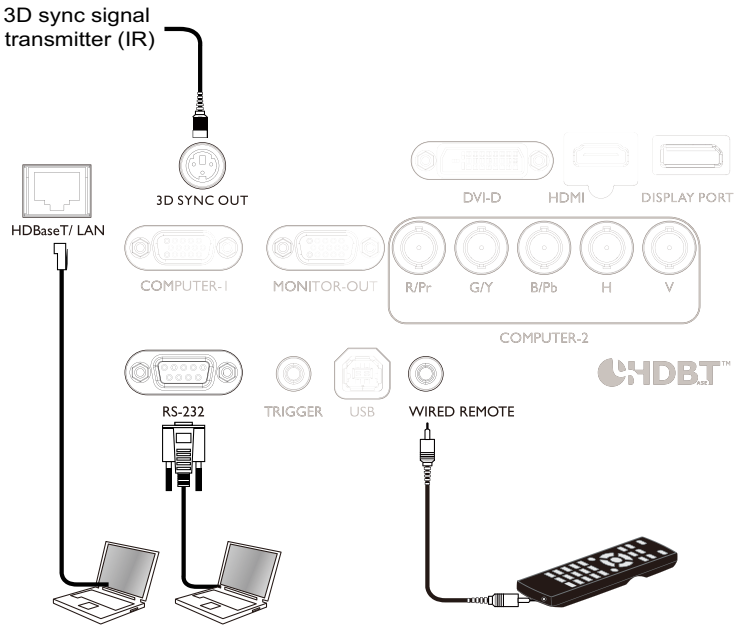
ビデオ装置への接続

DVI-D、HDMI、DisplayPort、YPBPR ケーブルでプロジェクタの入力ポートにビデオ機器を繋ぐことができます。



コントロールポートへの接続

プロジェクタには次のコントロールポートがあります。



- **HDBaseT/LAN**
  本機は共有 LAN（ネットワーク コントロール）と HDBaseT によるネットワーク コントロールに対応しています。
- **RS-232（RS-232c コントロール）**
  本機は RS-232c シリアル コントロールに対応しています。リモコン用に、プロジェクタを標準の 9 ピン シリアルケーブル（ストレートスルー ケーブル）で PC に接続できます。

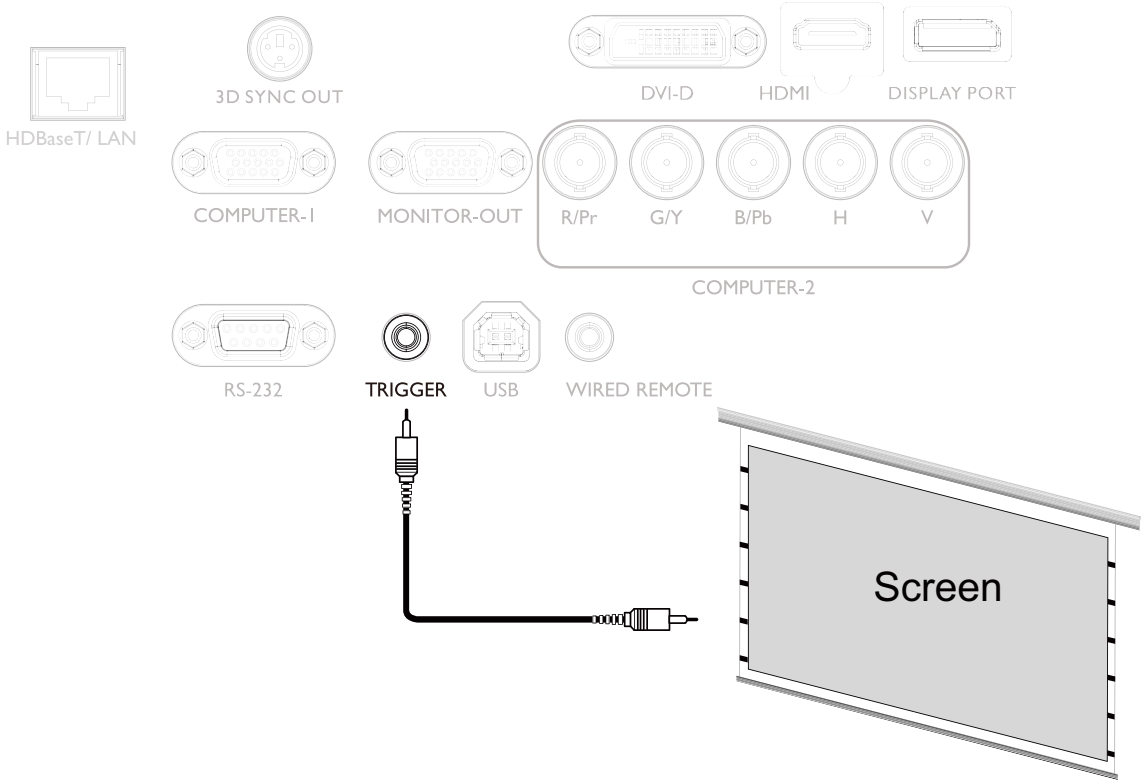
- **有線コントローラ**
  リモコンとプロジェクタの距離が遠すぎる、または何かで遮断されており、IR 信号がプロジェクタに届かない場合は、プロジェクタの WIRED 入力ポートに IR リモコンを繋ぐか、IR リピーター（別売り）を繋ぐと有効範囲を拡張できます。
- **3D Sync Out**
  3D IR 同期信号トランスミッター。

注意：

- リモコンの端末をプロジェクタの有線ポートに挿入すると、プロジェクタが自動的に有線操作モードに入ってしまい、リモコンの IR 信号に反応しなくなる場合があります。リモコンの IR 信号でプロジェクタを操作できるように戻すには、プロジェクタから有線操作端末を外してください。
- 使用できるポートがあることを確認してから、有線リモコンを挿入してください。例えば、有線リモコンをトリガーに繋いで出力したりすると、不適切なポートを使用した場合、リモコンが壊れる場合があります。

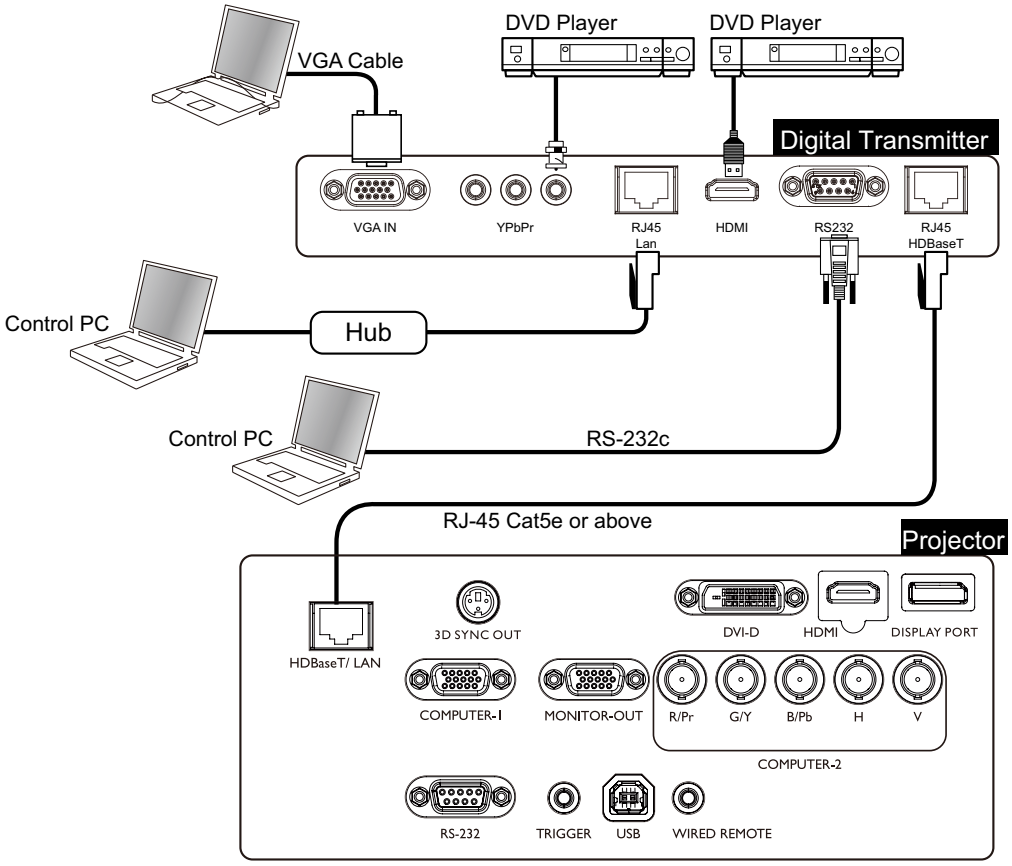
スクリーン トリガーへの接続

プロジェクタ スクリーンまたはその他の 12V トリガーデバイスをプロジェクタに繋ぎ、OSD メニューで「コントロール」->「トリガー」を選択してトリガー出力をオンにしてください。プロジェクタの電源を入れると、トリガーポートから 12V の信号が流れます。プロジェクタの電源を入れると、現在の縦横比とプロジェクタ スクリーン操作の設定で 12V の信号が出力されます。



外部デジタル トランスミッターへの接続

本機には、デジタル トランスミッター（別売り）とも使えるように、HDBaseT が内蔵されています。これにより、1 本の RJ-45 ケーブルでビデオ、RS-232、LAN 信号を送信することができます。デジタル トランスミッター（別売り）が IR リモコンの I/O に対応している場合は、同じ RJ-45 ケーブルで IR リモコンの信号を PU9730/PW9620/PX9710 プロジェクタに送信することができます。



注意：

- このプロジェクタの HDBaseT はビデオ、RS-232、リモコン、ネットワーク コントロール信号の受信に対応していますが、Power over Ethernet (PoE) 送受信には対応していません。
- RJ45 ケーブルで外部デジタル トランスミッターに RS232 コマンドを送信するには：OSD メニューで「コントロール」->「RS232」->「HDBaseT へのチャンネル」を選択すると、システムによって自動的に転送速度が 9600 に変わります。
- デジタル トランスミッターの有効通信距離は、100 メートルです。100 メートルを超える通信の場合は、投写が途切れたり、干渉を受けたり、信号を操作できなかったりします。
- ケーブルがねじれないように、Cat.5e RJ-45 以上のケーブルをお使いください。そうしなければケーブルが破損し、通信品質が悪くなり通信距離や画質が劣化します。

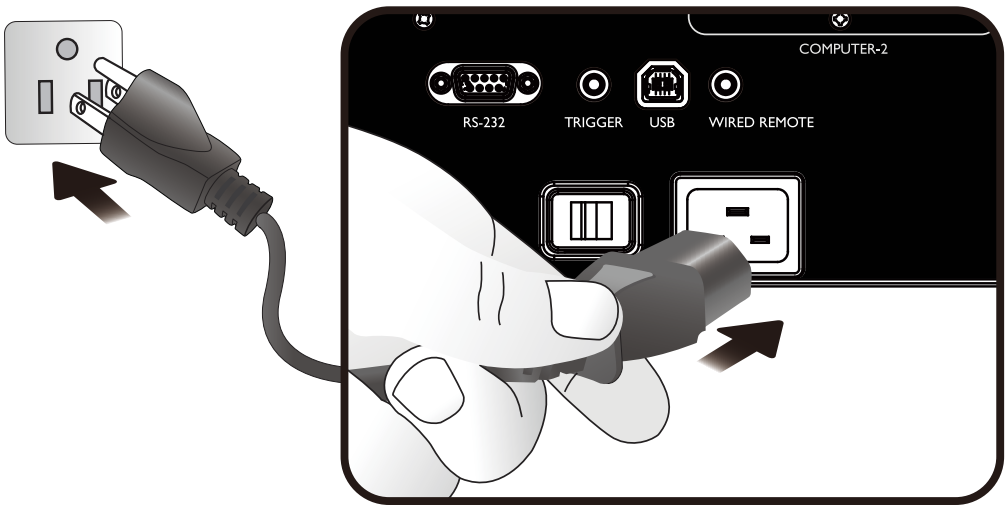
プロジェクタの使用方法

準備

1. プラグを電源に接続し、接続されている装置をすべてオンにしてください。
2. まだ電源に接続されていない場合は、同梱されている電源ケーブルをプロジェクタの背面にある AC 差し込み口に挿入します。
3. 電源コードをコンセントに差し込んで、壁のスイッチをオンにします。

注記：

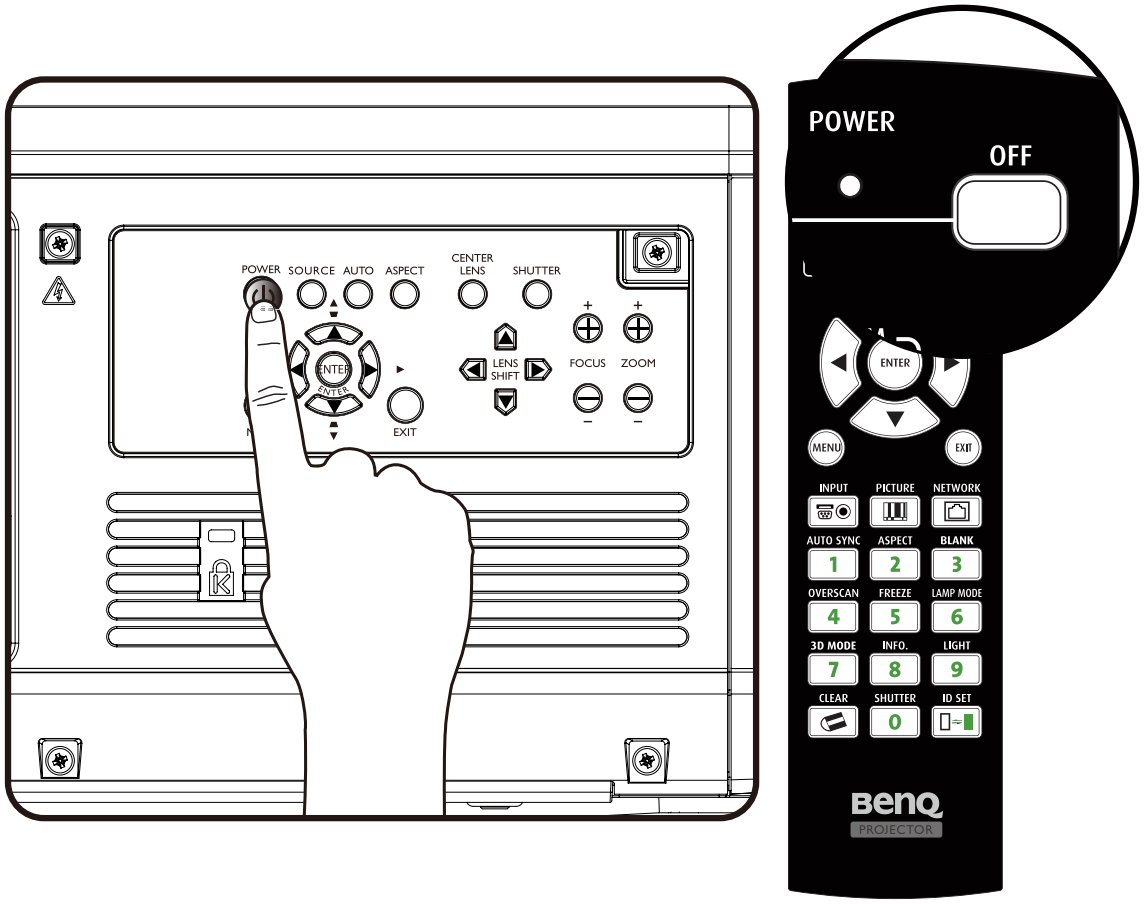
電気ショックや火災の原因となりますので、このデバイスでは付帯されていたアクセサリ（電源ケーブルなど）だけをご使用ください。



装置の電源をオン / オフにする

プロジェクタを正しく配置して、電源ケーブルとその他の接続を完了したら、電気ショックや火災の原因となりますので接続が正しくできているか、また正しく電源が入っているかを確認することが大切です。プロジェクタの電源を入れるには、次の説明をお読みください。

1. 主要電源をオンにして電源を入れると、電源ライトが赤く点灯します。
2. プロジェクタの POWER ボタンを押すか、リモコンの ON ボタンを押すとプロジェクタが起動します。電源とランプの LED が緑色に点滅して、冷却ファンが作動し始めます。
3. ウォームアップ中は、投映画像がスクリーンに数秒間映し出されます。
4. 電源 LED が緑色に点灯したら、プロジェクタを使用することができます。
   注意：ウォームアップ中はプロジェクタはどのようなコマンドにも応答しません。
5. LED が点滅したままの場合は、スタートアップで問題が生じた可能性があります。
   70 ページの「トラブルシューティング」を参照してください。



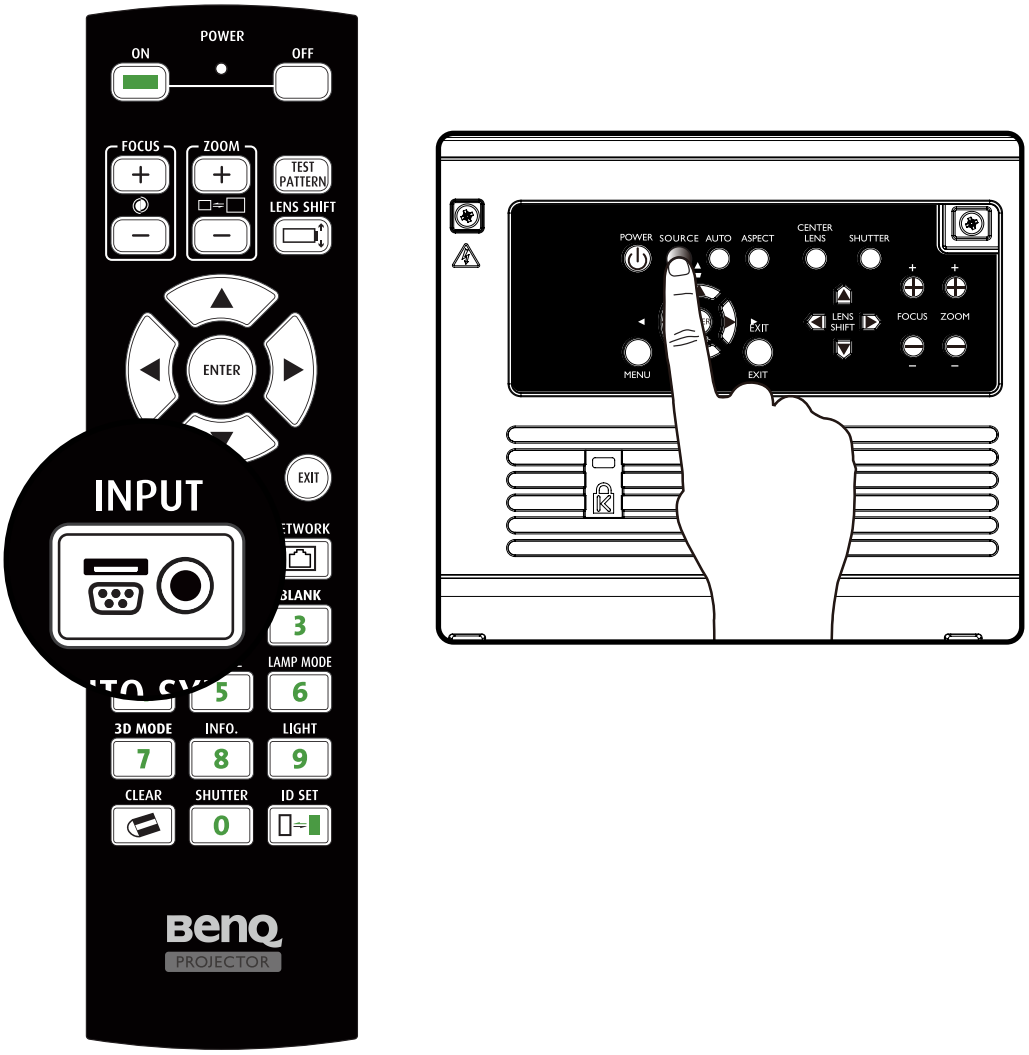
注記：

シャットダウン後すぐにプロジェクタを再起動しようとすると、冷却のためにファンが数分間作動する場合があります。ファンが停止したら再び ⏻ POWER を押してプロジェクタを起動してください。このとき電源インジケータがオレンジ色に点灯します。

入力ソースの選択

このプロジェクタは同時に複数の装置と接続することができます。プロジェクタをオンにすると、プロジェクタを最後にシャットダウンしたときに使用されていた入力ソースに接続しようとします。
入力ソースは、プロジェクタのコントロール パネルやリモコンから選択できます。
入力ソースを選ぶ際は、次のガイドを参考にしてください。

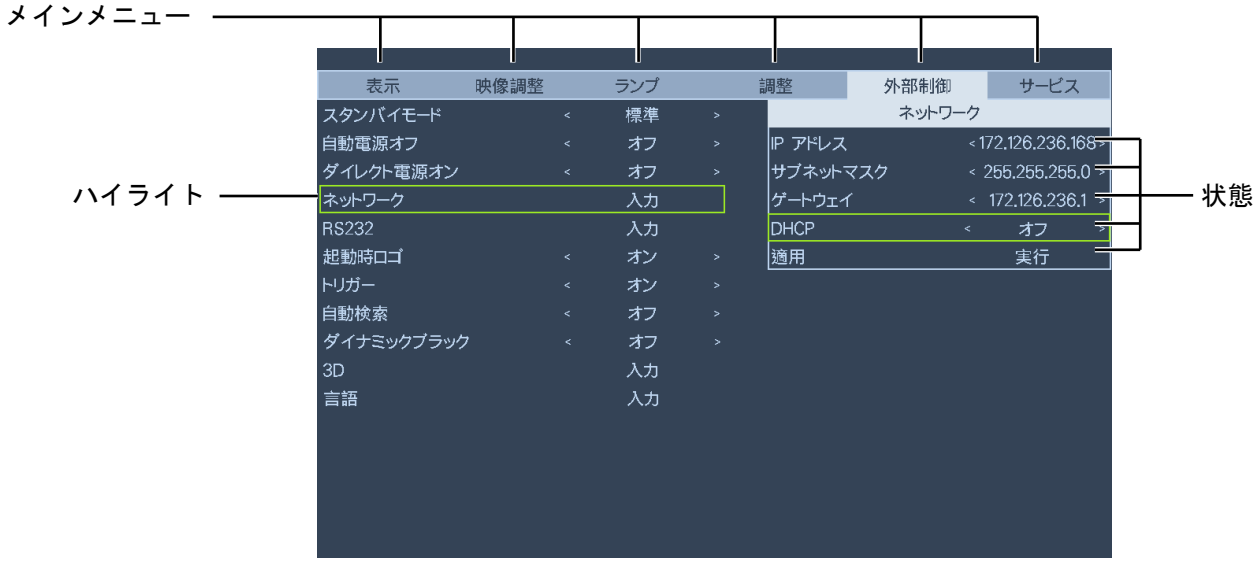
1. リモコンかコントロール パネルの INPUT キーを押すと、ソース メニューが表示されます。



2. ▲/▼ キーを使って好きな入力ソースを選択してください。
3. ENTER キーを押して入力ソースを確定してください。入力信号が検出され、投映画像が表示されるまで数秒かかります。
   現在の入力ソースを維持するには、EXIT キーを押して投写画像に戻ってください。

メニューの使用方法

このプロジェクタには多言語の OSD が用意されており、調整や設定を細かく行うことができます。以下に OSD メニューの概要を紹介します。
OSD メニューを使用するには、OSD メニューの言語を選択してください。



投映画像の調整

画像の位置調整

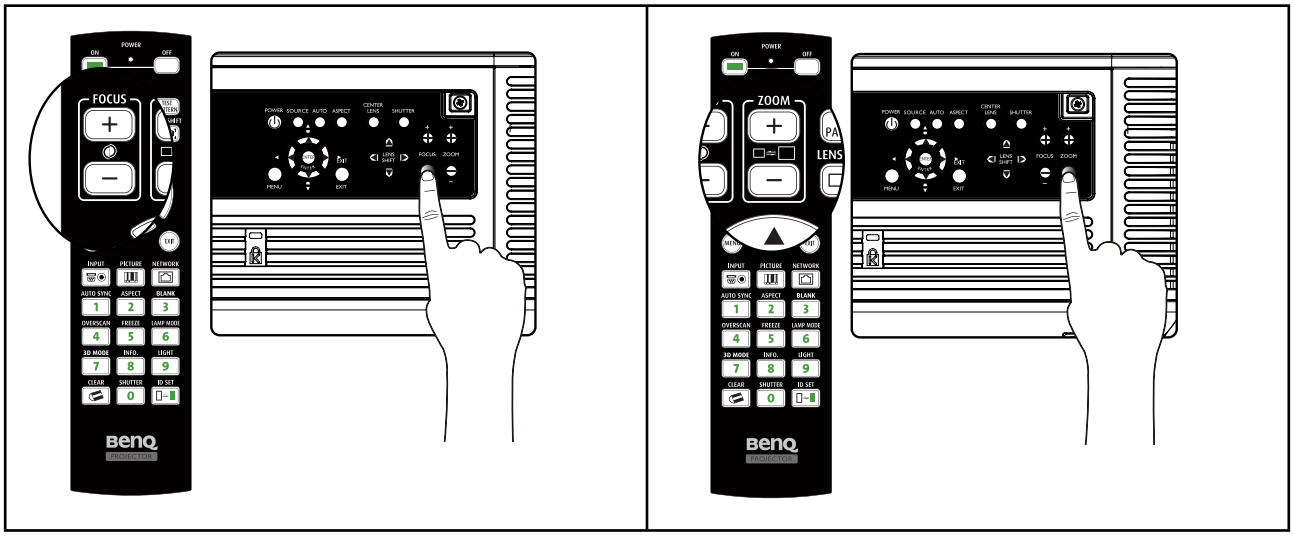
投映画像の位置とサイズは、コントロールパネルまたはリモコンを使って手動で調整できます。次の説明に従って、手動で画像の位置を調整してください。



1. プロジェクタの LENS SHIFT キーを使って方向を設定します。または、リモコンの LENS SHIFT キーを押してレンズシフト画面を開きます。
2. 方向キーを押して画像の位置を調整してください。方向キーを放すと、カーソルの中央が調整されます。

画像サイズと明瞭さの微調整

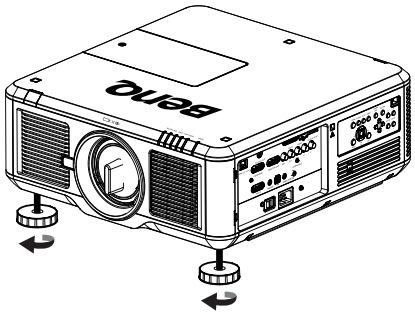
1. 投映画像を自在に調整するには、コントロールパネルかリモコンの ZOOM+ ボタンまたは ZOOM- ボタンを押します。
2. 画像をシャープにするには、コントロールパネルかリモコンの FOCUS+ ボタンまたは FOCUS- ボタンを押します。



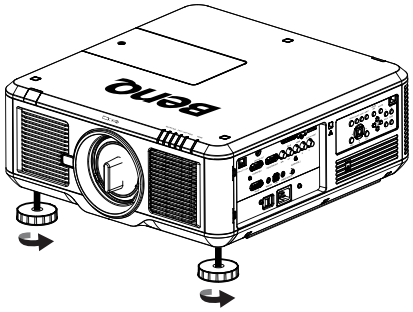
投映角度の調整

プロジェクタの底には、3 個の高さ調節脚があります。これらは投写角度を変えたいときに使います。適切な角度になるように脚を調整してください。

1. アジャスタを右に回すと、プロジェクタの高さが上がります。



2. プロジェクタの高さを下げるには、プロジェクタを持ち上げてアジャスタを左回りに回します。



画像の歪みの補正する

画像を上から、または下から角度を付けてスクリーンに投写すると、画像が台形に歪みます。このような歪みは、「調整」>「台形補正」を選択して台形補正機能を有効にします。◀/▶ ボタンを使って歪みを矯正してください。



キーを繰り返し押すうちに、その最高値または最低値に達すると、画像の形状が変化しなくなります。それ以上はその方向に変更を加えることはできません。

イメージの自動調整

場合によっては、RGB 画質を最適化する必要が生じることもあります。これを行うには、リモコンの AUTO SYNC キーまたはパネルの AUTO を押すと、最も良い状態になるように、内蔵されたインテリジェント自動調整機能が周波数とクロック数を再調整します。

注記：

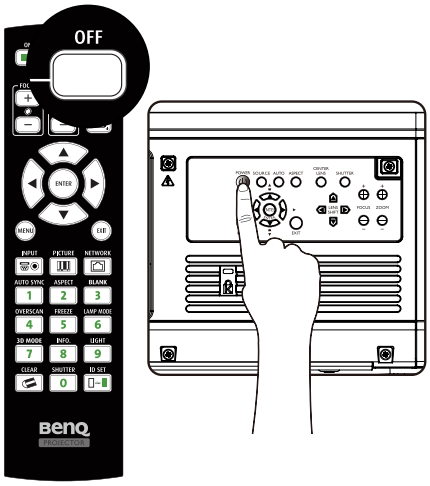
この機能は PC 信号（アナログ RGB）が選択されている場合にしか使用できません。

プロジェクタをオフにする

プロジェクタを使い終わったら、正しくシャットダウンしてください。そうしなければ、プロジェクタに不要な負担をかけてしまい故障の原因となります。プロジェクタの電源を切るには、次の説明をお読みください。

- プロジェクタの電源がまだ入っているときにコンセントから電源ケーブルを抜いたり、プロジェクタから電源ケーブルを外したりしないでください。プロジェクタの AC IN コネクタや電源ケーブルのプラグが破損する場合があります。
- 調整や設定変更を行った後メニューを閉じて 10 秒以内に、電源を切らないでください。調整内容や設定内容が無効になり、デフォルト値に戻ってしまう場合があります。

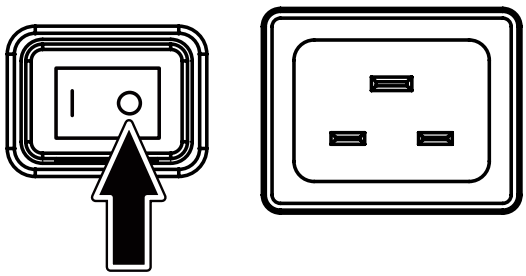
1. コントロール パネルの POWER ボタンを押すか、リモコンの OFF ボタンを押します。



2. 電源を切ったのを確認するために、再度 POWER ボタンまたは OFF ボタンを押してください。冷却ファンが作動し続け（冷却期間）、電源 LED がオレンジ色に点滅します。その後、冷却ファンが停止します。



3. 主電源スイッチを (O) の位置に合わせて電源を切ると、プロジェクタが止まります。



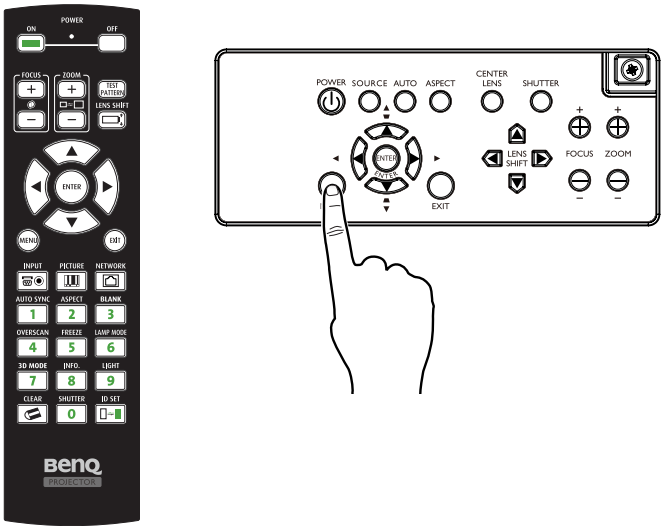
OSD の使用方法

メニューの使用方法

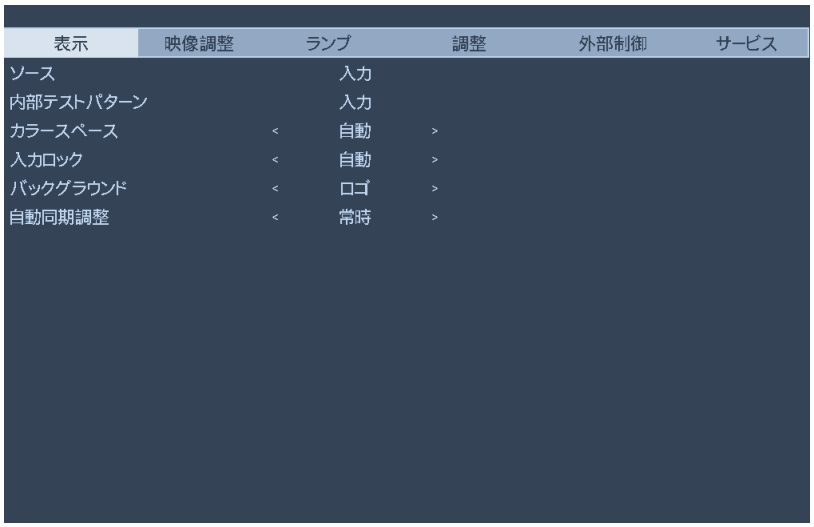
プロジェクタにはオンスクリーン ディスプレイ (OSD) があります。これは、画像を調整したり、設定を変更したりする時に使用します。

OSD をナビゲートする

OSD をナビゲートしたり、設定を変更したりするには、リモコンまたはプロジェクタの上パネルにあるボタンを使用します。次の図は、相当するボタンを示しています。



1. OSD を開くには、OSD コントロール パネルかリモコンの MENU ボタンを押します。メニューには全部で 6 個のフォルダがあります。カーソル ◄ または ► ボタンを押すと、第二メニューに移動します。
2. ▲ または ▼ ボタンを押してメニュー アイテムを選択し、◄ または ► を押して設定値を変更します。上または下を押して、Enter を押すと新しい設定が確定されます。



3. サブメニューを終了するには EXIT/MENU、メニューを閉じるには MENU を押します。

オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニュー

次の図を参考にして、設定を探したり、設定範囲を決定したりしてください。
OSD メニューは、選択した信号のタイプにより異なります。

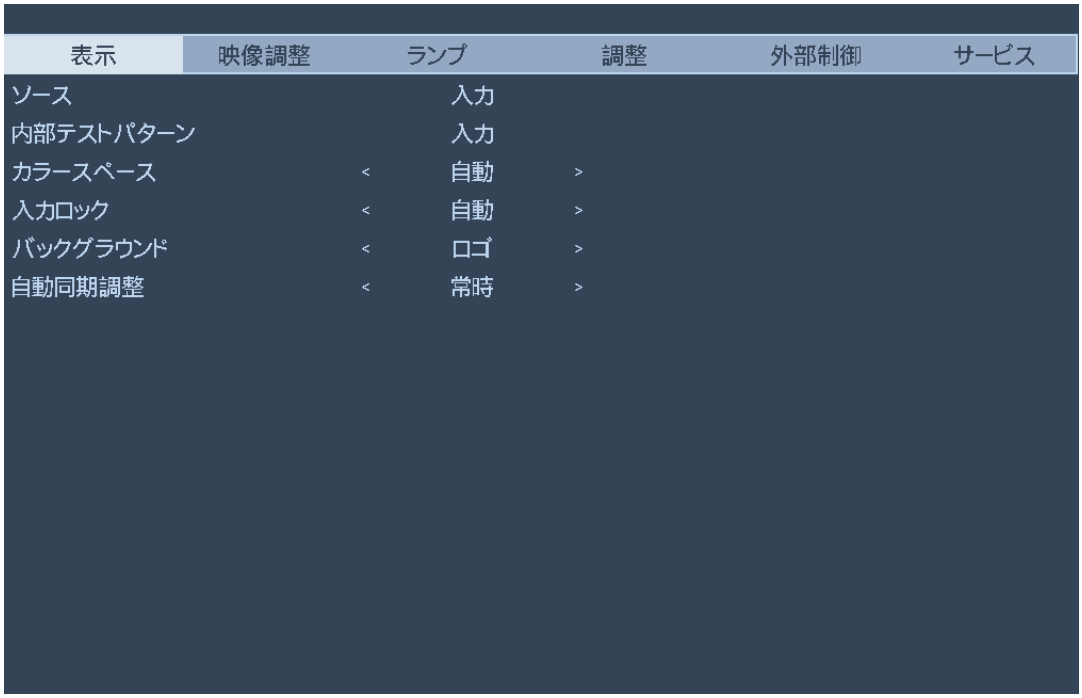
メインメニュー	サブメニュー		
表示	ソース	HDMI	
		DVI-D	
		Computer-1	
		Computer-2	
		DisplayPort	
		HDBaseT	
	内部テストパターン	カラーバー / グリッド / バースト / 赤い / 緑 / 青い / 白 / 黒 / 水平傾斜 / オリジナルの赤 / オリジナルの緑 / オリジナルの青 / オリジナルの白 / オリジナルの黒 / オフ	
	カラースペース	自動	
		YCbCr	
		YPbPr	
		RGB-PC	
		RGB-Video	
	入力ロック	自動	
		48Hz	
		50Hz	
	バック	ロゴ	
	グラウンド	青い	
		黒	
		白	
	自動同期調整	オフ	
		自動	
		常時	
映像調整	画像モード	ダイナミック	
		プレゼンテーション	
		シネマ	
	コントラスト		
	輝度		
	色彩度		
	色調		
	ガンマ	映画	
		画像	
		ビデオ	
		線状	
		自然色	
	色	色温度	ネイティブ
			5400K
			6500K
			9300K
		トリム	赤オフセット
			緑オフセット
			青オフセット

メインメニュー		サブメニュー	
映像調整		トリム	赤ゲイン
			緑ゲイン
			青ゲイン
		色調	赤
			緑
			青い
			青緑色
			マゼンタ
			黄色
		色彩度	赤
			緑
			青い
			青緑色
			マゼンタ
			黄色
		ゲイン	赤
			緑
			青い
			青緑色
			マゼンタ
			黄色
		白バランス	赤
			緑
			青い
	シャープネス		
	ノイズ削減		
	縦横比	5:4	
		4:3	
		16:10	
		16:9	
	縦横比	1.88:1	
		2.35	
		レターボックス	
		自動	
		リアル	
	オーバー	オフ	
	スキャン	クロップ	
		ズーム	
	VGA 設定	水平総ドット	
		水平スタートドット	
		水平位相	
		垂直スタートドット	
	自動同期		
ランプ	モード	デュアルランプ	
		ランプ 1	
		ランプ 2	
		シングルランプモード	

メインメニュー	サブメニュー		
ランプ	電源	ノーマル	
		エコモード	
		カスタムランプ電力	
	高地モード	オン	
		オフ	
	ランプ 1 ステータス		
	ランプ 2 ステータス		
調整	プロジェクタの設置	前面投写	
		背面投写	
		天井前面投写	
		天井背面投写	
		アップ + フロント	
		ダウン + フロント	
	レンズ制御	ズーム	
		焦点	
		垂直シフト	
		水平シフト	
	レンズ メモリ	ロード メモリ	メモリセット 1 から 10
		メモリ編集	メモリセット 1 から 10
	センターレンズ	実行	
	デジタル位置合わせ	デジタルズーム	
		デジタルパン	
		デジタルスキャン	
		リセット	
	水平 / 垂直位置合わせ	H ズーム	
		V ズーム	
		H シフト	
		V シフト	
		リセット	
外部制御	スタンバイモード	標準	
		エコモード	
		ネットワーク	
	自動電源オフ	オン	
		オフ	
	ダイレクト電源オン	オン	
		オフ	
	ネットワーク	IP アドレス	
		サブネットマスク	
		ゲートウェイ	
		DHCP	オン
			オフ
		適用	
	RS232	ボーレート	115200/57600/38400/19200/14400/9600/4800/2400
		チャンネル	ローカル
			HDBaseT

メインメニュー	サブメニュー		
外部制御	起動時ロゴ	オン	
		オフ	
	トリガー	オン	
		オフ	
	自動検索	オン	
		オフ	
	ダイナミック ブラック	オン	
		オフ	
	3D	3D 方式切換	オフ
			自動
			サイドバイサイド
			トップ / ボトム
			フレームシーケンシャル
		DLP Link	オン
			オフ
		3D Swap	ノーマル
			リバース
		3D 24Hz 映像投写	96Hz
			144Hz
		言語	English、Deutsch、Español、Français、Italiano、Svenska、Português、Русский、繁體中文、简体中文、한국어、日本語
サービス	モデル		
	シリアル番号		
	ソフトウェアバージョン		
	入力ソース		
	ピクセル		
	クロック		
	信号形式		
	水平 / 垂直の更新率		
	ランプ 1 点灯時間		
	ランプ 2 点灯時間		
	青のみ	オン	
		オフ	
	工場出荷状態	OK	
		キャンセル	

OSD メニュー - 表示



- **ソース**
  リモコンのホットキーと同じです。リモコンまたはこの機能を使って、好きな入力ソースを選択してください。
  HDMI
  PC やメディア デバイスから HDMI 信号を入力するための端末です。
  DVI-D
  PC から DVI-D 信号を入力するための端末です。
  Computer-1
  PC から RGB 信号を入力するための端末です。
  Computer-2
  PC やメディアデバイスから YCbCr/YPbPr または RGB 信号 (RGBHV) を入力するための端末です。
  DisplayPort
  PC やメディア デバイスから DisplayPort 信号を入力するための端末です。
  HDBaseT
  RJ-45 ケーブルで未圧縮高精細ビデオ (HD) を入力するための端末です。
- **内部テストパターン**
  本機には、設置や調整を行うために、内部テストパターン セットが用意されています。OSD でテストパターン機能を選択するか、リモコンで TEST PATTERN ボタンを押すと、最初のテストパターンが表示されます。再度このボタンを押すと、次のパターンが表示されます。これを繰り返すと、有効な内部テストパターンを次々と見ることができます。終了するには Exit ボタンを押してください。
- **カラースペース**
  入力信号のカラースペースを変更します。ほとんどの場合は、「自動」を選択するとプロジェクタが設定したカラースペースが自動的に適用されます。または、特定のカラースペースを使用するには次のオプションの中から選択してください。

  自動：入力信号を検出することで、有効なカラースペースに切り換えます。

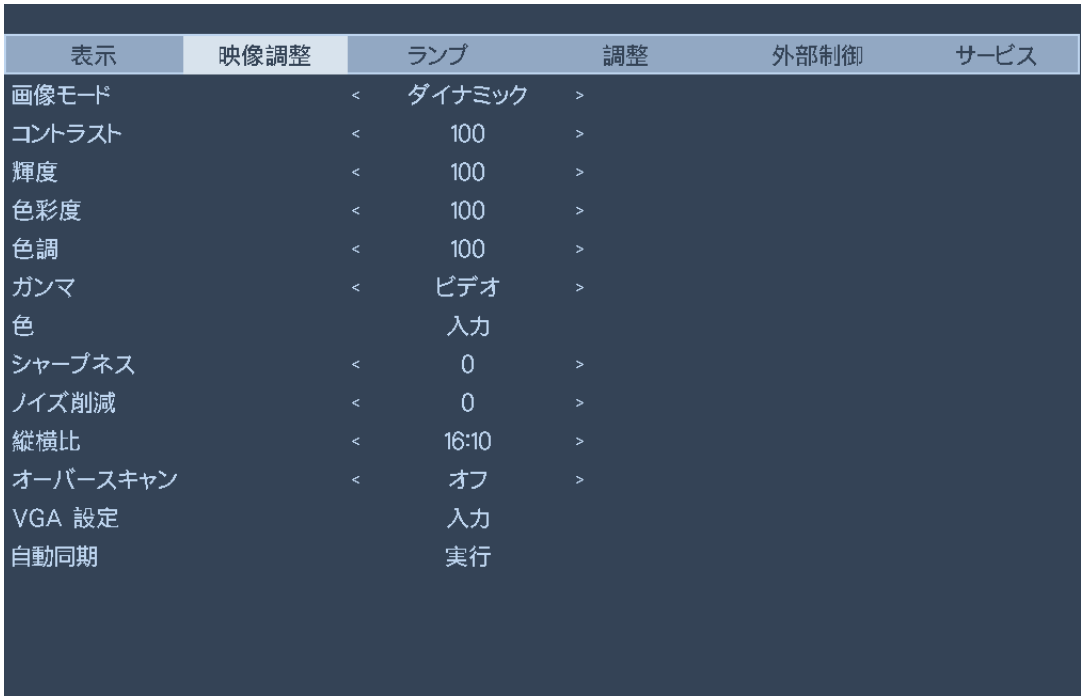
  YCbCr：カラースペースを ITU-R BT.709 に設定します。

  RGB-PC：黒を「0,0,0」に、白を「255, 255, 255」（8 ビット画像）に設定すると、カラースペースが RGB に設定されます。

RGB-Video：黒を「16, 16, 16」に、白を「235, 235, 235」（8 ビット画像）に設定してカラースペースを RGB にすると、デジタル コンポーネント規格で定義されたブリリアンス値に準拠します。

- **入力ロック**
  1 つの入力ソースを内部同期信号にロックします（自動、48Hz、50Hz、60Hz）。自動オプションは、同期信号を現在の信号ソースにロックします。
- **バックグラウンド**
  空白画面に表示する画像または色を選択します。背景色を青、黒、白の中から選択してください。
- **自動同期調整**
  自動同期オプションを次のとおり設定します。
  自動：本機は、最後の 10 件の信号ソースを記憶します。この自動オプションは、プロジェクタに自動的に最後の信号ソースを選択させます。
  常時：毎回自動同期機能を実行します。

OSD メニュー - 映像調整



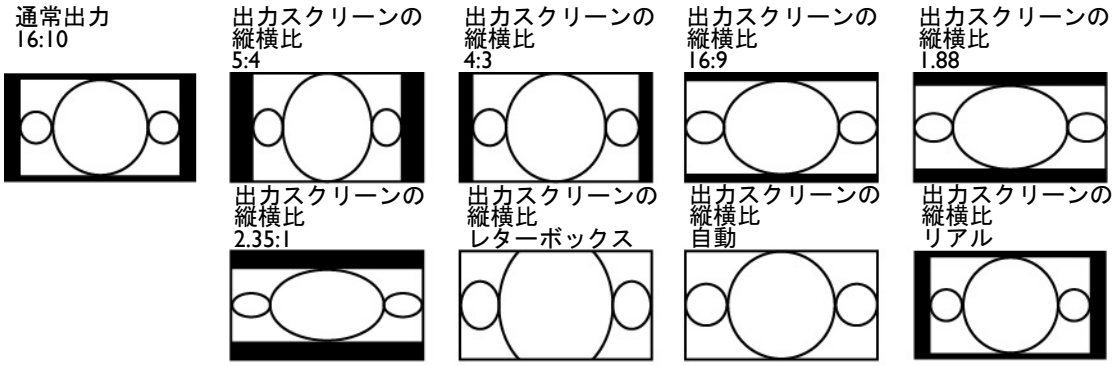
- **画像モード**
  矢印キー ◄► でディスプレイモードを選択します。
  ダイナミック：より明るくすべきアプリケーションで最高輝度で出力します。
  プレゼンテーション：プレゼンテーションや静止画を最高の画像効果で表示します。
  シネマ：映画を最高のカラー効果で再生します。
- **コントラスト**
  矢印キー ◄► で画像コントラストを調整します。

注意：

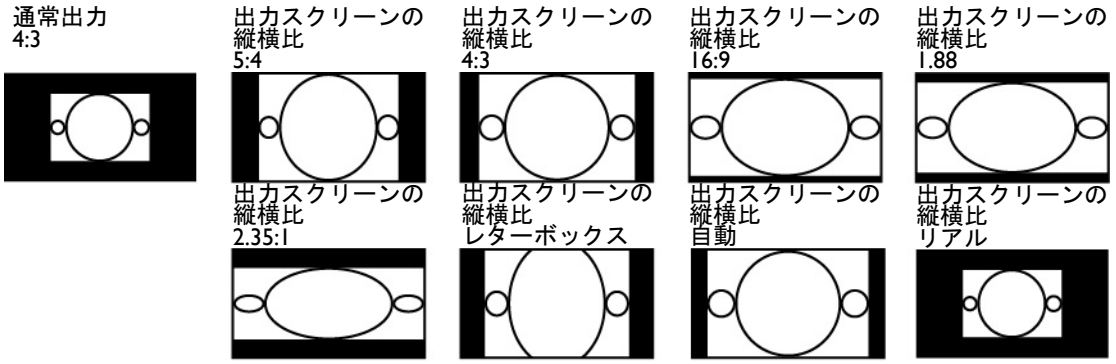
輝度とコントラストは、2 つの相互依存要素です。最高の設定にするには、コントラストを調整した後で輝度設定を微調整する必要があります。

- **輝度**
  矢印キー ◄► で画像の輝度を調整します。
- **色彩度**
  矢印キー ◄► で画像の色彩度レベルを調整します。（値を高くするほど、色がはっきりとします）
- **色調**
  矢印キー ◄► で色調レベルを調整します。
- **ガンマ**
  暗いエリアの詳細は、明るすぎる場所ではより見にくくなります。画像の色の違いを補正するには、次のガンマ補正オプションを使用します。
  映画：色補正を約 ガンマ 3 に調整します。
  画像：コンピュータ デモンストレーション用ドキュメントで、グレイスケールの詳細を犠牲にしても輝度の高さが求められる場合に選択します。
  ビデオ：フィルムカラーの差異補正に似ていますが、画像の暗いエリアに違いを持たせます。
  線状：線状色補正を行います。
  自然色：色補正を「2.6」に設定します。
- **色**
  矢印キー ◄► で色温度を調整します。

- **シャープネス**
  矢印キー ◄► でシャープネスの詳細値を調整します。
- **ノイズ削減**
  矢印キー ◄► で投写画像のノイズを調整します。この機能は、インターレーススキャン入力による画像のノイズを除去します。一般的に、画像ノイズ削減機能はシャープネスの詳細値を下げて画像を滑らかに見せます。
- **縦横比**
  縦横比を調整します。
  16:10 の標準入力の場合、縦横比は次の画像のようになります。

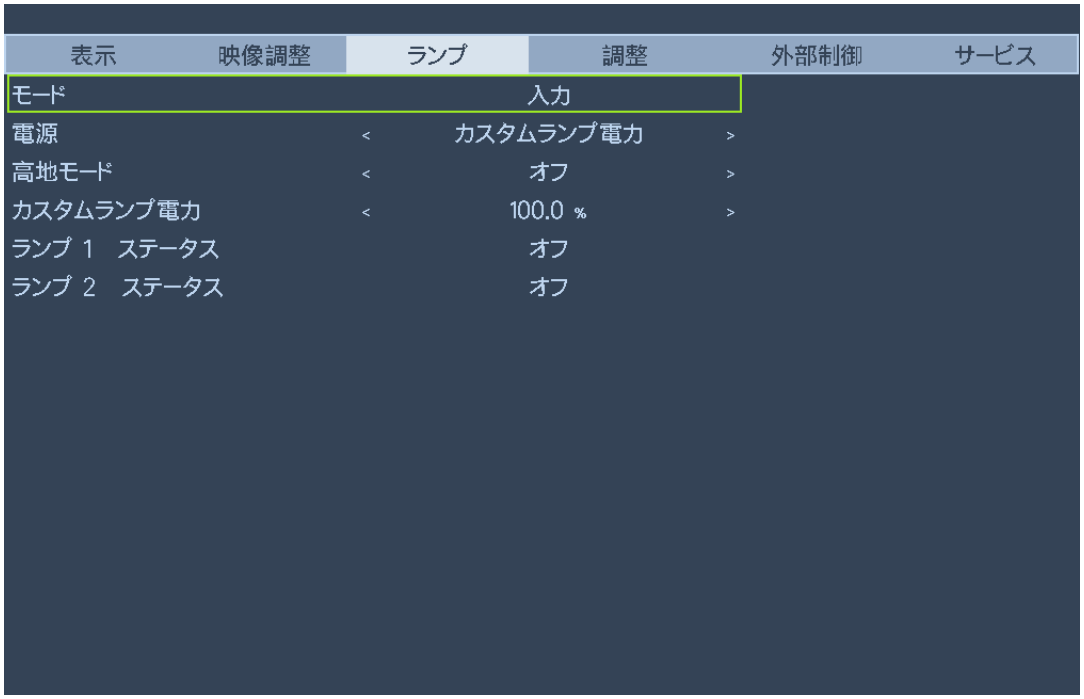


  4:3 の標準入力の場合、縦横比は次の画像のようになります。



- **オーバースキャン**
  入力ソースが 16:10 の画像でない場合は、余白部分にノイズが見られることがあります。3 つのオプションから 1 つ選択すると、余白が隠されます。
- **VGA 設定**
  VGA 信号、ディスプレイの水平総ドット、水平スタートドット、水平位相、垂直スタートドットを設定します。
- **自動同期**
  Enter キーを押して自動同期機能を実行します。

OSD メニュー - ランプ



- **モード**
  矢印キー ◄► でシングルランプモードかデュアルランプモードを選択します。
  デュアルランプモード：デュアルランプ投写モードを有効にします。
  ランプ 1：ランプ 1 のみで投写します。ランプ 1 に不具合が発生すると、自動的にランプ 2 に切替わります。
  ランプ 2：ランプ 2 のみで投写します。ランプ 2 に不具合が発生すると、自動的にランプ 1 に切替わります。
  シングルランプモード：シングルランプモードですが、ランプは指定されていません。プロジェクタの電源が入ると、稼働時間が短い方のランプが自動的に選択されます。

注意：

- ランプ 1 またはランプ 2 モードでは、不具合が発生すると別のランプに切替わります。ランプが点灯するまで、ランプ交換の緑色の LED インジケータが点滅します。
- シングルランプモードの設定は、次回プロジェクタの電源を入れたときに有効になります。
- ランプモードを急に切り替えると、ランプの寿命が短くなります。ランプモード機能は、モードが完全に切り替わるまで無効です（薄く表示されます）。
- ランプモードが完全に切り替わるまで、ランプモードオプションは無効のままです。

- **電源**
  矢印キー ◄► を押すと、エコモード（省エネ）、ノーマルモード、カスタムランプ電力の順番で切替わります。
  ノーマル：最高輝度で出力するために、標準のランプ電力で投写します。
  エコモード：ランプ寿命を延長するために、省エネモードで投写します。
  カスタムランプ電力：投写を微調整するために、ランプ電力を 75-100% でノーマルモードに設定します。複数のプロジェクタを設置し、通常のメンテナンスを行うときに便利な機能です。

- **高地モード**
  プロジェクタを高地に設置する場合、この機能を使ってオプションをオンにすると冷却設定が切り換わります。デフォルトではオフになっています。

  通常、この機能がオフに設定されていても、プロジェクタは正常に作動します。プロジェクタは環境温度を検測し、冷却ファンの速度を一定化させます。

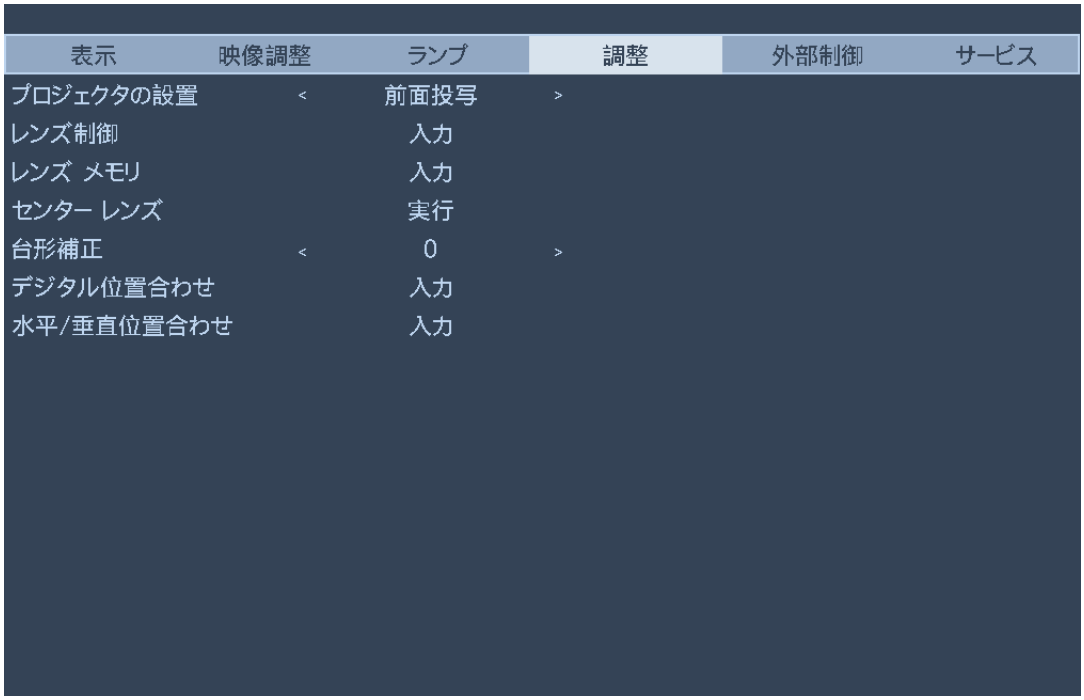
  気温が上がると、冷却ファンは回転を上げて（ノイズが大きくなります）内部の熱を排出し、プロジェクタの正常な作動を持続しようとします。ただし、気温が高すぎる場所や高地で使用すると、プロジェクタは自動的に電源が切れます。このような場合は、この機能をオンにすると、冷却ファンが内部温度を制御するために高速回転します。

注記：

1500 メートル（5000 フィート）以上の場所が高地とみなされます。

- **カスタムランプ電力**
  矢印キー ◄► を押してランプ出力をノーマルモードの 75-100% の範囲にカスタマイズします。この機能は、電源オプションがカスタムランプ電力モードに設定されている場合にのみ有効です。ノーマルとエコモードの 2 つのモードでは、この機能は無効です（薄く表示されます）。
- **ランプ 1 ステータス**
  ランプ 1 の状態がオンかオフかを示します。
- **ランプ 2 ステータス**
  ランプ 2 の状態がオンかオフかを示します。

OSD メニュー - 調整



- **プロジェクタの設置**
  矢印キー ◄► でプロジェクタの設置場所を選択します。前面投写、背面投写、天井前面投写、天井背面投写、アップ + フロント、ダウン + フロントの中から選択してください。

注意：

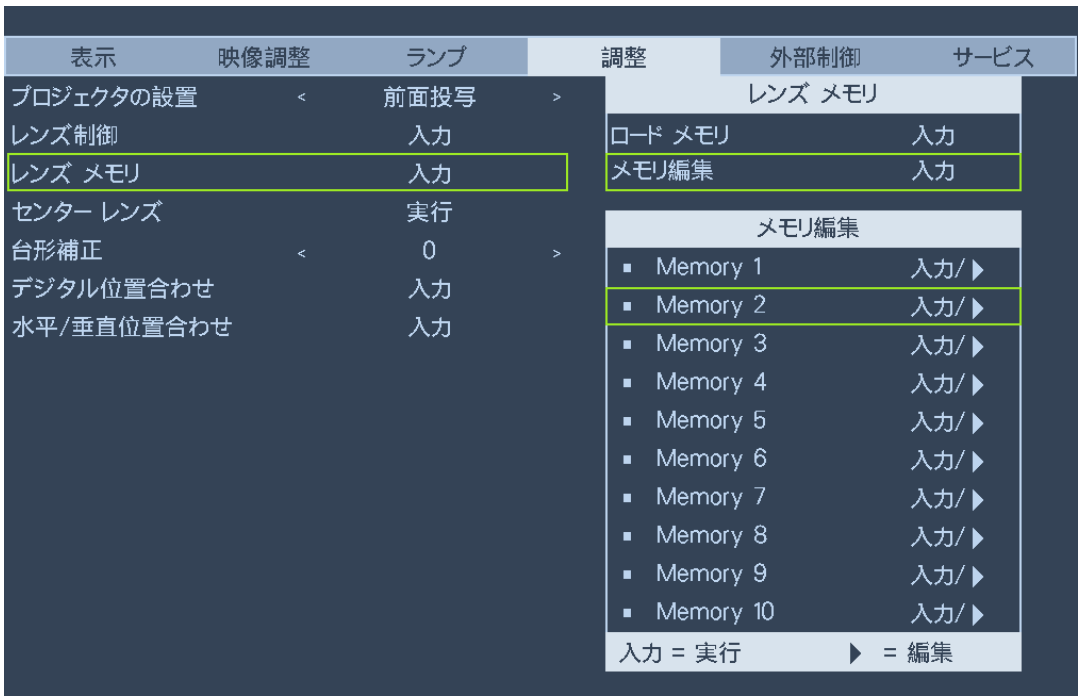
プロジェクタ内部の熱を適切に排出するために、冷却ファンの速度は投写モードによって異なります。不適切な投写を行うと、プロジェクタが過熱したり、ランプの寿命が短くなったりします。プロジェクタは正しいモードで設置してください。

- **レンズ制御**
  この機能を選択するか、またはリモコンの LENS Shift ボタンを押すと、レンズ制御メニューが開きますのでズーム、焦点、レンズのシフトなどを選択できます。Enter キーを押してズーム / 焦点、レンズシフトメニューを選択します。または、矢印キー ◄► を押すと投写画像をフォーカスしたり、レンズを水平にシフトさせたりします。矢印キー ▲▼ を押すと、投写サイズをズームしたり、レンズを縦方向にシフトさせたりします。





- **レンズ メモリ**
  本機は最大で 10 個のズーム、焦点、レンズシフトの設定を記憶できます。それぞれの設定グループに、仮想キーボードを使って名前を付けることができます。現在のレンズ位置（水平と垂直）、ズーム、焦点設定を保存したり、保存したレンズメモリを復帰させて読み込んだり、レンズシフト、ズーム、焦点設定を新しく読み込んだりすることができます。



- **ロード メモリ**：保存したレンズ設定を呼び出します。Enter キーを押すとレンズメモリー覧が表示されます。矢印キー ▲▼ を押すと、任意のメモリを選択できます。再度 Enter キーを押すと、保存したレンズ設定が呼び出され、読み込まれます。本機は、10 個のレンズ設定グループを記憶できます。レンズ設定のメモリ位置は、別の色でマークされます。実際に設定が保存されたメモリしか選択できません。レンズメモリを追加したり、変更したりするには、次のメモリ編集オプションを選択します。
- **メモリ編集**：メモリ名を編集したり、レンズシフト、ズーム、焦点などを含む現在のメモリ設定を保存したりします。Enter キーを押すと、仮想キーボードが表示されます。設定を選択したり、決定したりするには、▲▼◀▶ キーと Enter キーを使います。

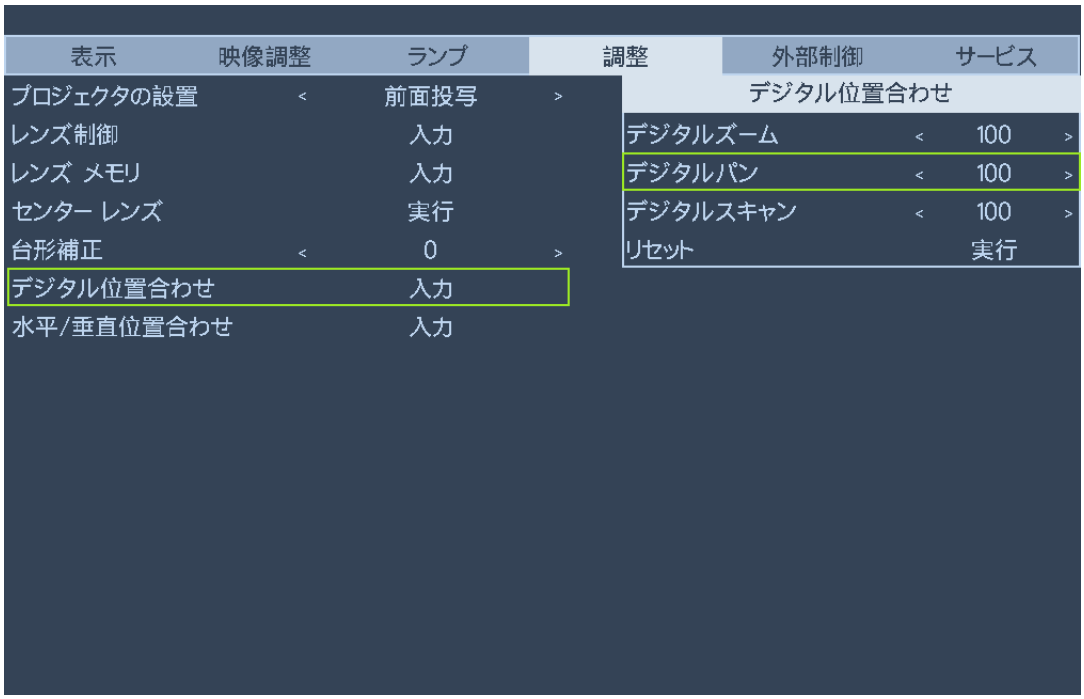


- **レンズのメモリ名の変更：**レンズ名にはデフォルト名が付いており、フォーマットは「Memory_NN」です。NN には 00 から 99 までの数字がきます。Backspace キーを押すと、ダイアログボックスの文字が消えます。Caps キーを押すと大文字と小文字が切り換わります。文字を選択するには ▲▼◀▶ キーを使い、変更内容を確定するには Enter キーを使います。メモリ名は 9 個の文字（文字、数字、記号、スペースを含みます）で構成されます。
- **Cancel**：レンズ設定への変更内容がキャンセルされます。
- **Accept**：レンズ設定への変更内容が確定されます。
- **Clear Memory**：現在のメモリ位置に保存されている設定を消去します。消去してもよいか確認のダイアログが表示されます。Enter を押すと設定が削除されます。▲▼◀▶ キーを使ってその位置からカーソルを動かすと、削除がキャンセルされます。

注意：

プロジェクタが正確なレンズ設定を記憶できるように、レンズを装着する度にセンターレンズ機能を実行してください。

- **センターレンズ**
  レンズメモリとあらかじめ設定された中央にレンズが配置されるように、レンズを調整します。
- **台形補正**
  矢印キー ◄► を押すと、投写角度によって生じる縦の歪みが補正されます。
- **デジタル位置合わせ**



投写画像にズームします。

デジタルズーム：矢印キー ◄► で投写画像にズームインします。

デジタルパン：矢印キー ◄► で投写画像にパンします。これは、投写画像が拡大される場合にのみ有効です。

デジタルスキャン：矢印キー ◄► で投写画像が傾斜します。これは、投写画像が拡大される場合にのみ有効です。

リセット：3 デジタル位置合わせの設定を初期値に戻します。

- **水平 / 垂直位置合わせ**

H ズーム：矢印キー ◄► を使って、投写画像の水平サイズを狭くします。

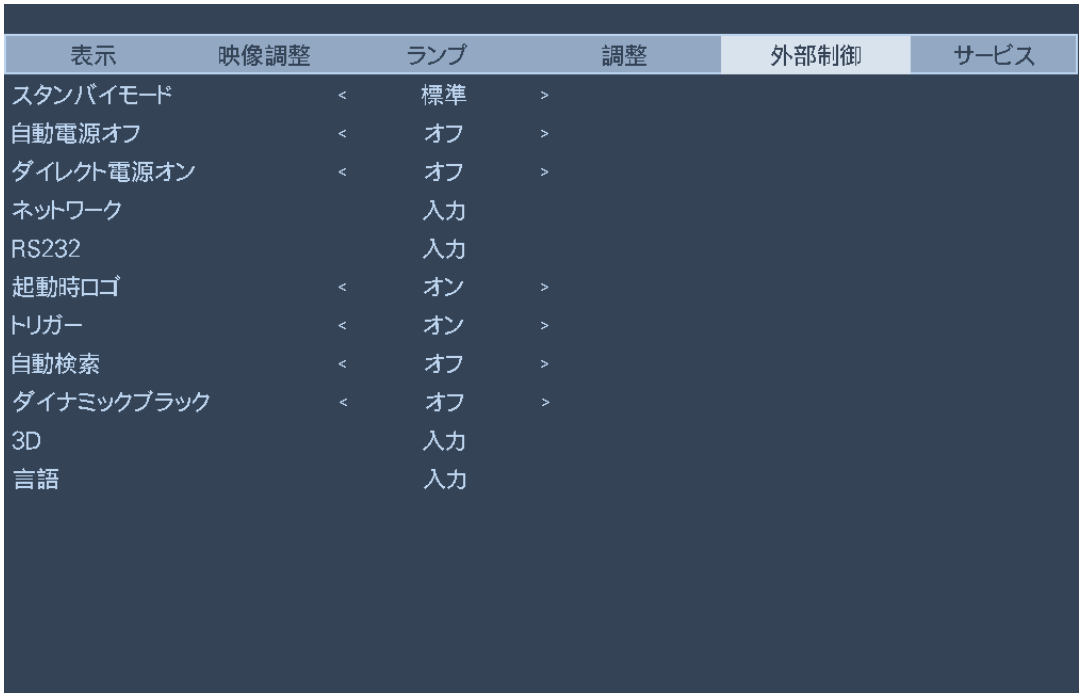
V ズーム：矢印キー ◄► を使って、投写画像の垂直サイズを狭くします。

H シフト：矢印キー ◄► を使って、狭くした投写画像を横方向に移動させます。これは、投写画像が縮小される場合にのみ有効です。

V シフト：矢印キー ◄► を使って、狭くした投写画像を縦方向に移動させます。これは、投写画像が縮小される場合にのみ有効です。

リセット：水平 / 垂直位置合わせの設定を初期値に戻します。

OSD メニュー - 外部制御

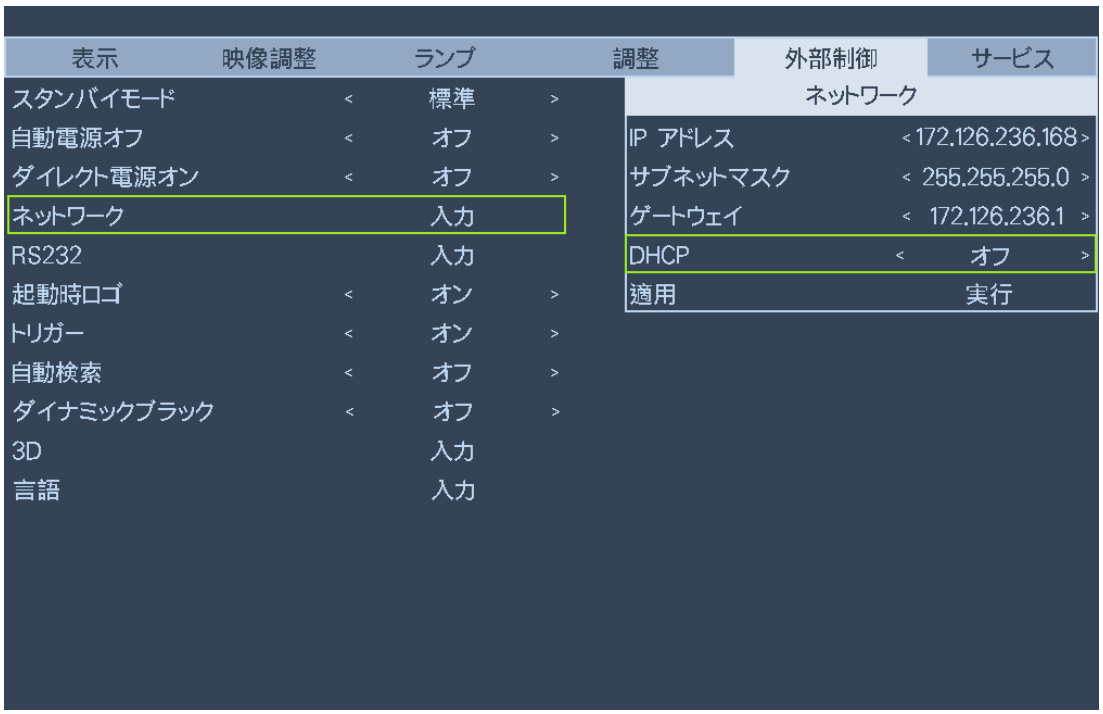


- **スタンバイモード**
  矢印キー ◄► を押すと、標準、エコモード、ネットワークモードの順に切替わります。
  標準: リモコン、RS-232 コマンド、ネットワーク制御でプロジェクタをオンにできます。
  エコモード：プロジェクタは、最低電力 (< 0.5W) でスタンバイ状態を維持します。このモードでは、プロジェクタはリモコンか本体の電源ボタンでしかオンになりません。
  ネットワーク：プロジェクタは、６W 以下の低電力でスタンバイ状態を維持します。電源ボタンかネットワーク制御でしかプロジェクタはオンになりません。RS-232 コントロールコマンドと RJ45 ケーブルを使用した外部トランスミッターを介した有線リモコンは使用できません。

注記：

エコモードまたはネットワークモードに設定されていると、一部の通信ポートはオフになります。スタンバイモードが適切に設定されているか確認してください。

- **自動電源オフ**
  デフォルト設定はオフです。プロジェクタがオンの状態で 20 分以上信号入力がなかった場合は、自動的に電源が切れます。
- **ダイレクト電源オン**
  デフォルト設定はオフです。プロジェクタがオンの状態でコンセントに繋ぐと、自動的に電源が入ります。
- **ネットワーク**
  ネットワーク機能を使ってネットワークを構築し、プロジェクタを操作することができます。



矢印キー ▲▼ と Enter キーを押すと、ネットワークとその設定を選択できます。

IP アドレス：IP アドレスを指定するには、Enter ボタンを押して IP アドレス入力画面を開きます。◀▶ を使って変更する IP アドレスに代わる番号を選択してください。IP アドレスの数字は、▲▼ ボタンで選択できます。



サブネットマスク：サブネットマスクの IP アドレスを設定します。

ゲートウェイ：ゲートウェイの IP アドレスを設定します。

DHCP：DHCP をオン / オフにします。これがオンに設定されている場合は、ネットワークドメインの DHCP サーバーがプロジェクタに IP アドレスを割り当てます。IP アドレスを手動で入力する代わりに、アドレス画面に表示されます。そうでない場合は、ドメインが IP アドレスを割り当てない、または割り当てられず、IP アドレス画面に「0.0.0.0」と表示されます。

適用：このボタンを選択して、Enter を押します。ネットワーク設定に変更が反映されるまでには数秒かかります。反映されると、次のメッセージが消えます。



ネットワークコントロールの接続と設定についての詳細は、リモコンの説明書をお読みください。

- **RS232**

ボーレート：通信速度を：115200、57600、38400、19200、14400、9600、4800、2400 のいずれかに設定します。通信速度は RS-232 ケーブルの長さによって変わります（ケーブルの長さが長くなるほど、スピードが落ちます）。RS-232 ケーブルを使用したとき信号が安定しなかったり、接続に不具合がある場合は、通信速度を遅くしてみてください。

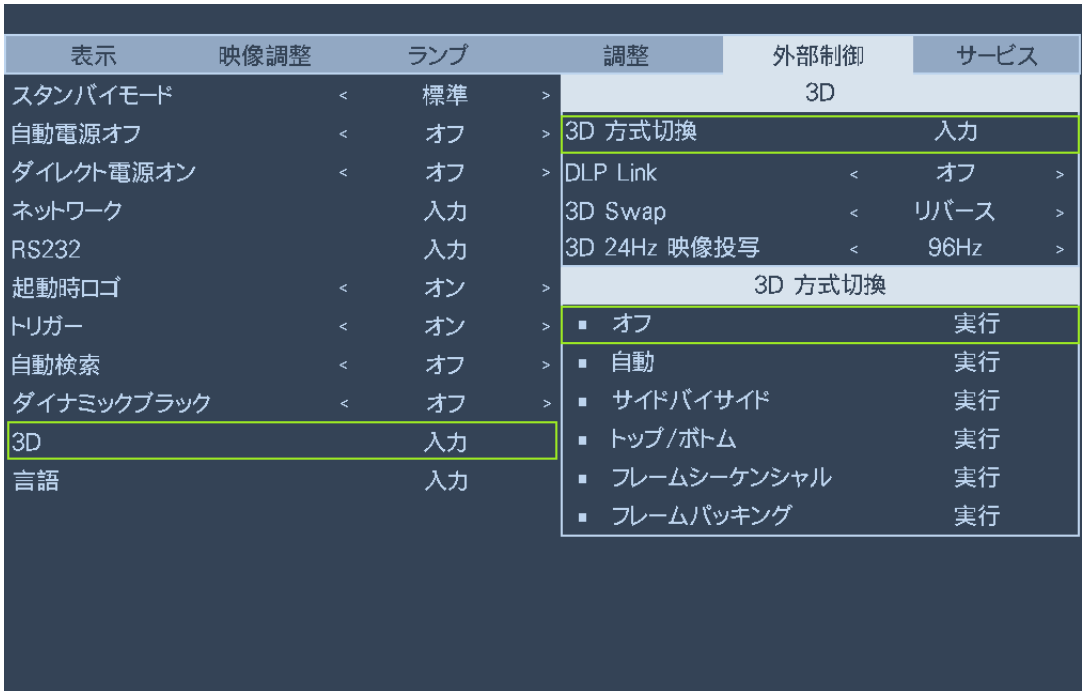
チャンネル：RS-232 ポート、または HDBaseT/LAN ポートに接続した外部デジタル通信ボックスを介してプロジェクタに RS-232 コントロールコマンドを送ります。コントロールコマンドを送信する前に、次の通信チャンネルを設定してください。

ローカル：プロジェクタの RS-232 ポートを介して RS-232 コントロールコマンドを送信します。まず通信速度を正しく設定しておいてください。

HDBaseT：外部デジタル通信ボックスを介して、プロジェクタの HDBaseT/LAN ポートに RS-232 コントロールコマンドを送信します。通信速度は自動的に 9600 に設定されます。

注意：

- プロジェクタがエコモードでスタンバイ状態になっている場合は、LAN と RS-232 リモコン機能は無効になります。リモコンか電源スイッチでしかプロジェクタの電源を入れることができません。
- リモコン機能を使って、プロジェクタをスタンバイモードから標準モードに変更します。
- **起動時ロゴ**
  矢印キー ◄► を使って、起動時ロゴ機能を有効 / 無効にします。
- **トリガー**
  本機には 1 個のトリガー出力が備わっています。プロジェクタに自動スクリーンデバイスが付いている場合は、それをトリガーに繋ぐと、プロジェクタに電源が入ったときにスクリーンが表示されます。この機能を使用すると、電源が入るまで 2、3 秒かかります。
- **自動検索**
  矢印キー ◄► を使って、自動検索を有効 / 無効にします。
- **ダイナミックブラック**
  矢印キー ◄► を使って、ダイナミックブラックモードを有効 / 無効にします。
- **3D**
  3D フォーマットと同期方式を設定します。接続した入力信号のタイプによって、設定で使用できるオプションは表示され、設定できないオプションは薄く表示されます。3D 設定を行う前に、入力信号に接続されているか確認してください。入力ソースに接続する前に 3D 設定を行わないでください。



3D 方式切換: このオプションを表示して Enter キーを押すと、3D 再生を有効にしたり、3D オプションを設定したりすることができます。

オフ：3D 投写モードが無効になります。3D モードは、自動、サイドバイサイド、トップ / ボトム、フレームシーケンシャルモードが選択されていると有効になります。3D モードを無効にするには、オフを選択して Enter を押してください。

自動：フレームパッキング、サイドバイサイド、トップ / ボトム、フレームシーケンシャル入力フォーマットが検出されると、3D フォーマットが有効になります。この機能は、次の入力信号にしか適用しません。

- HDMI 1.4a 3D 入力信号
- デジタルトランスミッターを介してプロジェクタに送信された HDMI 1.4a 3D 信号

  サイドバイサイド：3D フォーマットを手動でサイドバイサイドに設定します。このオプションは HDMI 入力信号、またはデジタルトランスミッターを介した HDMI 信号に適用されます。

  トップ / ボトム：3D フォーマットを手動でトップ / ボトムに設定します。このオプションは、HDMI、DVI、DisplayPort 入力信号、デジタルトランスミッターを介したこれらの信号に適用されます。

  フレームシーケンシャル：入力フォーマットをフレームシーケンシャルに設定します。

  DLP Link：DLP Link 同期を有効または無効にします。

  3D Swap：3D メガネによる左目と右目の 3D 画像の逆転が必要な場合、3D Swap をインバースに設定します。画像が正常に見える場合は、現在の設定、ノーマルモードのままに維持してください。

  3D 24Hz 映像投写：入力信号が 24Hz のとき、フレームレートを 144fps または 96fps に設定します。

注意：

本機は DLP Link と 3D IR 同期に対応しています。3D モードを有効にすると、3D メガネの信号を内蔵の DLP Link と外部 3D IR トランスミッターに同期することができます。または、前者を終了し、後者に依存して 3D 信号の同期を行うこともできます。大切なこと：

- 次のような方は、3D 画像をご覧になるに際して最大の注意を払ってください。

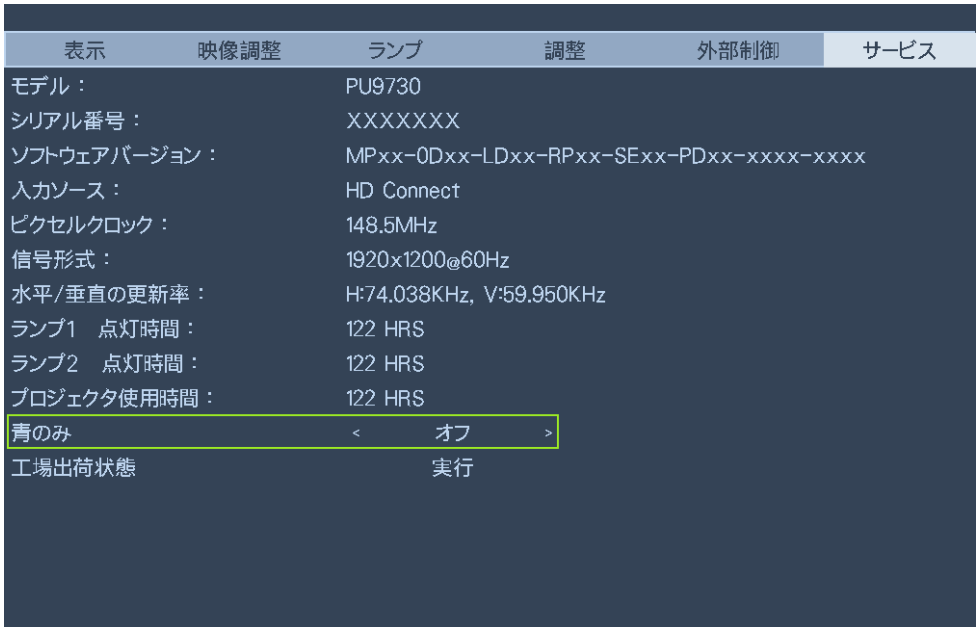
- 6 歳以下のお子様
- 照明に過敏な方、心臓疾患をお持ちの方、健康状態が良くない方
- 身体疲労がある方、睡眠不足の方
- 薬物またはアルコール障害をお持ちの方

- 正常な状態であれば、3D 画像は見ても安全です。それでも、場合によっては不快感を感じる方もいらっしゃいます。2008-12-10 の 3D アライアンスにより公開されたガイドラインをご参照ください。30 ～ 60 分毎に 5 ～ 15 分程度の休憩を取ってください。

- **言語**

  OSD メニューの言語を選択してください。英語、ドイツ語、スペイン語、フランス語、イタリア語、スウェーデン語、ポルトガル語、ロシア語、中国語（簡体字）、韓国語 、日本語、中国語（繁体字）の中から選択してください。

OSD メニュー - サービス



プロジェクタに関する基本的な情報が表示されます。

- **モデル**
  プロジェクタのモデル番号です。
- **シリアル番号**
  プロジェクタのシリアル番号です。
- **ソフトウェアバージョン**
  プロジェクタにインストールされているソフトウェアのバージョンです。
- **入力ソース**
  使用中の信号ソースです。
- **ピクセルクロック**
  現在の入力信号のピクセルクロック周波数です。
- **信号形式**
  現在の入力信号の信号フォーマットです。
- **水平 / 垂直の更新率**
  現在の画像の水平 / 垂直リフレッシュレートです。
- **ランプ 1 点灯時間**
  ランプ 1 の点灯時間が表示されます。新しいランプに交換した後は、カウンターがゼロに戻ります。
- **ランプ 2 点灯時間**
  ランプ 2 の点灯時間が表示されます。新しいランプに交換した後は、カウンターがゼロに戻ります。
- **プロジェクタ使用時間**
  プロジェクタの使用時間です。
- **青のみ**
  このオプションを選択すると、補修担当者が画像を調べやすいように、青いスクリーンが表示されます。この機能の使い方については、専門の補修担当者にお尋ねください。
- **工場出荷状態**
  ユーザー指定の設定値を含め、メニュー設定を工場出荷時の状態に戻します。

注意：

設定を初期値に戻しても、ランプの使用時間はそのまま継続されます。

追加情報

レンズのクリーニング

表面に汚れやほこりが付いていたら、レンズのお手入れが必要です。レンズのクリーニングを開始する前に、プロジェクタの電源をオフにして電源コードを抜き、完全に冷却されるまでしばらくお待ちください。圧縮空気スプレーを使ってほこりを取り除いてください。（ハードウェア販売店やカメラショップでご購入いただけます。）
汚れやしみが付いた場合は、適切なカメラレンズブラシを使用するか、レンズクリーナーで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭いてください。
研磨用パッド、アルカリ性 / 酸性クレンザー、研磨剤入りパウダー、揮発性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤）などは一切ご使用にならないでください。ゴムやビニール部分にこのような素材を使用したり、長期間これらを接触したままの状態にしておくと、プロジェクタの表面やキャビネットの素材を傷つける場合があります。

注記：

レンズは絶対に指で触れたり、研磨剤を使用したり、こすったりしないでください。ペーパータオルでもレンズのコーティングがはがれる場合があります。適切なカメラレンズブラシ、布、クリーニング液だけを使用するようにしてください。
プロジェクタがオンのとき、またはまだ熱を持っているときにレンズのクリーニングを行わないでください。レンズのお手入れを開始する前に、プロジェクタをオフにして完全に冷却してください。

プロジェクタのお手入れ

ご使用のプロジェクタはほとんどメンテナンスの必要がありません。レンズを清潔に保つために、定期的なレンズのお手入れだけが必要です。ランプ以外は、プロジェクタの部品は一切取り外さないでください。プロジェクタが正常に作動しなくなった場合は、販売店かお近くのカスタマーサービスセンターへお問い合わせください。

プロジェクタ ケースのお手入れ

ケースのクリーニングする前に、プロジェクタの電源をオフにして電源ケーブルを抜き、完全に冷却されるまでしばらくお待ちください。
ほこりや汚れを取り除くには、乾燥した柔らかい、けば立ちのない布で拭きます。
落ちにくい汚れやしみを取り除くには、水で薄めた中性洗剤で布を湿らせて、ケースを拭きます。

ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、その他の化学洗剤は使用しないでください。こうした薬剤を使用すると、ケースを傷める場合があります。

プロジェクタの保管

長期間プロジェクタを保管する必要がある場合は、次の手順に従ってください。
保管場所の温度と湿度が、プロジェクタの推奨範囲内であることを確認します。範囲については、マニュアルの仕様ページを参照するか、販売店にお問い合わせください。
調整脚をおさめます。
リモコンから電池を取り外します。
プロジェクタを元の梱包または同等の梱包に入れます。

プロジェクタの移動

プロジェクタを搬送するときは、元の梱包または同等の梱包で行うことを推奨します。

ランプの交換

ランプが切れたら、交換してください。ランプは必ず認定されたパーツに交換してください。詳しくは、お近くの販売店にお尋ねください。

- ランプの設置方向はそれぞれ異なります。ランプを交換する際は、力を入れ過ぎないようにしてください。
- プロジェクタをデュアル ランプモードまたはシングル ランプモードで稼働するためには、両方のランプモジュール（ランプ 1 およびランプ 2）を設置します。1 個のランプモジュールだけを装着すると、プロジェクタのランプが点灯せず、ランプの故障として表示されます。

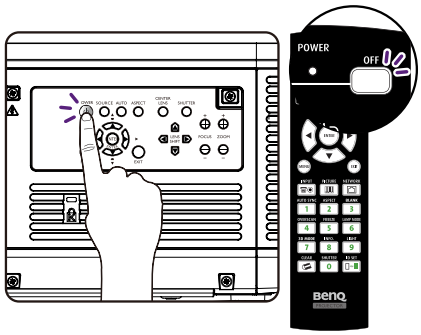
- ランプには一定量の水銀が含まれていますので、お住まい地域の条例に従って破棄してください。
- 新しいランプのガラス面には手を触れないでください。ランプの寿命が短くなる場合があります。

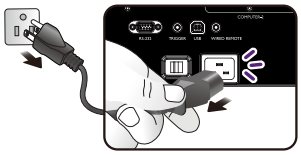
ランプの取り扱いについて
- このプロジェクタには、取り扱いに注意が必要な高圧ランプが使用されています。正しく取り扱わなければ、事故、ケガ、火災の原因となります。
- ランプ毎に、また使用環境によっても寿命は変わります。すべてのランプの寿命が同じであるという保証はありません。一部のランプは他のランプよりも寿命が短く、早く使えなくなってしまう場合があります。
- ランプ 1 またはランプ 2 が点灯してランプを交換するように警告が表示された場合は、冷却後直ちにランプを新しいものに交換してください。（このマニュアルの「ランプの交換」セクションに記載される説明に従ってください。）ランプ 1 またはランプ 2 が点灯した状態で続けてランプを使用すると、ランプが爆発する可能性があります。
- ランプに強い振動や衝撃を与えたり、長時間使用したことにより劣化が生じると、ランプが爆発する場合があります。爆発の危険性は、プロジェクタとランプの使用環境または条件によって変わります。

ランプが爆発したときには、次の安全のための注意によく従ってください。
- すぐにプロジェクタをコンセントから外してください。本体のチェック、ランプ交換のために、認証されたサービス センターにお問い合わせください。また、プロジェクタの周辺に壊れたランプの破片が落ちていないか、通気口から破片が飛び散っていないかよく確認してください。ガラスの破片が飛び散っているのが見つかったら、しっかりと掃除をしてください。認証され、経験を積んだ技術者で、プロジェクタの補修に慣れている技術者以外は、プロジェクタの内部をチェックすることはできません。特にプロジェクタの補修に詳しくない人が本体を補修しようとすると、事故やケガの原因となります。
- ランプが切れたら、交換してください。ランプは必ず認証されたパーツをお選びください。お近くの販売店でご購入いただけます。

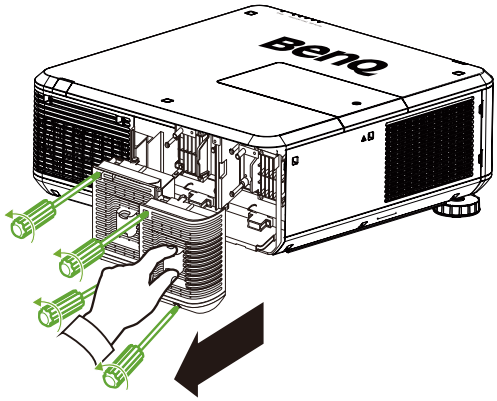
- ランプを交換する前、最低でも 30 分前には、プロジェクタの電源を切り、プラグを抜いてください。そうしなければ、火傷の原因となります。
- 天井に取り付けられたプロジェクタのランプを交換する際は、必ず安全用の保護メガネをかけてください。

1. プロジェクタの電源を切ってから、電源コードを外してください。本体が完全に冷却され、ランプやコンポーネントの温度が下がってから、交換するランプモジュールを取り出してください。

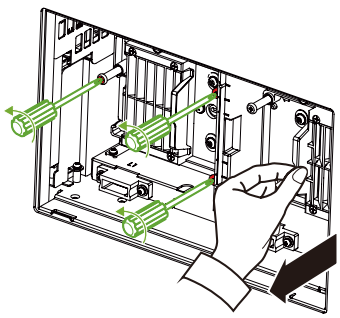




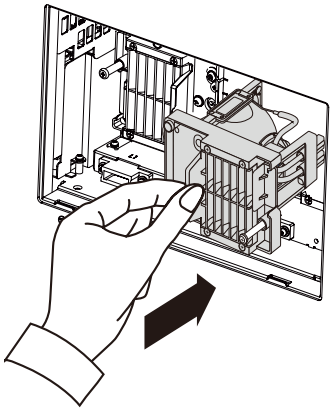
2. ドライバを使ってランプキャップを固定しているネジを外します。



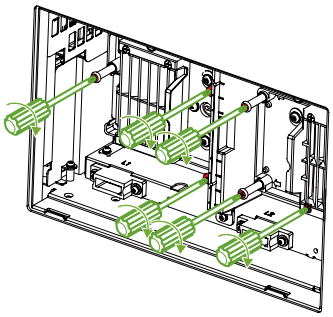
3. ドライバを使ってランプを固定しているネジを外します。



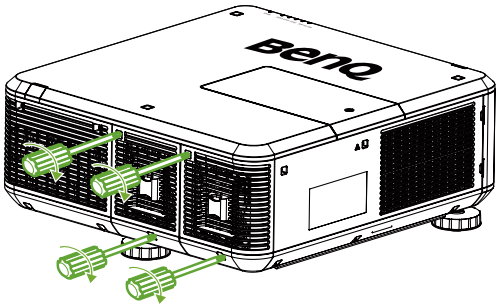
4. 新しいランプを古いランプの方向によって挿入します。



5. ドライバでランプのネジを締めて、ランプキャップを締めてください。



6. ランプのコンパートメントのカバーを交換してそしてネジを締めてください。

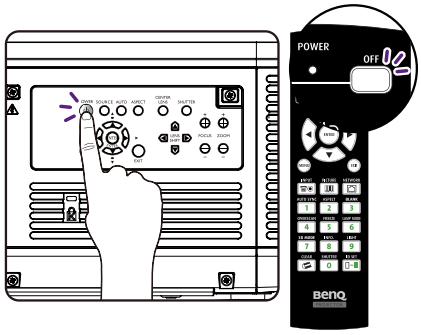


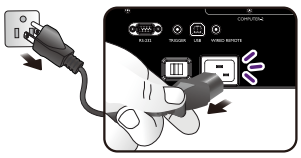
- 急激に引っ張るとランプが割れ、ガラスの破片がプロジェクタ内に散乱します。指にけがをしたり、内部コンポーネントにキズがついたりする場合がありますので、破損したランプガラスを除去するときには特に注意してください。
- 取り出したランプは水のかかる場所、子供の手が届く場所、可燃物の付近には置かないでください。
- ランプを取り出した後は、プロジェクタ内に手を入れないでください。内部の光学コンポーネントに触れると、画像ぼけの原因となります。
- ネジは締めすぎないでください。ネジの締め方がゆるいと接触が悪くなり、故障の原因になる場合があります。

カラーホイール（別売り）のインストール

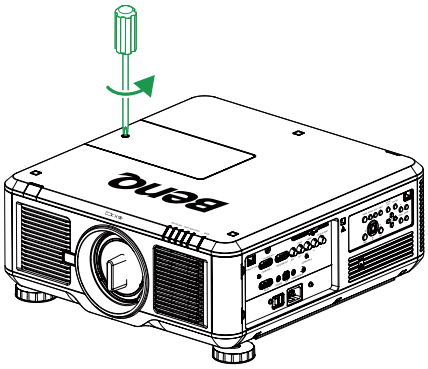
プロジェクタには明るいタイプのカラーホイールがインストールされています。追加のカラータイプのカラーホイールは別売りとなります。カラーホイール（ランプ 1 の横のランプカバー下にあります）を交換するには、次の説明をお読みください。

1. 電源をオフにして、プロジェクタをコンセントから抜きます。接続されている機器をすべてオフにして、すべてのケーブルを外します。

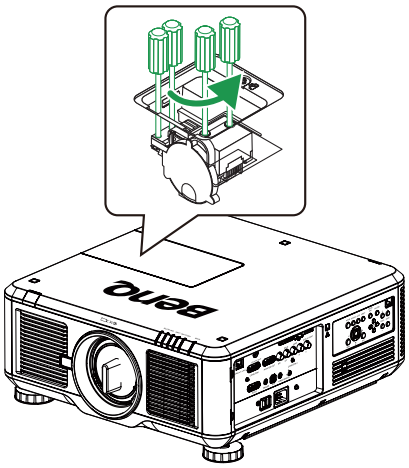




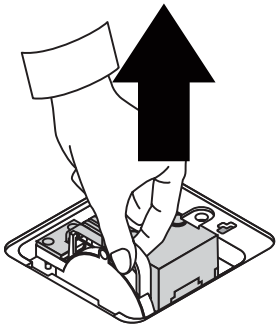
2. ランプカバーのネジを外し、図のようにランプカバーをスライドさせます。



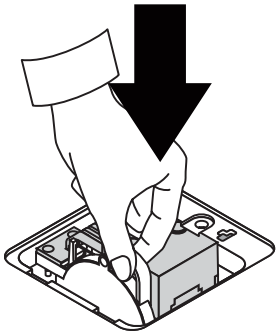
3. カラーホイールのネジ (x 4) を弛めます。



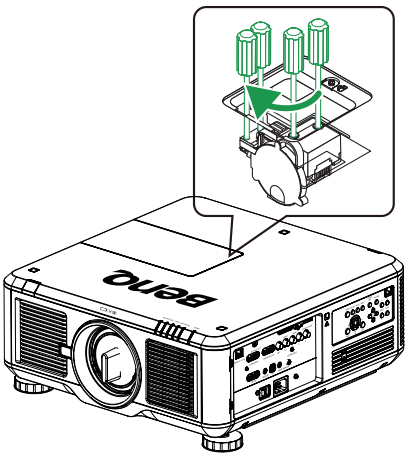
4. 表示方向にカラーホイールを持ち上げます。



5. 新しいカラーホイールを挿入します。



6. 図のように固定ネジを締めて、ランプカバーを閉じます。



使用しないカラーホイールの保管：使用しないカラーホイールは、6 セグメントのカラーホイール（別売り）が入っていたジッパー付きの袋に入れて保管してください。この袋に入れることで、カラーホイールをほこりから保護します。

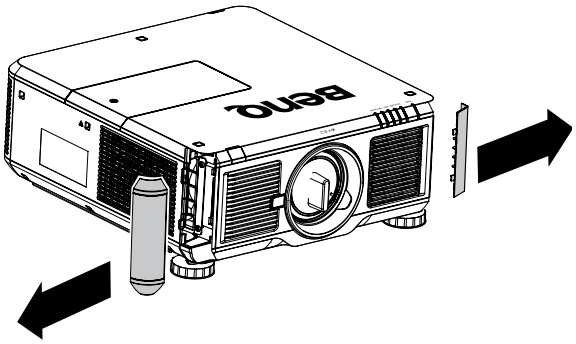
フィルターの交換

フィルターの汚れ具合や交換時期は、環境毎に異なります。プロジェクタを最高の状態で使用するには、フィルターを定期的にチェックしてください。

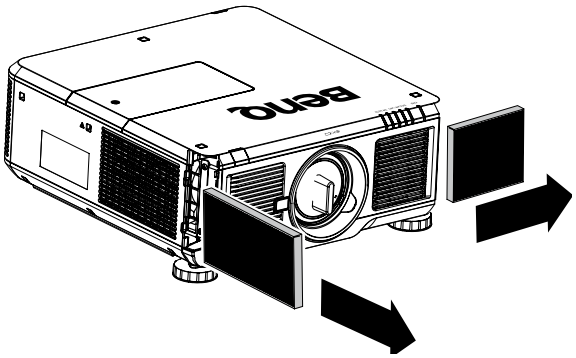
注意：

フィルターが汚れていると、プロジェクタへの通気が悪くなり、過熱してシステム保護が起動したり、コンポーネントが故障したりする場合があります。フィルターをチェックして、ホコリを除去したり、交換したりしてください。

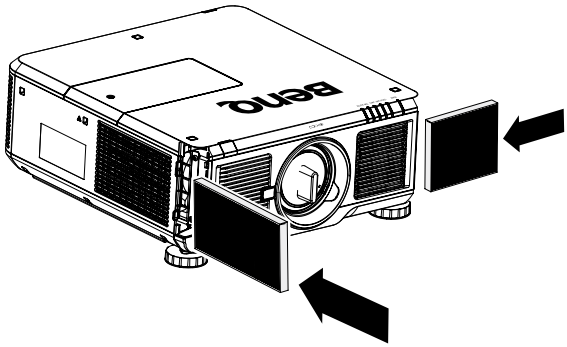
1. フロントフィルターキャップを左か右に開きます。



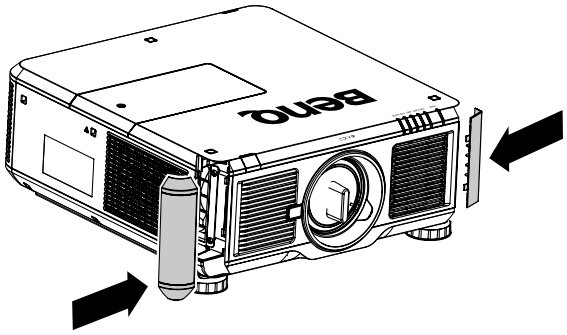
2. 使用済みのフィルターを外します。



3. 新しいフィルターをはめます。



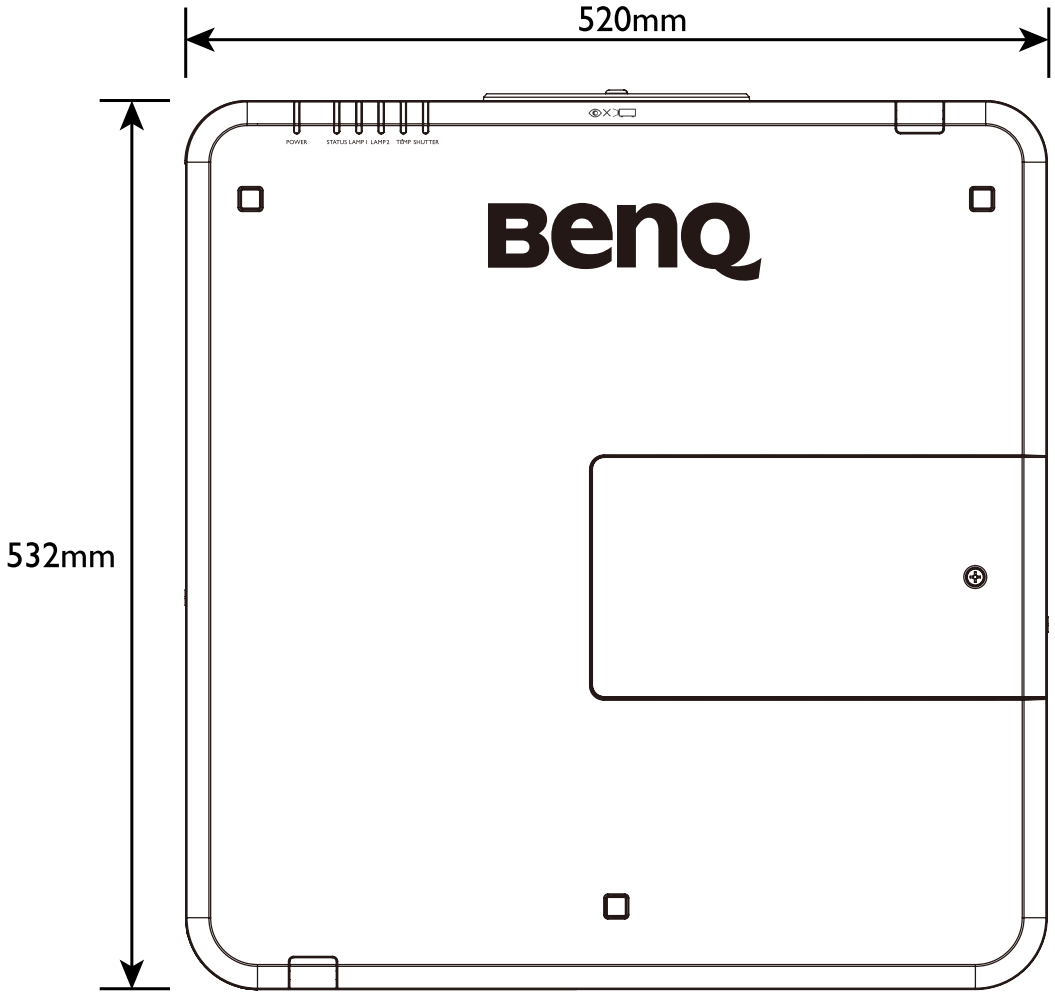
4. フロントカバーを閉めると完了です。

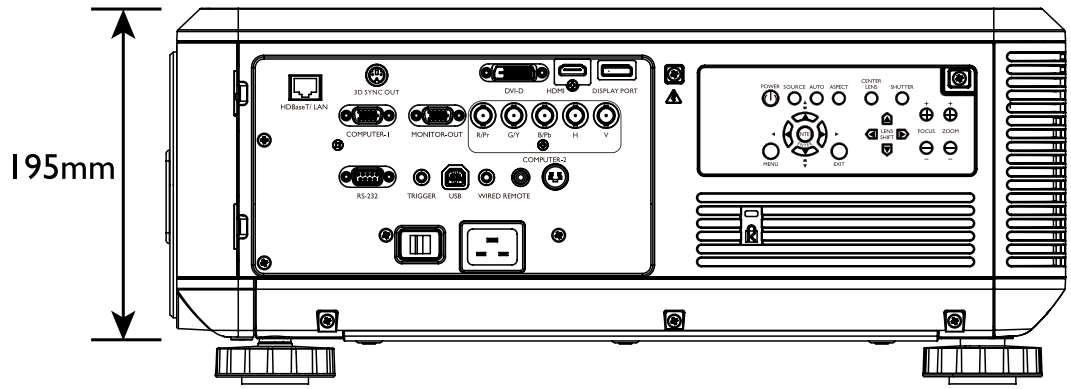


仕様

モデル		PU9730	PW9620	PX9710
ディスプレイ機器		0.67"、1-DLP チップ	0.65"、1-DLP チップ	0.7"、1-DLP チップ
解像度		WUXGA	WXGA	XGA
入力端子	HDMI（HDCP 対応）	1		
	DVI-D（HDCP 対応）	1		
	DisplayPort（HDCP 対応）	1		
	Computer-2 (5BNC)	1		
	Computer-1 (D-sub 15p)	1		
	HDBaseT（RJ-45 で共有）	1		
出力端子	Monitor Out (D-sub 15 p)	1		
	Trigger（φ3.5 mm ステレオミニジャック）	X1（DC 12V 出力）		
	3D IR Sync (VESA mini din)	1		
操作と補修	Lan (RJ-45)	1		
	Wired Remote（φ3.5 mm ステレオミニジャック）	1		
	RS-232	1		
	補修用 USB（タイプ B）	1		
電源要件		AC 110 - 240V、50/60 Hz		
入力電流		10.00 A		
消費電力（標準、デュアルランプモード）		AC 110V 使用で 845W (23.05W / < 0.5W) AC 240V 使用で 815W (21.5W / < 0.5W)		
操作温度		41°F から 104°F（5°C から 40°C）		
保管温度		14°F から 140°F（-10°C から 60°C）、 5% から 90% 湿度（結露なきこと）		
外形寸法		20.5"（幅）x 7.7"（高さ）x 20.9"（奥行き） 520 mm（幅）x 195 mm（高さ）x 532 mm（奥行き） （突起部分または脚を含まず）		
重量		20.5 kg		

外形寸法


520mm
532mm
POWER
STATUS LAMP1 LAMP2 TEMP SHUTTER
BenQ


195mm
HDBaseT/ LAN
3D SYNC OUT
DVI-D
HDMI
DISPLAY PORT
COMPUTER-1
MONITOR-OUT
R/Pr
G/Y
B/Pb
H
V
COMPUTER-2
RS-232
TRIGGER
USB
WIRED REMOTE
POWER
SOURCE
AUTO
ASPECT
CENTER LENS
SHUTTER
MENU
EXIT
FOCUS
ZOOM

タイミング表

次の表は、互換性のある信号タイプ、解像度、周波リフレッシュ レートをまとめたものです。
水平：15 kHz、31 kHz から 90 kHz、垂直：50 Hz から 85 Hz

PC タイミング

入力信号タイプ	解像度	フレームレート	Computer 2		Computer 1		DVI-D	HDMI/HDBaseT		DisplayPort
			RGBHV	YUV	RGBHV	YUV		RGB	YUV	
PC	640x480	59.94	V		V		V	V		V
	640x480	75	V		V		V	V		V
	640x480	85	V		V		V	V		V
	800x600	75	V		V		V	V		V
	800x600	85.06	V		V		V	V		V
	848x480	47.95	V		V		V	V		V
	848x480	59.94	V		V		V	V		V
	1024x768	60	V		V		V	V		V
	1024x768	75.03	V		V		V	V		V
	1024x768	85.03	V		V		V	V		V
	1280x720	47.95	V		V		V	V		V
	1280x768	59.87	V		V		V	V		V
	1280x800	59.81	V		V		V	V		V
	1280x960	60	V		V		V	V		V
	1280x1024	60.02	V		V		V	V		V
	1280x1024	75.02	V		V		V	V		V
	1280x1024	85.02	V		V		V	V		V
	1366x768	59.79	V		V		V	V		V
	1440x900	59.887	V		V		V	V		V
	1600x1200	60	V		V		V	V		V
	1920x1080	47.95	V		V		V	V		V
	1680x1050	59.94	V		V		V	V		V
	1920X1200 (Reduce Blanking)	60	V		V		V	V		V
	1400X1050	60	V		V		V	V		V
Apple Mac	640x480	66.59	V		V		V	V		V
	832x624	74.54	V		V		V	V		V
SDTV	1440x480i	60						V	V	V
	1440x576i	50						V	V	V

入力信号タイプ	解像度	フレームレート	Computer 2		Computer 1		DVI-D	HDMI/HDBaseT		DisplayPort
			RGBHV	YUV	RGBHV	YUV		RGB	YUV	
EDTV	480p	59.94	V	V	V	V	V	V	V	V
	576p	50	V	V	V	V	V	V	V	V
	1080i	50	V	V	V	V	V	V	V	V
	1080i	59.94	V	V	V	V	V	V	V	V
	1080i	60	V	V	V	V	V	V	V	V
	720p	50	V	V	V	V	V	V	V	V
	720p	59.94	V	V	V	V	V	V	V	V
	720p	60	V	V	V	V	V	V	V	V
	1080p	23.98	V	V	V	V	V	V	V	V
	1080p	24	V	V	V	V	V	V	V	V
	1080p	25	V	V	V	V	V	V	V	V
	1080p	29.97	V	V	V	V	V	V	V	V
	1080p	30	V	V	V	V	V	V	V	V
	1080p	50	V	V	V	V	V	V	V	V
	1080p	59.94	V	V	V	V	V	V	V	V
	1080p	60	V	V	V	V	V	V	V	V

3D 対応タイミング

入力信号タイプ	解像度	フレームレート	フレームパッキング	サイドバイサイド	トップ / ボトム	フレームシーケンシャル
PC	640x480	59.94				V
	848x480	47.95				V
	848x480	59.94				V
	1024x768	60				V
	1280x720	47.95				V
	1280x768	59.87				V
	1280x800	59.81				V
	1280x960	60				V
	1280x1024	60.02				V
	1366x768	59.79				V
	1440x900	59.887				V
	1600x1200	60				V
	1920x1080	47.95				V
	1680x1050	59.94				V
	1920X1200 (Reduce Blanking)	60				V
	1400X1050	60				V

入力信号タイプ	解像度	フレームレート	フレームパッキング	サイドバイサイド	トップ / ボトム	フレームシーケンシャル
EDTV	1080i	59.94		V		
	1080i	60		V		
	720p	50	V		V	V
	720p	59.94	V		V	V
	720p	60	V		V	V
	1080p	23.98	V		V	
	1080p	24	V		V	
	1080p	50				V
	1080p	59.94				V
	1080p	60				V

- プロジェクタ本来の解像度よりも低い、または高い解像度の画像は圧縮されます。
- 信号線が減らされた信号の同期は、正しく表示されない場合があります。
- 上記の表に記載されていない信号は、正しく表示されない場合があります。その場合は、PC でリフレッシュレートか解像度を変更してみてください。

RS232 コマンド コントロール

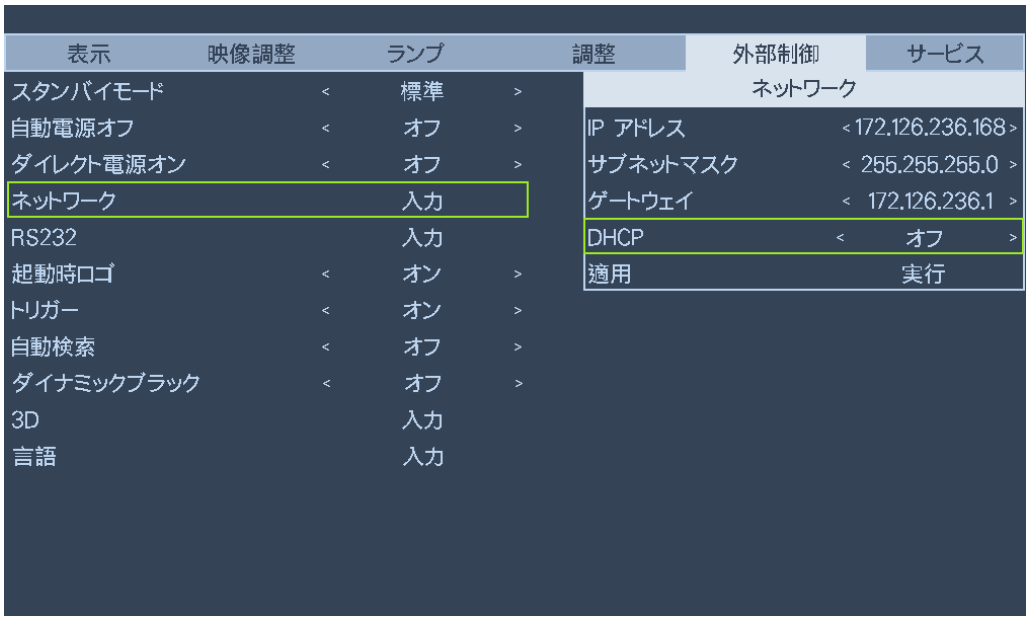
機能	タイプ	説明	ASCII
電源	書き込み	電源オン	<CR>*pow=on#<CR>
	書き込み	電源オフ	<CR>*pow=off#<CR>
	読み込み	電源の状態	<CR>*pow=?#<CR>
ソース選択	書き込み	COMPUTER/YPbPr	<CR>*sour=RGB#<CR>
	書き込み	COMPUTER 2/YPbPr2	<CR>*sour=RGB#<CR>
	書き込み	DVI-D	<CR>*sour=dvid#<CR>
	書き込み	HDMI	<CR>*sour=hdmi#<CR>
	書き込み	DisplayPort	<CR>*sour=dp#<CR>
	書き込み	HDBaseT	<CR>*sour=hdbaset#<CR>
	読み込み	現在のソース	<CR>*sour=?#<CR>
画像設定	書き込み	ダイナミック	<CR>*appmod=dynamic#<CR>
	書き込み	プレゼンテーション	<CR>*appmod=preset#<CR>
	書き込み	シネマ	<CR>*appmod=cine#<CR>
	読み込み	画像モード	<CR>*appmod=?#<CR>
	書き込み	コントラスト +	<CR>*con=+#<CR>
	書き込み	コントラスト -	<CR>*con=-#<CR>
	読み込み	コントラスト値	<CR>*con=?#<CR>
	書き込み	輝度 +	<CR>*bri=+#<CR>
	書き込み	輝度 -	<CR>*bri=-#<CR>
	読み込み	輝度値	<CR>*bri=?#<CR>
	書き込み	色 +	<CR>*color=+#<CR>
	書き込み	色 -	<CR>*color=-#<CR>
	読み込み	色の値	<CR>*color=?#<CR>
	書き込み	シャープネス +	<CR>*sharp=+#<CR>
	書き込み	シャープネス -	<CR>*sharp=-#<CR>
	読み込み	シャープネス値	<CR>*sharp=?#<CR>
	書き込み	色温度 - 暖色	<CR>*ct=warm#<CR>
	書き込み	色温度 - 標準	<CR>*ct=normal#<CR>
	書き込み	色温度 - 寒色	<CR>*ct=cool#<CR>
	書き込み	色温度 - ランプ ネイティブ	<CR>*ct=native#<CR>
	読み込み	色温度の状態	<CR>*ct=?#<CR>
	書き込み	縦横比 4:3	<CR>*asp=4:3#<CR>
	書き込み	縦横比 16:9	<CR>*asp=16:9#<CR>
	書き込み	縦横比 16:10	<CR>*asp=16:10#<CR>
	書き込み	自動縦横比	<CR>*asp=AUTO#<CR>
	書き込み	縦横比リアル	<CR>*asp=REAL#<CR>
	書き込み	縦横比レターボックス	<CR>*asp=LBOX#<CR>
	書き込み	縦横比 5:4	<CR>*asp=5:4#<CR>
	書き込み	縦横比 1.88	<CR>*asp=1.88:1#<CR>
	書き込み	縦横比 2.35	<CR>*asp=2.35:1#<CR>
	読み込み	縦横比の状態	<CR>*asp=?#<CR>

画像設定	書き込み	デジタルズームイン	<CR>*zoomI#<CR>
	書き込み	デジタルズームアウト	<CR>*zoomO#<CR>
	書き込み	自動	<CR>*auto#<CR>
操作設定	書き込み	プロジェクタの位置 - 前面投写	<CR>*pp=FT#<CR>
	書き込み	プロジェクタの位置 - 背面投写	<CR>*pp=RE#<CR>
	書き込み	プロジェクタの位置 - 天井背面投写	<CR>*pp=RC#<CR>
	書き込み	プロジェクタの位置 - 天井前面投写	<CR>*pp=FC#<CR>
	書き込み	プロジェクタの位置 - アップ + フロント	<CR>*pp=UF#<CR>
	書き込み	プロジェクタの位置 - ダウン + フロント	<CR>*pp=DF#<CR>
	読み込み	プロジェクタの位置の状態	<CR>*pp=?#<CR>
	書き込み	クイック自動検索オン	<CR>*QAS=on#<CR>
	書き込み	クイック自動検索オフ	<CR>*QAS=off#<CR>
	読み込み	クイック自動検索の状態	<CR>*QAS=?#<CR>
	書き込み	ダイレクト電源オン - オン	<CR>*directpower=on#<CR>
	書き込み	ダイレクト電源オン - オフ	<CR>*directpower=off#<CR>
	読み込み	ダイレクト電源オンの状態	<CR>*directpower=?#<CR>
	書き込み	スタンバイ設定 - 標準	<CR>*standbynet=standard#<CR>
	書き込み	スタンバイ設定 - エコモード	<CR>*standbynet=eco#<CR>
	書き込み	スタンバイ設定 - ネットワーク	<CR>*standbynet=network#<CR>
	書き込み	2400	<CR>*baud=2400#<CR>
	書き込み	4800	<CR>*baud=4800#<CR>
	書き込み	9600	<CR>*baud=9600#<CR>
	書き込み	14400	<CR>*baud=14400#<CR>
	書き込み	19200	<CR>*baud=19200#<CR>
	書き込み	38400	<CR>*baud=38400#<CR>
	書き込み	57600	<CR>*baud=57600#<CR>
	書き込み	115200	<CR>*baud=115200#<CR>
	読み込み	現在のボーレート	<CR>*baud=?#<CR>
ランプ制御	読み込み	ランプ点灯時間	<CR>*ltim=?#<CR>
	読み込み	ランプ 2 点灯時間	<CR>*ltim2=?#<CR>
	書き込み	ランプ点灯時間リセット	<CR>*ltim=reset#<CR>
	書き込み	ランプ 2 点灯時間リセット	<CR>*ltim2=reset#<CR>
	書き込み	ノーマルモード	<CR>*lampm=lnor#<CR>
	書き込み	エコモード	<CR>*lampm=eco#<CR>
	読み込み	ランプモードの状態	<CR>*lampm=?#<CR>
	書き込み	デュアルランプ	<CR>*lammd=dual#<CR>
	書き込み	ランプ 1	<CR>*lammd=num1#<CR>
	書き込み	ランプ 2	<CR>*lammd=num2#<CR>
	書き込み	シングルランプ（最低）	<CR>*lammd=single#<CR>
	読み込み	現在のランプの状態	<CR>*lammd=?#<CR>

その他	読み込み	モデル名	<CR>*modelname=?#<CR>
	書き込み	消画入	<CR>*blank=on#<CR>
	書き込み	消画切	<CR>*blank=off#<CR>
	読み込み	消画の状態	<CR>*blank=?#<CR>
	書き込み	一時停止入	<CR>*freeze=on#<CR>
	書き込み	一時停止切	<CR>*freeze=off#<CR>
	読み込み	一時停止の状態	<CR>*freeze=?#<CR>
	書き込み	メニュー入	<CR>*menu=on#<CR>
	書き込み	メニュー切	<CR>*menu=off#<CR>
	読み込み	メニューの状態	<CR>*menu=?#<CR>
	書き込み	上	<CR>*up#<CR>
	書き込み	下	<CR>*down#<CR>
	書き込み	右	<CR>*right#<CR>
	書き込み	左	<CR>*left#<CR>
	書き込み	入力	<CR>*enter#<CR>
	書き込み	3D 同期オフ	<CR>*3d=off#<CR>
	書き込み	3D 自動	<CR>*3d=auto#<CR>
	書き込み	3D 同期トップ / ボトム	<CR>*3d=tb#<CR>
	書き込み	3D 同期フレームシーケンシャル	<CR>*3d=fs#<CR>
	書き込み	3D フレームパッキング	<CR>*3d=fp#<CR>
	書き込み	3D サイドバイサイド	<CR>*3d=sbs#<CR>
	書き込み	3D インバータ無効	<CR>*3d=da#<CR>
	書き込み	3D インバータ	<CR>*3d=iv#<CR>
	読み込み	3D 同期の状態	<CR>*3d=?#<CR>
	書き込み	リモート設定	<CR>*rrset=0#<CR>
	読み込み	リモート設定の状態	<CR>*rrset=?#<CR>
	書き込み	トリガー オン	<CR>*trigger=on#<CR>
	書き込み	トリガー オフ	<CR>*trigger=off#<CR>
	読み込み	トリガーの状態	<CR>*trigger=?#<CR>
	書き込み	高地モード入	<CR>*Highaltitude=on#<CR>
	書き込み	高地モード切	<CR>*Highaltitude=on#<CR>
	読み込み	高地モードの状態	<CR>*Highaltitude=?#<CR>
	読み込み	エラーコード	<CR>*error=report#<CR>
	書き込み	レンズシフト 上	<CR>*lst=up#<CR>
	書き込み	レンズシフト 下	<CR>*lst=down#<CR>
	書き込み	レンズシフト 左	<CR>*lst=left#<CR>
	書き込み	レンズシフト 右	<CR>*lst=right#<CR>
	書き込み	フォーカス +	<CR>*focus=+#<CR>
	書き込み	フォーカス -	<CR>*focus=-#<CR>
	書き込み	ズーム +	<CR>*zoom=+#<CR>
	書き込み	ズーム -	<CR>*zoom=-#<CR>
	書き込み	台形補正 - 縦縮小	<CR>*keyst=-#<CR>
	書き込み	台形補正 - 縦拡大	<CR>*keyst=+#<CR>
	読み込み	台形補正 - 縦の状態	<CR>*keyst=?#<CR>

ネットワークを介してプロジェクタを操作する

ネットワーキングに向けてプロジェクタを設定する



注意：

DHCP オプションをオフに設定し、「適用」を選択するとこれがアクティベートされます。DHCP サービスが IP アドレスと設定を割り当てます。IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ等のオプションは、非表示になり選択できなくなります。LAN が DHCP サービスに対応していない場合は、▲▼ と Enter キーを使ってネットワークとその設定を選択してください。

IP アドレス：IP アドレスを指定するには、Enter ボタンを押して IP アドレス入力画面を開きます。◄► を使って変更する IP アドレスに代わる番号を選択してください。IP アドレスの数字は、▲▼ ボタンで選択できます。



サブネットマスク：IP アドレスの設定と同じ方法でサブネットのアドレスも設定できます。

ゲートウェイ：IP アドレスの設定と同じ方法でゲートウェイのアドレスも設定できます。

DHCP：DHCP をオン / オフにします。オンに設定すると、ネットワーク ドメインの DHCP サーバーがプロジェクタに IP アドレスを割り当てます。つまり、IP アドレスがアドレス画面に表示されるため、手動で入力する必要がありません。そうでない場合は、ドメインが IP アドレスを割り当てない、または割り当てられず、IP アドレス画面に「0.0.0.0」と表示されます。

適用：このボタンを選択して、Enter を押します。ネットワーク設定の変更内容が反映され、次のメッセージが消えるまでには数秒かかります。



ネットワークに接続されない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

ウェブブラウザでプロジェクタを操作する

ウェブブラウザを開き、プロジェクタの IP アドレスを入力します。4 つのオプションが表示されたホームページが開きます。

Projector Status（プロジェクタの状態）：プロジェクタの現在の設定。

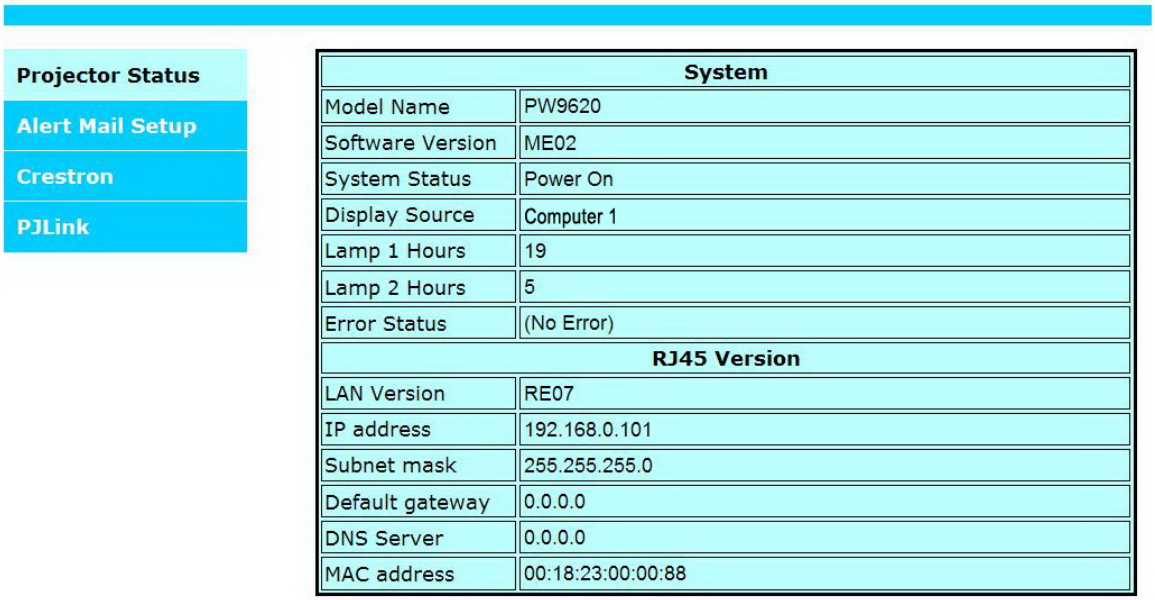
Alert Mail Setup（通信メールの設定）：プロジェクタに不具合が発生した場合、通知メールを受け取るための設定を行います。プロジェクタに不具合が生じたときには、あらかじめ設定されたユーザーに電子メールで知らせます。

Crestron：Crestron 対応ネットワークブラウザのコントロールページです。

PJLink：ここでは、PJLink 接続のセキュリティ パスワードを設定できます。

Projector Status（プロジェクタの状態）

次の図は、IP アドレスが「192.168.0.100」に指定されたプロジェクタの例です。



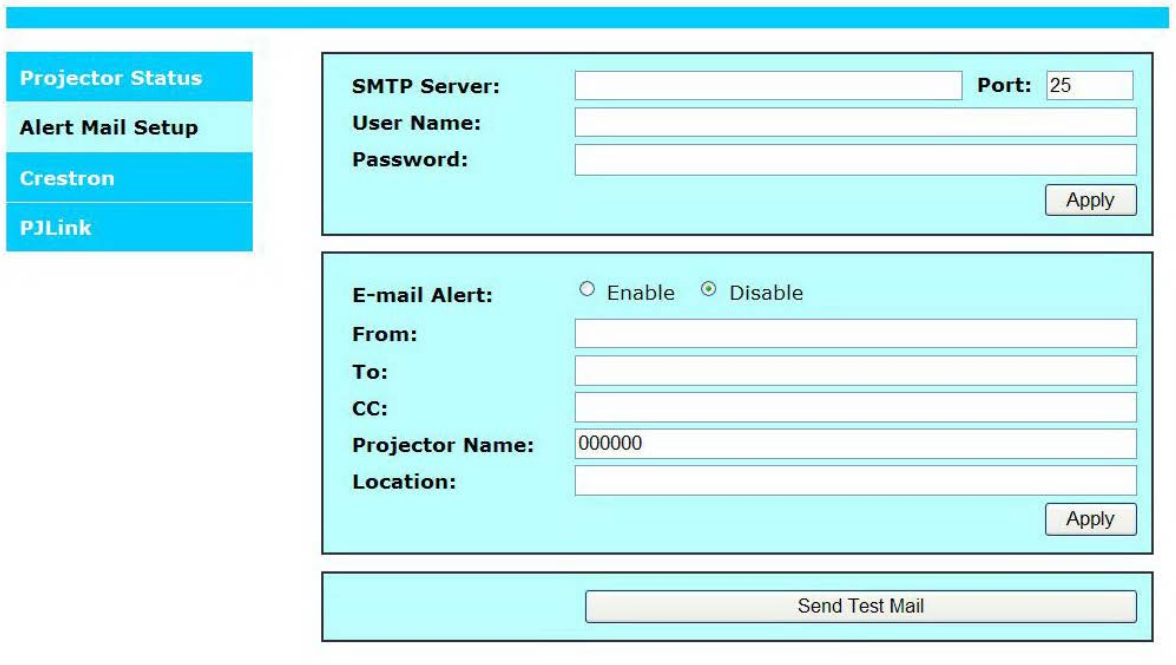
System	
Model Name	PW9620
Software Version	ME02
System Status	Power On
Display Source	Computer 1
Lamp 1 Hours	19
Lamp 2 Hours	5
Error Status	(No Error)
RJ45 Version	
LAN Version	RE07
IP address	192.168.0.101
Subnet mask	255.255.255.0
Default gateway	0.0.0.0
DNS Server	0.0.0.0
MAC address	00:18:23:00:00:88

System（システム）
Model Name（モデル名）：プロジェクタのモデル番号
Software Version（ソフトウェアバージョン）：プロジェクタのシステムソフトウェアのバージョン
System Status（システムの状態）：現在のプロジェクタの電源状態
Display Source（ディスプレイソース）：現在の入力信号
Lamp 1 Hours（ランプ 1 点灯時間）：ランプ 1 の点灯時間
Lamp 2 Hours（ランプ 2 点灯時間）：ランプ 2 の点灯時間
Error Status（エラー状態）：プロジェクタのエラーメッセージを表示

ネットワークコントロールの設定情報（RJ-45 バージョン）
Lan Version（LAN バージョン）：ネットワークコントロールソフトウェアのバージョン
IP address（IP アドレス）：現在の IP アドレス
Subnet mask（サブネットマスク）：現在のサブネット設定

Default gateway（デフォルトのゲートウェイ）：現在のゲートウェイ設定
DNS server（DNS サーバー）：現在の DNS サーバーの設定
MAC address（MAC アドレス）：プリセットの MAC アドレス

Alert mail setup（通知メールの設定）



あらかじめ定義しておいたユーザーに、通知メッセージを Ｅメールで送信します。この機能を有効にする前に、次の設定を行ってください。

SMTP Server（SMTP サーバー）：プロジェクタがリマインダーを送信できるように、SMTP サーバーの名前を入力します。
Port（ポート）：通信ポートを設定します
User Name（ユーザー名）：プロジェクタが SMTP サーバーを介してリマインダーを送信できるように、ユーザー名を入力します。
Password（パスワード）：ユーザーパスワードを設定します。
E-mail Alert（電子メール通知）：電子メール通知機能を有効または無効にします。
From（送信者）：送信者の電子メール アドレスを設定します。
To（受信者）：受信者の電子メール アドレスを設定します。
CC（カーボンコピー）：CC 受信者の電子メール アドレスを設定します。
Projector Name（プロジェクタ名）：プロジェクタ名または ID を設定します。
Location（設置場所）：プロジェクタの設置場所を設定します。
Apply（適用）：設定を確定します。このボタンを押すと、変更内容が保存されます。
Send Test Mail（テストメールの送信）：正しく設定できているかを確認するために、テストメールを送信します。通知メールは、プロジェクタにエラーが発生した場合にのみ送信されます。このボタンを押すと、設定完了後に電子メール設定を確認できます。

Crestron コントロールページ

プロジェクタのホームページで Crestron オプションをクリックすると、新しいタブにコントロール ページが表示されます。



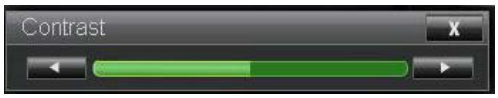
Power（電源）：プロジェクタのオン / オフを切り替えます。

Source List（ソースリスト）：有効な入力信号ソースのリストから切り替えます。矢印キー ▲（画面上部）または ▼（画面下部）を押すと、リストをスクロールできます。

画像調整オプション
矢印キー ◄（画面左部）または ►（画面右部）を押すと、他の調整オプションをスクロールできます。

Freeze（一時停止）：現在の投写画面を一時停止します。一時停止機能を有効にすると、投写画面に「Freeze」（一時停止）と言うメッセージが表示されます。再度、Freeze（一時停止）ボタンを押すと一時停止が解除されます。

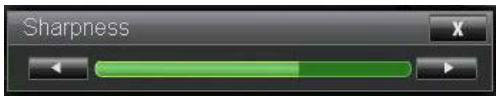
Contrast（コントラスト）：調整画面が開きます。矢印キー ◄► をクリックして、コントラストを調整してください。



Brightness（輝度）：調整画面が開きます。矢印キー ◄► をマウスでクリックして、コントラストを調整してください。



Sharpness（シャープネス）：調整画面が開きます。矢印キー ◄► をマウスでクリックして、シャープネスを調整してください。



Zoom（ズーム）：投写画像にズームインします。「+」キーをクリックするとズームインし、「-」キーを押すとズームアウトします。4 つの矢印キーを使って、ズームした画像を動かします。



コントロールキー画面
リモコンやコントロールパネルのキーをシミュレートします。



Enter（入力）：変更内容を確定し、OSD オプションを選択します。

Menu（メニュー）：OSD メニューが表示されます。再度押すと、メニューを終了します。

Auto（自動）：画像自動調整機能を実行します。

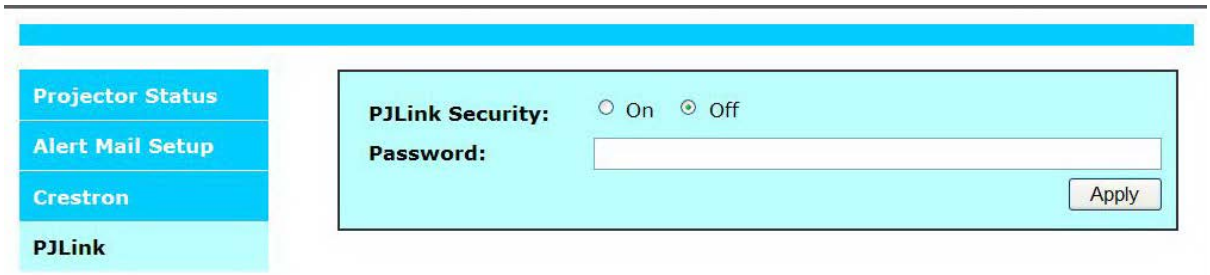
Blank（ブランク）：画像の投写を一時停止します。投写画像はマスクされます。再度押すと、投写に戻ります。

Source（ソース）：信号ソースをリストします。

Tool（ツール）：Creston 互換機で作動するように、オプションを設定します。詳細は、関連文書をご参照ください。

Info（情報）：プロジェクタの現在の状況と、Creston の設定を表示します。

PJLink コマンドでプロジェクタを操作する
PJLink は、Japan Business Machine and Information System Industries Association (JBMIA) により制定された規格で、本当のコマンドでプロジェクタを操作するためのものです。PJLink 機能を内蔵したプロジェクタは、誰が制定したかに関係なく標準のコマンドで操作できます。本機は PJLink コントロールコマンドに対応しています。このページで、PJLink 接続のパスワードを設定してください。



PJLink Security（PJLink セキュリティ）：On（オン）を選択すると、PJLink セキュリティパスワードが有効になります。Off（オフ）を選択すると、無効になります。

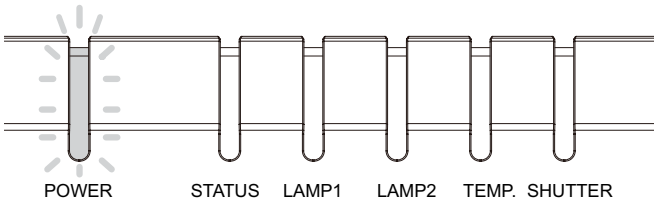
Password（パスワード）：32 文字以内でセキュリティ パスワードを設定できます。

標準コマンドと接続方式については、PJLink 公式ホームページをご覧ください。

トラブルシューティング

インジケータのメッセージ

セットアップに問題が生じたり、システムエラーが発生した場合は、ユーザーに知らせるためにインジケータ メッセージが用意されています。プロジェクタの上カバーにある LED は、下図のとおりです。



電源 LED インジケータ

LED ディスプレイ		プロジェクタの状態	操作のヒント
閉じる		AC 電源オフ	AC 電源をオンにして、プロジェクタの電源を入れます。
点滅	緑	プロジェクタの電源を入れる準備ができています	プロジェクタが投写するまでしばらくお待ちください。
	オレンジ色	プロジェクタが冷却中です	冷却が完了するまで、約 120 秒かかります。
点灯	赤	スタンバイモード	プロジェクタに電源を入れるには、リモコンの ON キーを押すか、コントロールパネルの POWER キーを押します。
	緑	電源が入っています	

LED ステータス インジケータ

LED ディスプレイ		プロジェクタの状態	操作のヒント
閉じる		ノーマル	
点滅	赤（1 回）	カバーエラー	カラーホイールが正しく装着されているか確認してください。それでも問題を解決できない場合は、お近くのサービスセンターまでお問い合わせください。
	赤（4 回）	ファンエラー	お近くのサービスセンターにお問い合わせください。
点灯	赤	システムエラー	お近くのサービスセンターにお問い合わせください。

ランプ 1/ ランプ 2 LED インジケータ

LED ディスプレイ		プロジェクタの状態	操作のヒント
閉じる		消える	
点滅	緑	点灯準備完了	
	赤（6 回）	ランプが点灯しない	お近くのサービスセンターにお問い合わせください。
点灯	赤	ランプ切れ	お近くのサービスセンターにお問い合わせください。
	緑	プロジェクタのランプは正常です	

温度 LED インジケータ

LED ディスプレイ		プロジェクタの状態	操作のヒント
閉じる		ノーマル	
点滅	赤	温度エラー	フィルターが汚れていないか、通気口が塞がれていないか、ファン設定が正しいかを確認してください。それでも問題を解決できない場合は、お近くのサービスセンターまでお問い合わせください。

シャッター LED

LED ディスプレイ		プロジェクタの状態	操作のヒント
閉じる		シャッターが開いています	
点滅	緑	シャッターが閉じています	

よくある問題とその対処法

プロジェクタをご使用になると、時々問題が生じる場合があります。次の説明を参考にして、解決してみてください。それでも問題を解決できない場合は、販売店にお問い合わせください。通常は、単に接続が正しく行われていないことが原因です。作業に入る前に、まず次の項目を確認してください。

- コンセントが故障していないか、別の電気製品でお試しください。
- プロジェクタがオンになっていることを確認してください。
- すべての接続が正しく行われているか確認してください。
- 接続されている装置の電源が入っているか確認してください。
- 接続されている PC がサスペンド モードになっていないか確認してください。
- 接続されているノートブック コンピュータが外部ディスプレイに設定されているか確認してください。（通常は、ノートブックの Fn- キーと別のキーを合わせて押すことで実行できます。）

トラブルシューティングのためのヒント

問題別セクションに記載される手順に従ってください。この手順に従うと、より速く問題を解決できます。
問題のあるパーツを特定してください。
例えば、電池を交換しても問題を解決できない場合は、元の電池に戻して次のステップに進みます。
行った手順を記録してください。この情報は、テクニカル サポートやサービス担当者に問い合わせるときに役に立ちます。

画像の問題

問題：スクリーンに画像が映し出されません

1. パソコンの設定を確認してください。

2. すべての装置の電源を一度切り、次に正しい順序で再度電源を入れてください。

問題：画像がぼやけます

1. プロジェクタの焦点を調整します。

2. リモコンまたはプロジェクタの AUTO SYNC ボタンを押します。

3. プロジェクタとスクリーンの距離が指定範囲以内になるようにします。

4. プロジェクタのレンズに汚れが付着していないか確認します。
5. レンズカバーを外してください。

問題：画像の上部または下部が広がります（トラペゾイド効果）

1. プロジェクタとスクリーンが直角になるように設置してください。
2. OSD の台形補正機能を使って修正してください。

問題：画像が逆転または反転します

1. OSD の「設定」メニューで天吊りと背面の設定を確認してください。

問題：画像にすじが走ります

1. OSD の「信号調整」メニューで水平位相とクロックを初期値に戻してください。
2. 接続されている PC のビデオカードによる問題ではないか確認するために、別のコンピュータに繋いでみてください。

問題：画像にコントラストがなく平坦になってしまいます

1. OSD の「映像調整」メニューでコントラストを調整してください。
2. OSD の「映像調整」メニューで輝度を調整してください。

問題：投映画像の色が入力源の色と一致しません。

色温度と画像設定を調整してください。

ランプの問題

問題：プロジェクタから光線が投写されません

1. 電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
2. 別の電子機器を使って電源が正常に使用できるか確認してください。
3. 正しい手順でプロジェクタを再起動し、電源 LED が緑になっているか確認してください。
4. ランプを交換したばかりの時には、ランプの接続をリセットしてみてください。
5. ランプモジュールを交換します。
6. レンズキャップを外します。
7. プロジェクタに古いランプを戻し、プロジェクタを修理に出してください。

問題：ランプが切れます

8. 電力サージによってランプが切れる場合があります。電源ボタンを 2 回押して、プロジェクタの電源を切ってください。電源 LED がオレンジ色になっているときには、電源ボタンを押してください。
9. ランプモジュールを交換します。
10. プロジェクタに古いランプを戻し、プロジェクタを修理に出してください。

リモコンの問題

問題：プロジェクタがリモコンに反応しません

1. リモコンをプロジェクタのリモートセンサーに向けてください。
2. リモコンとセンサーの間に物を置かないでください。
3. 部屋の蛍光灯を消してください。
4. 電池の極性を確認してください。
5. 電池を交換してください。
6. 近くにある赤外線が有効になったデバイスの電源を切ってください。
7. リモコンを修理に出してください。
8. リモコンのコードとプロジェクタのコードが対応しているか確認してください。
9. リモコンのコンパートメントの蓋にあるスイッチを「使用」の位置になっているか確認してください。

BenQ ecoFACTS

BenQ has been dedicated to the design and development of greener product as part of its aspiration to realize the ideal of the "Bringing Enjoyment 'N Quality to Life" corporate vision with the ultimate goal to achieve a low-carbon society.Besides meeting international regulatory requirement and standards pertaining to environmental management, BenQ has spared no efforts in pushing our initiatives further to incorporate life cycle design in the aspects of material selection, manufacturing, packaging, transportation, using and disposal of the products.BenQ ecoFACTS label lists key eco-friendly design highlights of each product, hoping to ensure that consumers make informed green choices at purchase.Check out BenQ's CSR Website at http://csr.BenQ.com/ for more details on BenQ's environmental commitments and achievements.



著作権

Copyright 2015 BenQ Corporation。All rights reserved。本書のいかなる部分も、 BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁気的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

このマニュアルに記載されるすべてのロゴ、製品、会社名は、各社の登録商標または著作権であり、識別のみを目的として使用しております。

おことわり

BenQ Corporation は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。また、BenQ Corporation は、お客様に改訂または修正の通知を行う義務を負うことなく、本書を改訂したり、本書の内容を随時修正する権利を有します。

この取扱説明書の製作は、最新かつ最も正確な情報を提供するよう努めておりますが、内容は予告なく変更される場合があります。このマニュアルの最新版は、http://www.benq.com からご覧いただけます。

ハイパーリンクおよびサードパーティのウェブサイトに関する宣言

BenQ は、この製品からリンクされていたとしても、サードパーティにより維持管理されるウェブサイトまたはその他のリソースのコンテンツについては一切責任を負いません。このようなウェブサイトや同様のリソースにリンクが張ってあったとしても、明示の有無に関わらず、BenQ が保証したり、代表したりするという意味ではありません。

この製品にあらかじめインストールされていたサードパーティのコンテンツまたはサービスは、現状のままで提供されます。BenQ は、明示の有無に関わらず、サードパーティが提供するコンテンツやサービスに対していかなる保証も行いません。BenQ はサードパーティが提供するコンテンツやサービスに対し、その正確性、効率、最新性、法律に準拠しているか、または完全な状態であるかについて、いかなる保証も行いません。サードパーティが提供するコンテンツやサービスについて（契約の無視を含みます）、BenQ はいかなる保証も行いません。サードパーティが提供するサービスは、一時的または永久に終了する場合があります。BenQ は、サードパーティが提供するコンテンツやサービスが常に良い状態に保たれているかについて、また当該コンテンツやサービスの終了について、一切責任を負いません。また、BenQ は、サードパーティが運営管理するウェブサイトまたは同様のリソースで行われた取引については、一切責任を負いません。

ご質問、ご意見、異議がある場合は、当該コンテンツまたはサービスの提供者にお問い合わせください。

2015/ 1/ 14